Panasonic

取扱説明書　設定編

デジタルディスクレコーダー

品番　WJ-HD180

（リムーバブル HDD は別売です）

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書（PDFファイル）と操作編（PDFファイル）・基本編・基本操作ガイドの4部構成です。
本書では、リモコンとウェブブラウザーを使った設定操作について説明しています。
本機の設置のしかたおよびネットワーク機器との接続方法は、『取扱説明書 基本編』を参照してください。
PDFマニュアルをご覧になるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- IntelおよびCeleronは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- EthernetはXerox Corporationの登録商標です。
- Javaに関連するすべての商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- miniSDロゴは商標です。
- その他、本文中の社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

もくじ

はじめに

取扱説明書について 2
商標および登録商標について 2
はじめてお使いになる場合 5
HDD録画について 6
タイマー録画について 6
HDD書き込みエラー時の動作 7
HDDが故障したとき 7
HDD上書き機能 7
シングル運用とデュアル運用を切り換える 8

設定編

設定メニューの基本操作 9
表示のしかた 9
終了のしかた 10
カーソルの移動と設定値の入力 10
かんたん設定 11
かんたん設定1（日時設定） 11
かんたん設定2（カメラの自動検出 / 設定） 13
カメラが検出されないとき 14
検出したカメラが正しくないとき 14
かんたん設定3（かんたん録画の設定） 15
詳細設定 17
日時設定 18
現在日時を設定する 18
マニュアル録画設定 20
カメラを設定する 21
タイマー録画設定 22
タイマー録画プログラムを設定する 23
カメラを設定する 24
アラーム発生時の動作を設定する 25
アラーム録画を設定する 26
アラーム録画設定 28
タイマー入／切 30
外部入力録画設定 31
アラーム動作設定 32
動き自動検出（VMD）を設定する 33
タイマー時間外のアラーム発生時動作を設定する 35
画面表示設定 36
カメラタイトルを設定する 37
カメラをカラー・白黒に設定する 38
モニター設定 39
多画面モニターのシーケンス動作を設定する 41
スポットモニターのシーケンス動作を設定する 42
ライブ時表示許可カメラを設定する 43
システム設定 44
HDDの運用を切り換える（ディスクモード） 45
ディスクモードを変更する 46
設定をお買い上げ時の設定に戻す 47
設定情報を読み込む 48
設定情報を保存する 49
セキュリティ設定 50
ネットワーク設定 51
各種情報の表示 52
システム情報 52
ディスク情報 53
ログ情報 54
システムログ1を表示する 55
システムログ2を表示する 56
アラームリスト全消去 57

HTML 操作編

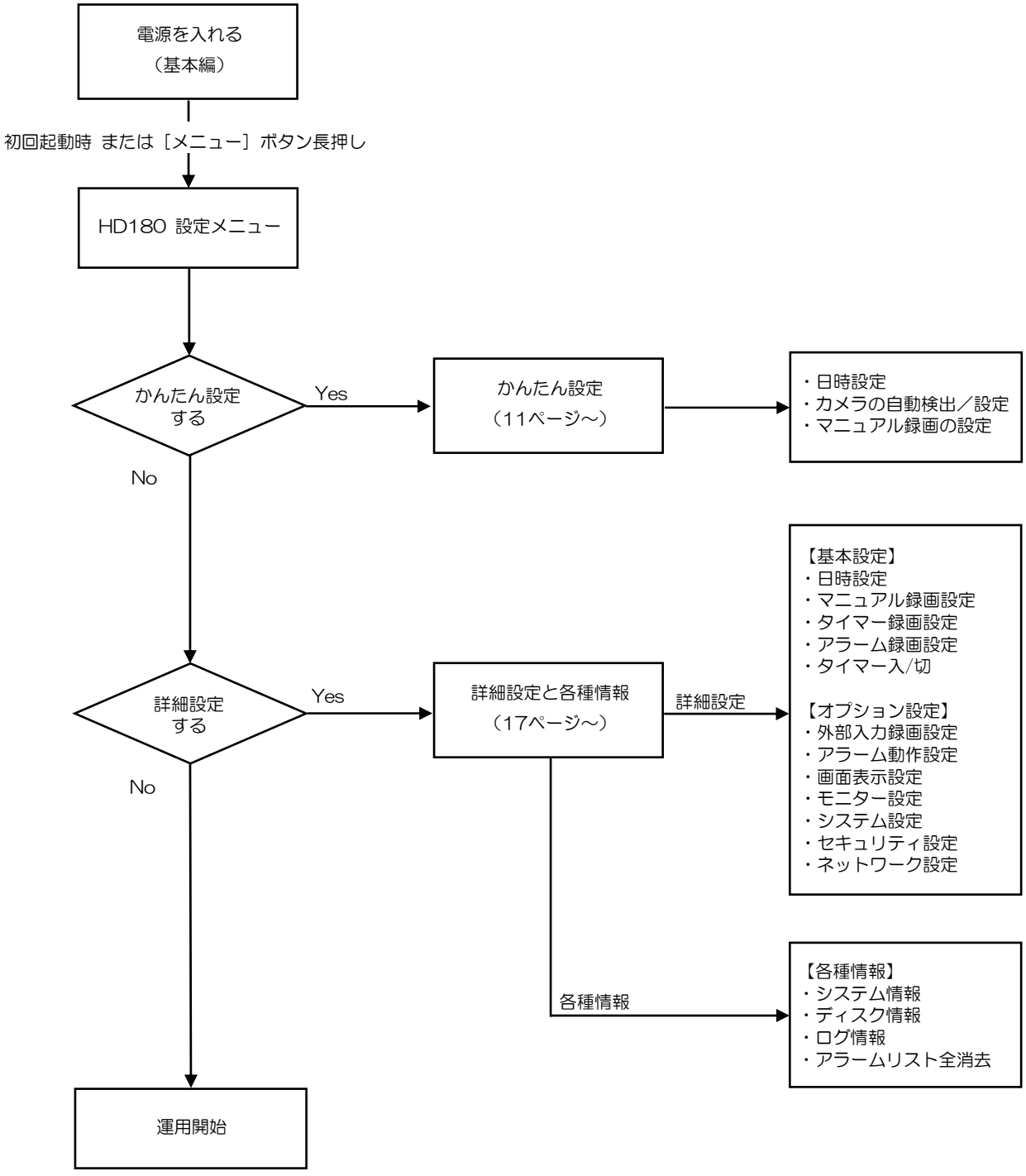
使用前の準備 59
PCの環境 59
接続のしかた 59
ネットワーク環境の設定 60
本機のネットワークセキュリティ 63
画面の操作 64
HTML操作画面の表示方法 64
HTML操作画面について 65
画面詳細 67
操作パネルタブ 67
アラームリストタブ 68
レコーダー操作ボタン 69
状態表示エリア 70
基本設定メニュー 72
日時設定ページ 73
マニュアル録画設定ページ 74
録画カメラ設定ページ 75
タイマー録画設定ページ 76
タイマー録画プログラム設定ページ 78
タイマー録画プログラム録画カメラ設定ページ 79
タイマー録画プログラムアラーム発生時動作設定 80
タイマー録画プログラムアラーム録画設定 80
アラーム録画設定ページ 81
オプション設定メニュー 82
外部入力録画設定ページ 83
アラーム動作設定ページ 84
アラーム発生時動作設定ページ 85
動き自動検出（VMD）設定ページ 86
動き自動検出（VMD）エリア設定ページ 87
画面表示設定ページ 88
カメラタイトル設定ページ 89
カメラ カラー・白黒設定ページ 90
モニター設定ページ 91
多画面モニターシーケンス設定ページ 93
スポットモニターシーケンス設定ページ 94
ライブ時表示許可カメラ設定ページ 95
システム設定ページ 96
セキュリティ設定ページ 98
ネットワーク設定ページ 100
拡張設定メニュー 103
ユーザー設定ページ 104
ホスト設定ページ 106
FTPクライアント設定ページ 107
メール設定ページ 109
ブラウザー表示設定ページ 111
各種情報メニュー 113
システム情報ページ 114
ディスク情報ページ 115
システムログ情報ページ 116
サーバー接続エラー情報ページ 117

その他

故障かな!? 118
ダウンロード画像について 123
メール通知の内容 124
サーバー接続エラー情報 126
設定画面構成 129
HTML設定画面構成 131
用語集 132

はじめてお使いになる場合

はじめてお使いになる場合は、以下の手順で本機をセットアップしてください。



メモ

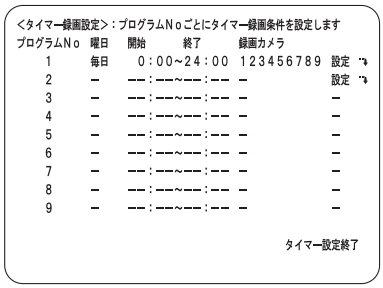
- フレームスイッチャーモードでは、いくつかの設定項目が制限されます。詳しくは、基本編を参照してください。

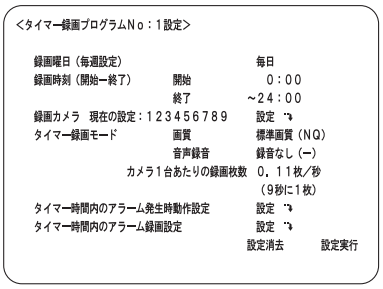
HDD 録画について

タイマー録画について

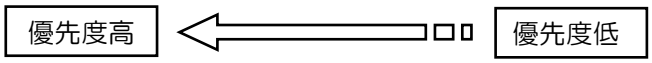
本機は、内蔵時計の時刻に従ってタイマー録画できます。タイマー録画の特徴を以下に示します。

- 週間タイマーです。18のタイマープログラムを作成できます。
- 1つのプログラムに録画曜日・開始時刻・終了時刻・録画枚数、録画カメラなどを割り当てます。





- 録画曜日には、「毎日」および「月～金」といった設定ができますので、これらを組み合わせて毎週の録画スケジュールを組みます。
- 各タイマープログラムに設定された録画曜日によって、以下の優先度に従ってタイマー録画が実行されます。

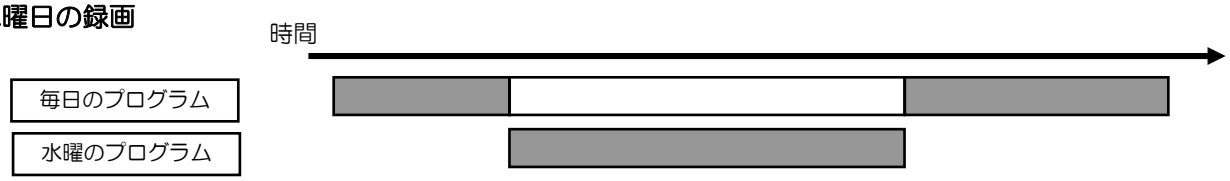


特定の曜日 ＞ 月～金 ＞ 月～土 ＞ 毎日

例）毎日と水曜日のプログラムが設定されている場合

水曜日以外は毎日の設定に従いタイマー録画され、水曜日は水曜日のプログラム設定が優先されてタイマー録画されます。

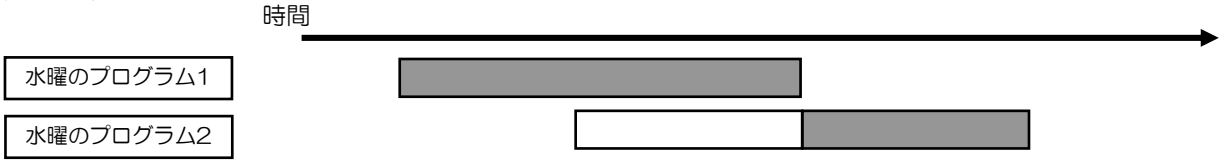
水曜日の録画



例）時間帯が重なったプログラムが設定されている場合

開始時刻の早いプログラム設定に従ってタイマー録画され、終了時刻になると次のタイマー録画が開始されます。

重複時の録画



- 同じ曜日の同じ時間帯にプログラムが重なった場合は、タイマー録画設定画面に「W」の表示をしてお知らせします。

重要

- タイマー録画による録画中は、［録画停止］ボタンによる録画停止はできません。

HDD 書き込みエラー時の動作

カメラ画像をHDDに書き込む際、エラーが発生するとシステムログを記録します。書き込みエラーが連続して発生すると、そのHDDは故障していると判断し使用しないように切り離し、残り1台で運用を継続します（HDDを2台で運用する場合）。HDDを1台で運用している場合は録画・再生を停止します。HDDが切り離されるとエラーランプが点滅します。

メモ

- シングル運用中に1台が切り離された場合、録画できる時間は約1/2になります。

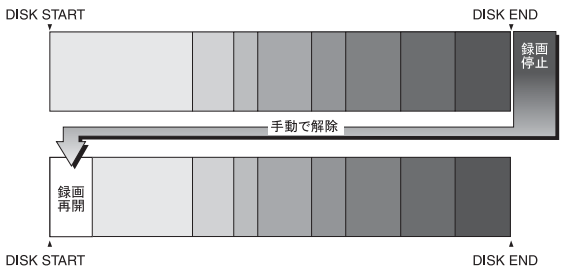
HDD が故障したとき

何らかの原因によってHDDが故障するとエラーランプを点滅してお知らせします。

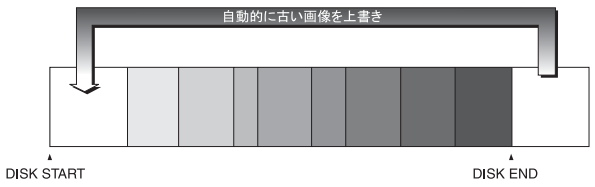
HDD 上書き機能

HDDの容量をすべて使い切ったとき、古い画像から順番に上書きして録画を継続するよう設定できます。システム設定画面のHDD終端モード設定（HDD終端時）で、録画停止するか上書き録画するかを選択します。（→44ページ）

HDD終端モード設定（HDD終端時）：録画停止



HDD終端モード設定（HDD終端時）：上書き録画

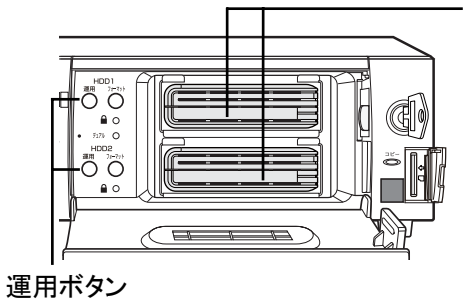


シングル運用とデュアル運用を切り換える

以下の手順で本機のディスクモードをシングル運用からデュアル運用、またはデュアル運用からシングル運用に切り換えます。デュアル運用にするときは、2台のHDDは同じ容量にしてください。

1　本体前面カバー内部にある運用ボタンのランプが２つとも緑色点灯または点滅※していることを確認します。（HDDが2台搭載され、本機がHDDを2台とも認識していることを確認します。）

※運用ボタンのランプが２つとも緑色点滅以外の場合でも、シングル運用からデュアル運用に切り換えられます。

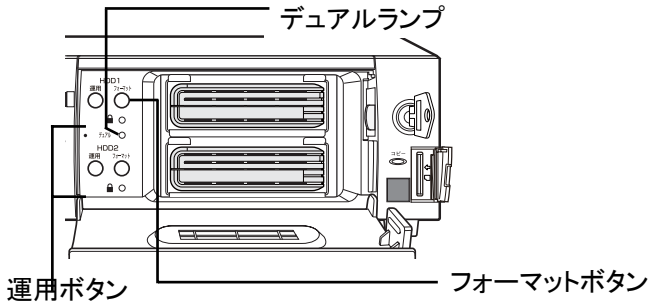


メモ

- 運用ボタンのランプ表示については基本編を参照してください。
- HDDの追加方法については基本編を参照してください。

2　設定メニューから運用を切り換えます。（→46ページ）

ブザーが鳴り、フォーマットが開始され、フォーマットボタンが緑色点滅します。
フォーマットが完了すると、フォーマットボタンが消灯し、運用ボタンが緑色点灯します。デュアル運用の場合は、デュアルランプが緑色点灯します。



メモ

- デュアルランプは以下の状態を表示します。
  緑色点灯　　：デュアル運用（正常）
  赤色点灯　　：デュアル運用（異常）
  消灯　　：シングル運用
- デュアル運用（異常）の場合、HDDが1台以下で運用されています。運用ボタンのランプを確認し、運用ボタンを2秒以上押してHDDを認識させる、またはフォーマット（→基本編）してください。

重要

- デュアルフォーマットは認識済みのHDDに対してフォーマットします。認識処理中のHDDまたは認識していないHDDはフォーマットできません。
- 運用ボタンが緑色点滅以外の場合（消灯、オレンジ色点滅は除く）、HDDはフォーマット済みです。フォーマットするとHDD内のデータは削除されます。
- ライトプロテクトされたHDDはフォーマットできません。
- デュアル運用中はシングル運用中に比べてHDD容量が約半分になります。
- デュアルフォーマット中はFTP動作 / メール送信はしません。
- デュアル運用中に運用停止したHDDは、再度運用する際にフォーマットする必要があります。フォーマットすると、そのHDDに録画した画像はすべて消去されます。また、もう一方のHDDが故障すると、フォーマットする前に録画した画像がすべて消失しますので、デュアル運用のときは、保存目的以外でのHDDの取り外しはしないでください。

設定メニューの基本操作

本機を操作するには、あらかじめ設定メニューで各項目を設定しておく必要があります。
リモコンを使った設定メニューの操作方法について説明します。本体操作による設定メニューの操作はできません。

重要

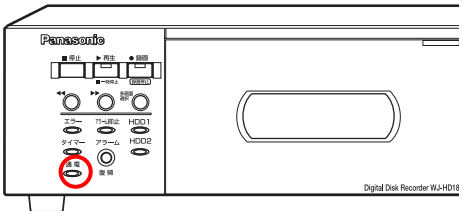
- 準備を始める前に、多画面出力1/2端子にモニターが接続されていることを確認してください。
  設定メニュー画面はスポットモニターには表示できません。
- ボタン操作がロックされているときは、操作ロックを解除してください。（→操作編）

表示のしかた

電源を入れてから設定メニューを表示します。

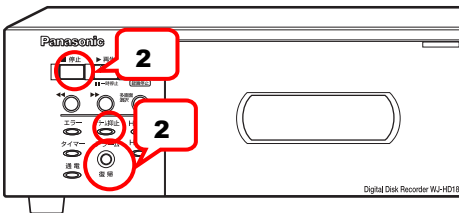
1　本機の電源を入れる

通電ランプが点灯します。
アラーム録画中にメニュー画面を開くには、
［アラーム復帰］ボタンを押してから
次の手順に進んでください。



2　設定中にアラーム動作しないようにするには、本体の［アラーム復帰］ボタンを押したままで［停止］ボタンを押しアラームを抑止する

アラーム抑止ランプが点灯します。

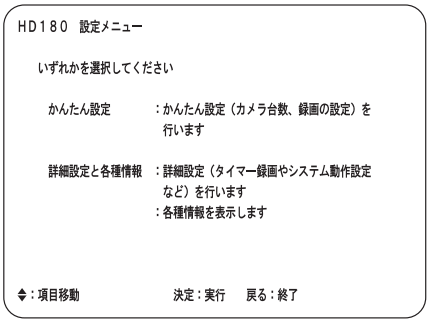


メモ

- アラームを抑止していない場合、設定中にアラームが発生すると設定操作が中断され、アラーム動作が実行されます。
- リモコンからアラームを抑止することはできません。

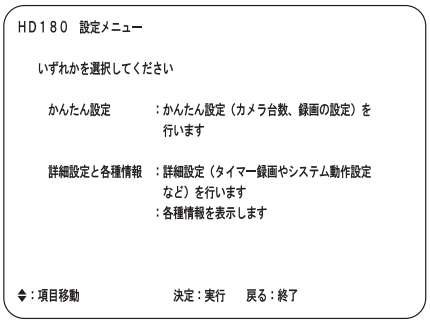
3　［メニュー］ボタンを長押しする（約2秒）

多画面モニターに設定メニューが表示されます。各項目を設定します。



終了のしかた

1　設定メニュー画面が表示されるまで、［戻る］ボタンを押す



2　［戻る］ボタンを押す

設定メニュー画面が消えて、モニターにカメラ画像が表示されます。

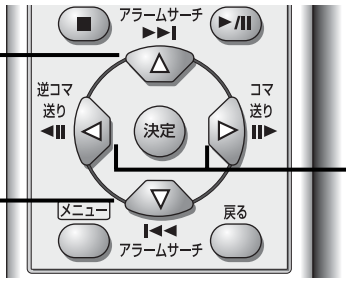
メモ

- ネットワークの設定を変更後に、設定を終了すると、自動的に再起動します。ネットワークの設定は再起動後から有効になります。
- アラーム動作を再開するときは、再度、本体の［アラーム復帰］ボタンを押したままで［停止］ボタンを押します。アラーム抑止ランプが消灯し、アラーム発生時にアラーム動作が実行されます。
- 設定変更途中で［戻る］ボタンを押すと、設定変更内容の反映をするかしないかの確認画面が表示されます。
- ［メニュー］ボタンを長押しすることで、強制的に設定メニューを終了することができます。ただし、設定実行していない変更内容は破棄されます。

カーソルの移動と設定値の入力

メニュー画面で操作する場合、［△▽◁▷］ボタンを使用して設定項目のカーソルを移動し、設定する値を切り換えます。設定する値が数値の場合、カメラ選択ボタン［0］～［9］を使用すると数値を入力できます。

設定項目のカーソルを移動します



設定する値を切り換えます

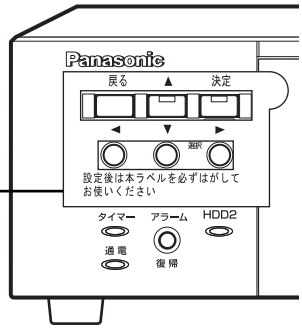
設定する数値を直接入力できます

かんたん設定

かんたん設定では、現在日時→カメラ台数→録画モードの順に設定します。かんたん設定を最後まで終了すると自動的にマニュアル録画を開始します。詳細に設定したい場合は、詳細設定（→17ページ）以降を参照してください。
本機を初めてお使いになるときは、本体前面のボタンでもかんたん設定ができます。

メモ

- 初めてのかんたん設定が終了したら、設定ラベルを必ずはがしてください。



かんたん設定 1（日時設定）

現在の日時を設定します。
本機を初めてお使いになるときは、以下の手順で本機の時計を現在時刻に合わせてください。時計は定期的に確認し、現在時刻と一致していないときは再設定してください。
日時設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［かんたん設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　日時設定画面の各項目を設定する
［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<日時設定>：現在日時の設定をします

現在日時を設定してください
（現在日時：2007/10/01　00:00:21）

日付　2007年
10月
01日
時刻　00時（24時間制で設定）
00分
実行（実行すると00秒でスタートします）

次へ

▲▼：項目移動　◀▶：値変更　決定：実行　戻る：前画面

2　年を設定する
カメラ選択ボタン［0］～［9］でも入力できます。

3　月にカーソルを合わせる
年に入力した値が設定できない値のときは設定できる値になります。

4　手順2、手順3の操作を繰り返して月、日、時、分を設定する
時間は、24時間形式で入力します。

5　設定が完了したら［実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

［決定］ボタンを押したときに、設定した時刻の0秒に時計の時刻を合わせます。

<日時設定>：現在日時の設定をします

現在日時を設定してください
（現在日時：2007/10/01　00:00:21）

日付　2007年
10月
01日
時刻　00時（24時間制で設定）
00分
実行（実行すると00秒でスタートします）

次へ

▲▼：項目移動　◀▶：値変更　決定：実行　戻る：前画面

6　［次へ］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

接続カメラの自動検出画面が表示されます。
（→13ページ）

重要

- 時計表示する / しないに関係なく、時刻は必ず合わせてください。時刻変更をしていなくても、実行にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押すことにより本機の時計は0秒に設定されます。

メモ

- 一度時刻を合わせた後、システム設定画面の自動時刻合わせ機能で本機の時計を他の機器の時刻に合わせたり、他の機器（親時計）の時刻を本機の時刻に合わせることができます。（→44ページ）

かんたん設定２（カメラの自動検出 / 設定）

かんたん設定1が終わると、接続しているカメラを自動検出し、録画カメラに設定します。接続カメラの自動検出設定画面から説明します。
カメラを自動検出する前に必要なカメラを接続してください。

設定画面の表示手順　　日時設定画面で［次へ］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　接続カメラの自動検出をするときは、［検出実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

接続カメラの自動検出結果画面が表示されます。

<接続カメラの自動検出>

接続カメラの自動検出を行います
（カメラが接続されていることを確認して検出実行をしてください）

検出実行　　検出せずに次へ

検出しない場合は9台のカメラすべてを録画対象に設定します

◆▶：選択　　決定：実行　　戻る：前画面

カメラが検出されたときは、検出カメラの一覧が表示されます。

<接続カメラの自動検出結果>

以下のカメラが検出されました
<カメラ>123456789

検出したカメラを録画カメラに設定します
よろしいですか？

はい　　もう一度検出実行

◆▶：選択　　決定：実行　　戻る：前画面

- カメラが検出されないとき（→14ページ）
- 検出したカメラが正しくないとき（→14ページ）

2　検出したカメラを録画カメラに設定するときは、［はい］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

かんたん録画の設定画面が表示されます。（→15ページ）

メモ

- 接続されているカメラの自動検出は入力映像信号により判定されます。入力映像信号が無い場合は、未接続カメラと判定されます。
- 接続カメラには、マニュアル録画カメラ設定で「（録画）する」が設定され、未接続カメラには「（録画）しない」が設定されます。（→21ページ）

カメラが検出されないとき

カメラが1台も検出されないときは、再度検出の画面が表示されます。

1 ［検出実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

<接続カメラの自動検出>

接続カメラの自動検出を行います
（カメラが接続されていることを確認して検出実行をしてください）

検出実行　　検出せずに次へ

検出しない場合は9台のカメラすべてを録画対象に設定します

◆▶：選択　　決定：実行　　戻る：前画面

検出したカメラが正しくないとき

検出したカメラが正しくないときは、再度検出してください。

1 ［もう一度検出実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

<接続カメラの自動検出結果>

以下のカメラが検出されました
<カメラ>123456789

検出したカメラを録画カメラに設定します
よろしいですか？

はい　　もう一度検出実行

◆▶：選択　　決定：実行　　戻る：前画面

かんたん設定 3（かんたん録画の設定）

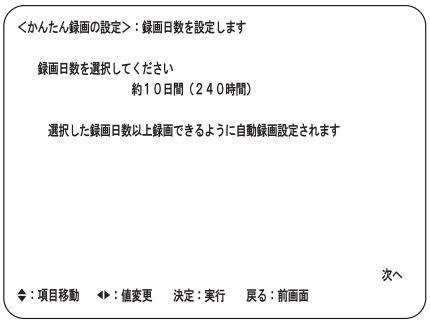
かんたん設定2が終わると、マニュアル録画を設定します。かんたん録画の設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　接続カメラの自動検出結果画面で［はい］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　録画日数を設定する

「高画質（FQ）」、音声録音は「なし」に設定されます。

最低限録画したい日数を選択します。



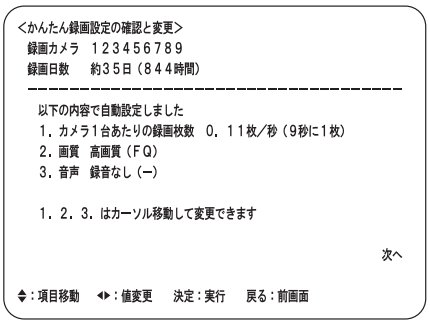
●選択可能な録画日数（［◁］［▷］ボタンで切り換えます）

約1日間（24時間）	約3日間（72時間）	約4日間（96時間）	約5日間（120時間）	約7日間（170時間）
約10日間（240時間）＊	約15日間（360時間）	約20日間（480時間）	約30日間（720時間）	約40日間（960時間）
約90日間（2160時間）	約180日間（4320時間）	約360日間（8640時間）	約720日間（17280時間）	—

＊：お買い上げ時の設定（HDDの容量で変わります）

2　設定が完了したら［次へ］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押すかんたん録画設定の確認と変更画面が表示されます。

録画枚数および画質を基に計算された録画可能日数が表示されます。



メモ

- 設定時に表示される録画日数（時間）は、目安であり実際とは異なります。アラーム録画による録画枚数の変動または録画するカメラ画像によって録画できる時間は変わります。

3　自動設定した項目を変更する

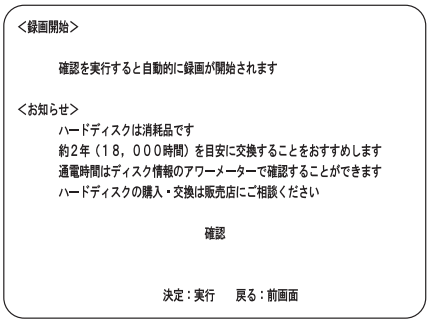
［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

設定項目	設定内容
カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ1台1秒あたりの録画枚数を選択します。カメラ台数によって選択肢が変わります。以下はカメラ台数1台の場合の録画枚数です。 30 / 15 / 10* / 7.5 / 6.0 / 5.0 / 3.0 / 2.0 / 1.0 / 0.5 / 0.4 / 0.3 /0.2 / 0.1
画質	録画する画質を以下から選択します。 低画質（EX） / 標準画質（NQ） / 高画質（FQ）* / 最高画質（SF）
音声	音声録音をするかどうかを以下から選択します。 録音あり（A） / 録音なし（－）*

＊：お買い上げ時の設定

4　設定が完了したら［次へ］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

録画開始・お知らせ画面が表示されますので内容を確認してください。



5　お知らせの内容を確認し、［決定］ボタンを押す

マニュアル録画を開始します。
モニターにカメラ画像が表示されます。

詳細設定

かんたん設定の内容よりも詳細に設定します。詳細設定と各種情報画面から説明します。基本設定、オプション設定、各種情報表示など本機に関するすべての設定画面をこの画面から表示できます。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　詳細設定と各種情報画面の各項目を設定する

［△］［▽］［◁］［▷］ボタンで項目を切り換えます。

タイマー録画を停止する場合は、［タイマー入/切］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押して（切）に切り換えます。

［お買い上げ時の設定：タイマー（入）］

<詳細設定と各種情報>
■基本設定
日時設定　タイマー録画設定　タイマー入/切（切）
マニュアル録画設定　アラーム録画設定
■オプション設定
外部入力録画設定　システム設定
アラーム動作設定　セキュリティ設定
画面表示設定　ネットワーク設定
モニター設定
■各種情報
システム情報　ログ情報
ディスク情報　アラームリスト全消去

▲▼：項目移動　◀▶：項目移動　決定：実行　戻る：前画面

メモ

- 詳細設定と各種情報の設定を何か変えたときに、［戻る］ボタンを押すと変更の確認画面が表示されます。変更内容を反映しないで設定メニューに戻るか、各設定画面に戻るかどうかを選択してください。

日時設定

本機をはじめてお使いになるときは、以下の手順で本機の時計を現在時刻に合わせてください。時計は定期的に確認し、現在時刻と一致していないときは再設定してください。

現在日時を設定する

現在の日時を設定します。日時設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［日時設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　日時設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。
カメラ選択ボタン［0］～［9］でも入力できます。

<日時設定>：現在日時の設定をします

現在日時を設定してください
（現在日時：2007/10/01　00:00:21）

日付　2007年
10月
01日
時刻　00時（24時間制で設定）
00分
実行（実行すると00秒でスタートします）

設定終了

2　年を設定する（［◁］［▷］ボタン）

3　月にカーソルを合わせる（［▽］ボタン）

年に入力した値が設定できない値のときは設定できる値になります。

4　手順2、手順3の操作を繰り返して、月、日、時、分を設定する

時間は、24時間形式で入力します。

5　設定が完了したら［実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

［決定］ボタンを押したときに、設定した時刻の0秒に時計の時刻を合わせます。

<日時設定>：現在日時の設定をします

現在日時を設定してください
（現在日時：2007/10/01　00:00:21）

日付　2007年
10月
01日
時刻　00時（24時間制で設定）
00分
実行（実行すると00秒でスタートします）

設定終了

6　［設定終了］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

重要

- 時計表示する / しないに関係なく、時刻は必ず合わせてください。年月日時分のいずれかの項目にカーソルを移動した場合は、時刻変更をしていなくても、実行にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押すことにより本機の時計は0秒に設定されます。

メモ

- 一度時刻を合わせた後、システム設定画面の自動時刻補正機能で本機の時計を他の機器の時刻に合わせたり、他の機器（親時計）の時刻を本機の時刻に合わせることができます。（→44ページ）

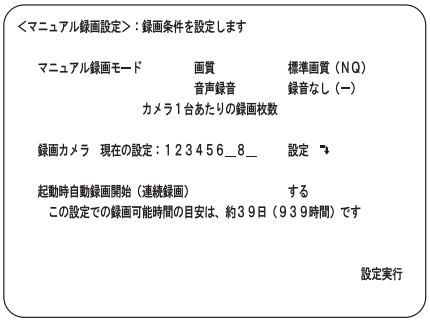
マニュアル録画設定

マニュアル録画の画質、音声、カメラ1台あたりの録画枚数、録画カメラ、起動時自動録画開始などの条件を設定します。
マニュアル録画設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［マニュアル録画設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　マニュアル録画設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。



設定項目	設定内容
画質	録画する画質を以下から選択します。 低画質（EX）／標準画質（NQ）／高画質（FQ）＊／最高画質（SF）
音声	音声録音をするかどうかを以下から選択します。 録音あり（A）／録音なし（—）＊
カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ台数によって選択肢が変わります。 録画カメラが無いときは、— 枚/秒（1秒に — 枚）と表示され変更できません。
録画カメラ	マニュアル録画で録画するカメラを設定する（→21ページ）
起動時自動録画開始（連続録画）	電源を「入」にしたときにマニュアル録画を開始するかどうかを選択します。 ［お買い上げ時の設定：しない］

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

カメラを設定する

マニュアル録画で録画するカメラを設定します。
マニュアル録画ーカメラ設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　マニュアル録画設定画面（→20ページ）で録画カメラの［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　マニュアル録画ーカメラ設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。
カメラ［1］～［9］の録画をするかどうかを選択します。

<マニュアル録画ーカメラ設定>

カメラ	録画
1	する
2	する
3	する
4	する
5	する
6	する
7	しない
8	する
9	しない

設定実行

設定項目	設定内容
録画	各カメラの画像をマニュアル録画するかどうかを選択します。 する* / しない

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

マニュアル録画設定画面が表示されます。

メモ

- マニュアル録画設定画面での録画モードおよび録画カメラの台数により録画可能時間の目安が表示されます。（→20ページ）

タイマー録画設定

タイマー録画用のプログラムを設定します。プログラムは最大18個まで設定できます。各プログラムでは一週間で録画する曜日と時間を個別に設定します。タイマー録画設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［タイマー録画設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　タイマー録画設定の各項目を設定する

すでに設定しているプログラムの情報が表示されます。

［△］［▽］ボタンで項目を切り換えます。

タイマー録画プログラムの設定をします。

（→23ページ）

<タイマー録画設定>：プログラムNoごとにタイマー録画条件を設定します

プログラムNo	曜日	開始	終了	録画カメラ	
1	毎日	0:00	24:00	123456789	設定 ↴
2	–	--:--	--:--	–	設定 ↴
3	–	--:--	--:--	–	–
4	–	--:--	--:--	–	–
5	–	--:--	--:--	–	–
6	–	--:--	--:--	–	–
7	–	--:--	--:--	–	–
8	–	--:--	--:--	–	–
9	–	--:--	--:--	–	–

タイマー設定終了

2　設定が完了したら［タイマー設定終了］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

メモ

- タイマー設定した曜日と時間が重複した場合は、曜日の前に「W」と表示されます。
- 曜日の設定が「毎日」と「水曜」といった場合は、「水曜」の設定が優先されて録画されるため、「W」の表示はされません。
- タイマー録画の録画優先については、6ページを参照してください。
- 基本的にはタイマー設定が重複しないように設定してください。
- タイマー録画の待機状態を解除するとき、またはタイマー録画を止めるときは、タイマーを「切」にします。（→30ページ）
- プログラムを9件以上設定する場合は、［次へ］または［前へ］を選択してページを切り換えます。

タイマー録画プログラムを設定する

タイマー録画用のプログラムごとに録画曜日、時刻、録画カメラ、録画モード、アラーム発生動作、アラーム録画設定などを設定します。
タイマー録画プログラムＮｏ：ｎ設定画面（ｎ：プログラム番号）から説明します。

設定画面の表示手順　　タイマー録画設定画面（→22ページ）でプログラムNo：ｎの［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　タイマー録画プログラムの各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<タイマー録画プログラムＮｏ：1設定>

録画曜日（毎週設定）		毎日
録画時刻（開始ー終了）	開始	0：00
	終了	～24：00
録画カメラ　現在の設定：1 2 3 4 5 6 7 8 9		設定
タイマー録画モード	画質	標準画質（NQ）
	音声録音	録音なし（ー）
	カメラ1台あたりの録画枚数	0．11枚/秒（9秒に1枚）
タイマー時間内のアラーム発生時動作設定		設定
タイマー時間内のアラーム録画設定		設定
		設定消去　設定実行

設定項目	設定内容
録画曜日（毎週設定）	タイマー録画をする曜日を以下から選択します。 毎日＊ / 月～土 / 月～金 / 月 / 火 / 水 / 木 / 金 / 土 / 日
開始	録画を開始する時刻を設定します。 ［お買い上げ時の設定：0：00］ ［▷］ボタンを押すと、1分単位で時刻を進めます。ボタンを押したままにすると15分単位で時刻を進めます。 終了時刻以降の時刻は設定できません。
終了	録画を終了する時刻を設定します。 ［お買い上げ時の設定：24：00］ ［◁］ボタンを押すと、1分単位で時刻を戻します。ボタンを押したままにすると15分単位で時刻を戻します。開始時刻以前の時刻は設定できません。
録画カメラ	タイマー録画で録画するカメラを設定する（→24ページ）
画質	録画する画質を以下から選択します。 低画質（EX） / 標準画質（NQ） / 高画質（FQ）＊ / 最高画質（SF）
音声録音	音声録音をするかどうかを以下から選択します。 録音あり（A） / 録音なし（ー）＊
カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ台数によって選択肢が変わります。 録画カメラが無いときは、ー枚/秒（1秒に ー 枚）と表示され変更できません。
タイマー時間内のアラーム発生時動作設定	アラーム発生時の動作を設定する（→25ページ）
タイマー時間内のアラーム録画設定	アラーム録画を設定する（→26ページ）

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

タイマー録画設定画面が表示されます。

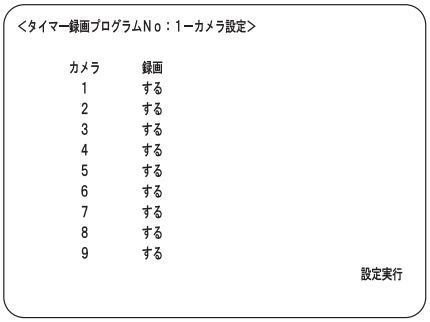
カメラを設定する

タイマー録画用のプログラムで、録画するカメラを設定します。
タイマー録画プログラムNo：nーカメラ設定画面（n：カメラ番号）から説明します。

設定画面の表示手順	タイマー録画プログラムNo：n設定画面（→23ページ）で録画カメラの［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　タイマー録画用プログラムで録画するカメラを設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。
カメラ［1］～［9］の録画をするかどうかを以下から選択します。



設定項目	設定内容
録画	各カメラのタイマー録画をするかどうかを以下から選択します。 する* / しない

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

タイマー録画プログラムNo：n設定画面が表示されます。

アラーム発生時の動作を設定する

タイマー録画中のアラーム発生時のカメラ動作を設定します。
タイマー録画プログラムNo：nーアラーム発生動作設定画面（n：プログラム番号）から説明します。

設定画面の表示手順　タイマー録画プログラムNo：n設定画面（→23ページ）でタイマー時間内のアラーム発生時動作設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　タイマー録画プログラムNo：nーアラーム発生動作設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。
カメラ［1］～［9］のアラーム発生時動作を以下から選択します。

<タイマー録画プログラムNo：1ーアラーム発生時動作設定>

アラーム	動作設定
1	OFF
2	OFF
3	録画のみ（REC）
4	録画のみ（REC）
5	録画とアラーム動作（R&A）
6	録画とアラーム動作（R&A）
7	OFF
8	OFF
9	録画のみ（REC）

設定実行

設定項目		設定内容
動作設定		アラーム発生時の動作を設定します。
	OFF	アラーム動作、アラーム録画を実行しません。
	録画のみ（REC）	アラーム録画のみ実行します。その他のアラーム動作は実行しません。
	録画とアラーム動作（R&A）＊	アラーム動作、アラーム録画を実行します。

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

タイマー録画プログラムNo：n設定画面が表示されます。

メモ

- タイマー時間外のアラーム発生時の動作設定は、「アラーム動作設定」（→32ページ）で設定します。

アラーム録画を設定する

タイマー録画中にアラーム録画する場合の録画モード、録画カメラ、プレアラーム録画時間、ポストアラーム録画時間を設定します。タイマー録画プログラムNo：nーアラーム録画設定画面（n：カメラ番号）から説明します。

設定画面の表示手順　タイマー録画プログラムNo：n設定画面（→23ページ）でタイマー時間内のアラーム録画設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　タイマー録画プログラムNo：nーアラーム録画設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<タイマー録画プログラムNo：1ーアラーム録画設定>

アラーム録画モード	画質	標準画質（NQ）
	音声録音	録音なし（ー）
	カメラ1台あたりの録画枚数	3．33枚/秒 （0．33秒に1枚）
アラーム録画カメラ		全カメラ
プレアラーム録画時間（アラーム発生直前録画）		録画しない
ポストアラーム録画時間（アラーム自動復帰時間）		10秒

設定実行

設定項目	設定内容
画質	録画する画質を以下から選択します。 低画質（EX）／ 標準画質（NQ）／ 高画質（FQ）＊ ／ 最高画質（SF）
音声録音	音声録音をするかどうかを選択します。 録音あり（A） ／ 録音なし（ー）＊
カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ台数によって選択肢が変わります。
アラーム録画カメラ	アラーム発生時に録画するカメラを以下から選択します。 全カメラ＊ ／ アラーム発生カメラ
プレアラーム録画時間	アラーム発生時からさかのぼって録画する場合の時間を以下から選択します。 録画しない＊ ／ 1秒 ／ 2秒 ／ 3秒 ／ 4秒 ／ 5秒
ポストアラーム録画時間	アラーム発生時から録画する時間を以下から選択します。 5秒 ／ 10秒＊ ／ 20秒 ／ 30秒 ／ 1分 ／ 1.5分 ／ 2分 ／ 3分 ／ 6分 ／ センサー連動 ／ アラーム復帰連動 センサー連動：アラーム信号が入力されている間、録画します。 （最低10秒間録画します。） アラーム復帰連動：アラーム復帰ボタンを押すまで、録画します。

＊：お買い上げ時の設定

メモ

- アラーム録画カメラを「全カメラ」にした場合、タイマー録画設定の録画カメラ（→24ページ）に設定されたカメラ台数によって、カメラ1台あたりの録画枚数の選択肢が変わります。
- アラーム録画カメラを「アラーム発生カメラ」にした場合、複数のアラームが発生すると、カメラ１台あたりの録画枚数が設定した枚数より少なくなります。
- プレアラーム録画時間を設定しているときに再生、ネットワーク操作、動き自動検出（VMD）などを同時に行うと、プレアラーム録画の録画枚数が15枚 ／ 秒（IPS）になることがあります。

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

タイマー録画プログラムNo：n設定画面が表示されます。

メモ

- アラーム録画カメラを「アラーム発生カメラ」に設定した場合でもプレアラーム録画では、接続されているすべてのカメラ画像を録画します。そのとき、ポストアラーム録画の録画枚数は設定した枚数より少なくなることがあります。

アラーム録画設定

タイマー録画時間外にアラームが発生したときの録画モード、録画カメラ、プレアラーム録画時間、ポストアラーム録画時間を設定します。アラーム録画設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［アラーム録画設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　アラーム録画設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<アラーム録画設定>：アラーム発生による録画条件の設定をします

アラーム録画モード	画質	標準画質（NQ）
	音声録音	録音なし（－）
	カメラ1台あたりの録画枚数	3．33枚/秒 （0．33秒に1枚）
アラーム録画カメラ		全カメラ
プレアラーム録画時間（アラーム発生直前録画）		録画しない
ポストアラーム録画時間（アラーム自動復帰時間）		10秒

設定実行

設定項目	設定内容
画質	録画する画質を以下から選択します。 低画質（EX）／ 標準画質（NQ）／ 高画質（FQ）* ／ 最高画質（SF）
音声録音	音声録音をするかどうかを選択します。 録音あり（A）／ 録音なし（－）*
カメラ1台あたりの録画枚数	次のアラーム録画カメラを「全カメラ」にした場合、マニュアル録画設定の録画カメラ（→20ページ）に設定されたカメラ台数によって選択肢が変わります。
アラーム録画カメラ	アラーム発生時に録画するカメラを以下から選択します。 全カメラ* ／ アラーム発生カメラ
プレアラーム録画時間	アラーム発生時からさかのぼって録画する場合の時間を以下から選択します。 録画しない* ／ 1秒 ／ 2秒 ／ 3秒 ／ 4秒 ／ 5秒
ポストアラーム録画時間	アラーム発生時から録画する時間を以下から選択します。 5秒 ／ 10秒* ／ 20秒 ／ 30秒 ／ 1分 ／ 1.5分 ／ 2分 ／ 3分 ／ 6分 ／ センサー連動 ／ アラーム復帰連動 センサー連動：アラーム信号が入力されている間、録画します。 （最低10秒間録画します。） アラーム復帰連動：アラーム復帰ボタンを押すまで、録画します。

＊：お買い上げ時の設定

メモ

- アラーム録画カメラを「アラーム発生カメラ」にした場合、複数のアラームが発生すると、カメラ１台あたりの録画枚数が設定した枚数より少なくなります。

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

メモ

- タイマー録画中のアラーム録画の設定は、タイマー録画内の「アラーム録画設定」（→26ページ）で設定します。
- アラーム録画カメラを「アラーム発生カメラ」に設定した場合でもプレアラーム録画では、接続されているすべてのカメラ画像を録画します。そのとき、ポストアラーム録画の録画枚数は設定した枚数より少なくなることがあります。
- プレアラーム録画時間を設定しているときに再生、ネットワーク操作、動き自動検出（VMD）などを同時に行うと、プレアラーム録画の録画枚数が15枚 / 秒（IPS）になることがあります。

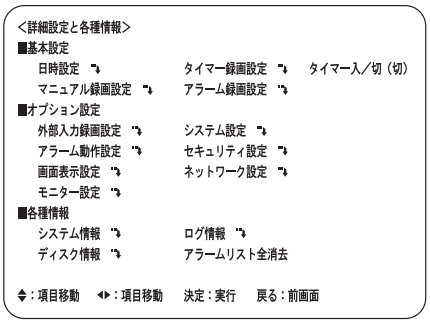
タイマー入／切

タイマー録画のプログラム待機状態を解除／設定するとき、またはタイマー録画を止めるときに設定します。詳細設定と各種情報画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　［タイマー入／切］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

タイマー入／切を切り換えます。



設定項目	設定内容
タイマー入／切（入）	プログラム待機状態またはタイマー録画実行中。 タイマーランプが点灯または点滅します。
タイマー入／切（切）	プログラム待機状態解除中。 タイマー録画中に「切」にすると録画を停止します。 タイマーランプが消灯します。

外部入力録画設定

外部入力録画とは、録画中の録画モードを背面出力端子に接続した外部入力録画スイッチにより、手動で変更できる機能です。外部入力録画設定では、この録画モードを設定します。外部入力録画設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［外部入力録画設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　外部入力録画設定の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<外部入力録画設定>：外部入力による録画条件の設定をします

外部入力時録画モード　画質　標準画質（NQ）
音声録音　録音なし（－）
カメラ1台あたりの録画枚数　3．33枚/秒
（0．33秒に1枚）

設定実行

設定項目	設定内容
画質	録画する画質を以下から選択します。 低画質（EX）／標準画質（NQ）／高画質（FQ）＊／最高画質（SF）
音声録音	音声録音をするかどうかを以下から選択します。 録音あり（A）／録音なし（－）＊
カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ台数によって選択肢が変わります。

＊：お買い上げ時の設定

メモ

- 表示されるカメラ1台あたりの画像枚数の選択肢は、マニュアル録画設定（→20ページ）およびタイマー録画設定（→22ページ）で設定されている録画カメラの最大数によって異なります。
  外部入力時に録画される実際の録画枚数とは異なる場合があります。

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

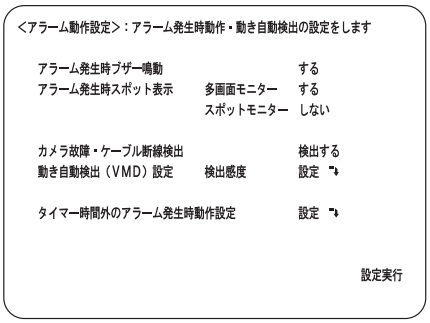
アラーム動作設定

ブザー鳴動、スポット表示、カメラ故障・ケーブル断線検出、動き自動検出、タイマー時間外のアラーム発生時動作など、アラーム発生時の動作を設定します。アラーム動作設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［アラーム動作設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　アラーム動作設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。



設定項目		設定内容
アラーム発生時ブザー鳴動		アラーム発生時にブザーを鳴動させるかどうかを設定します。［お買い上げ時の設定：する］
アラーム発生時スポット表示		アラーム発生時にアラームが発生したカメラを1画で表示するかどうかを設定します。
	多画面モニター	多画面モニターにアラームが発生したカメラを1画で表示するかどうかを設定します。［お買い上げ時の設定：する］
	スポットモニター	スポットモニターにアラームが発生したカメラを1画で表示するかどうかを設定します。［お買い上げ時の設定：する］
カメラ故障・ケーブル断線検出		カメラ故障・ケーブル断線を検出するかどうかを設定します。［お買い上げ時の設定：検出する］
動き自動検出（VMD）設定		動き自動検出（VMD）を使用するかどうかをカメラごとに設定します。（→33ページ）
タイマー時間外のアラーム発生時動作設定		タイマー時間外のアラーム発生時動作を設定します。（→35ページ）

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

動き自動検出（VMD）を設定する

動き自動検出（VMD）機能を使用するかどうかをカメラごとに設定します。使用する場合は、検出感度とエリアを設定します。動き自動検出（VMD）設定画面から説明します。

設定画面の表示手順	アラーム動作設定画面（→32ページ）で動き自動検出（VMD）設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1 動き自動検出（VMD）ー検出感度設定画面でカメラごとに検出感度とエリアを設定する

［△］［▽］ボタンでカメラ番号を切り換え、［◁］［▷］ボタンで検出感度を切り換え［決定］ボタンを押します。

設定項目		設定内容
検出感度とエリア設定		動き自動検出の検出感度を設定します。
	強（HIGH）	検出感度を強に設定します。［決定］ボタンを押すとエリア設定画面を表示します。
	中（MID）	検出感度を中に設定します。［決定］ボタンを押すとエリア設定画面を表示します。
	弱（LOW）	検出感度を弱に設定します。［決定］ボタンを押すとエリア設定画面を表示します。
	検出しない*	動き自動検出機能を使用しません。

＊：お買い上げ時の設定

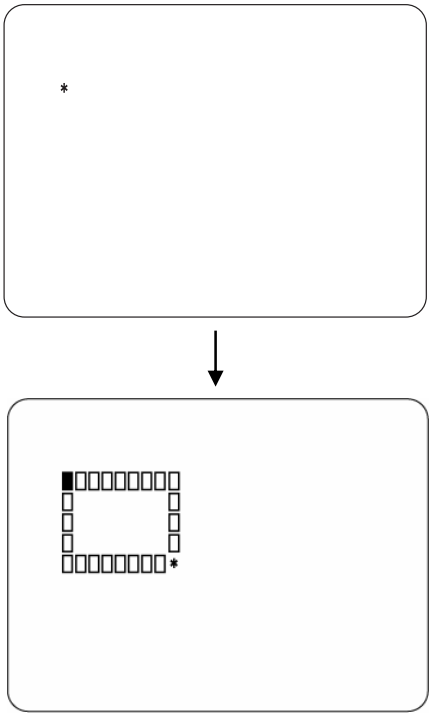
2 検出感度を設定した場合、エリア設定する

検出感度を設定したカメラ画像が表示されます。［△］［▽］［◁］［▷］ボタンでカーソルを移動します。

最初にカーソル（*）を設定したいエリアの左上にあたる位置に移動し［決定］ボタンを押します。（エリアの開始位置決定）

次にカーソルを設定したいエリアの右下にあたる位置に移動し、再度［決定］ボタンを押します。（エリアの確定）

上記の操作を繰り返して最大4のエリアをカメラごとに設定できます。



3　エリアを削除する

設定したエリアを削除するには、削除するエリアの左上にカーソルを合わせて［決定］ボタンを押します。

4　［戻る］ボタンを押す

設定が反映され、検出感度設定画面画面が表示されます。手順1～2を繰り返しカメラごとに検出感度とエリアを設定してください。

5　［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

アラーム動作設定画面が表示されます。

メモ

- エリア設定中、設定したエリアの輝度の変化を検出すると「ピピッ」と音が鳴ります。アラーム発生時にブザーを鳴動させたい場合は、アラーム発生時ブザー鳴動を「する」に設定してください。（→32ページ）
- 画面に表示されるエリアは、検出範囲の目安です。設定時は「ピピッ」という音を確認しながら設定してください。
- 本機のVMD機能は、輝度の変化によって動きを検出しています。このため、設定したエリア内で動きがあっても、輝度の変化が少ない場合、動きを検出できないことがあります。
- コンビネーションカメラ等の回転台付カメラを接続したチャンネルに対して、VMDは使用しないでください（「検出しない」にしてください）。VMDを使用するとカメラが旋回するたびにアラーム録画されます。
- 時刻埋め込みを「する」に設定している場合、時刻表示エリア付近は輝度の変化を検知しません。時刻表示エリア付近の動きを検出したい場合は、時刻埋め込みを「しない」に設定してください。（→36ページ）

タイマー時間外のアラーム発生時動作を設定する

タイマー録画を設定した時間以外にアラームが発生したときに録画するかどうか、アラームを鳴動させるか、何もしないかなどの動作を設定します。アラーム動作設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　アラーム動作設定画面（→32ページ）でタイマー時間外のアラーム発生時動作設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　タイマー時間外ーアラーム発生時動作設定画面でアラームごとに動作設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。
カメラ［1］～［9］のアラーム発生時動作を以下から選択します。

<タイマー時間外ーアラーム発生時動作設定>

アラーム	動作設定
1	OFF
2	OFF
3	録画のみ（REC）
4	録画のみ（REC）
5	録画とアラーム動作（R&A）
6	録画とアラーム動作（R&A）
7	OFF
8	OFF
9	録画のみ（REC）

設定実行

設定項目		設定内容
動作設定		アラーム発生時の動作を設定します。
	OFF	アラーム動作、アラーム録画を実行しません。
	録画のみ（REC）	アラーム録画のみ実行します。その他のアラーム動作は実行しません。
	録画とアラーム動作（R&A）＊	アラーム動作、アラーム録画を実行します。

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

アラーム動作設定画面が表示されます。

メモ

- タイマー録画中のアラーム発生時動作設定は、タイマー録画プログラム設定の中で設定します。（→25ページ）

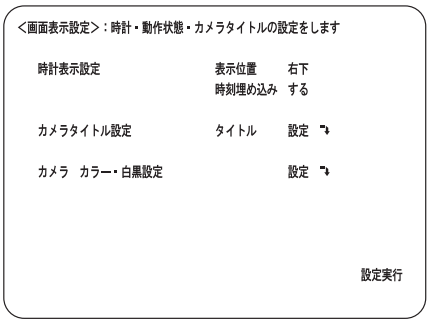
画面表示設定

時計表示、およびカメラタイトルについて表示方法を設定します。画面表示設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［画面表示設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　画面表示設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。



設定項目		設定内容
表示位置		時計の表示位置を以下から選択します。 右下* / 左下 / 右上 / 左上
時刻埋め込み		時計表示を録画する画像に埋め込むかどうかを設定します。
	する	時計表示を録画する画像に埋め込みます。
	しない*	時計表示を録画する画像に埋め込みません。
カメラタイトル設定		カメラタイトルを設定します。（→37ページ）
カメラ カラー・白黒設定		カラーカメラか白黒カメラかをカメラに合わせて設定します。（→38ページ）

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

メモ

- 時刻埋め込みを「する」に設定すると、1画面表示で再生した場合、埋め込まれた時刻のみが表示されます。（再生時に表示される時刻は表示されません。）

カメラタイトルを設定する

画面表示設定でカメラタイトルを表示するときに設定します。カメラタイトル設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　画面表示設定画面（→36ページ）でカメラタイトル設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　カメラごとにタイトル表示を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。
［タイトル表示］を「する→」に設定する場合、［する→］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押して、タイトルおよび表示位置を設定します。

<カメラタイトル設定>

カメラ	タイトル表示	タイトル	表示位置
1	する→	・・・・・・・・	左上
2	する→	・・・・・・・・	左上
3	する→	・・・・・・・・	左上
4	する→	・・・・・・・・	左上
5	する→	・・・・・・・・	左上
6	する→	・・・・・・・・	左上
7	する→	・・・・・・・・	左上
8	する→	・・・・・・・・	左上
9	しない	・・・・・・・・	左上

設定実行

設定項目	設定内容
タイトル表示	カメラタイトルを表示するかどうか選択します。 ［お買い上げ時の設定：する→］
タイトル	以下の8文字以内でタイトルを入力します。 ［お買い上げ時の設定：カメラ番号］ ァァィィゥゥエェオォカガキギクグケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダチヂツヅテデトドナニヌネノハバパヒビプヘベペホボポマミムメモヤャユュヨョラリルレロワヲン０１２３４５６７８９ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ！％＆（）＊ー／：．？←→↑↓・（空白）
表示位置	カメラタイトルの表示位置を右下 / 左下 / 右上 / 左上から選択します。 ［お買い上げ時の設定：左上］

2　タイトルと表示位置を設定する

［◁］［▷］ボタンで項目を切り換え、
［△］［▽］ボタンで設定値を切り換えます。
［戻る］ボタンを押すと、カーソルが［する→］に戻ります。

メモ

- タイトル文字を入力中にカメラ選択ボタン［1］～［4］で選択文字をジャンプすることができます。
  ［1］･･･ア　　［2］･･･０（ゼロ）　　［3］･･･Ａ　　［4］･･･！
- タイトル表示を「しない」に設定している場合、タイトル部分にカメラ番号が表示されます。

3　手順1、2の操作を繰り返してすべてのカメラの設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

画面表示設定画面が表示されます。

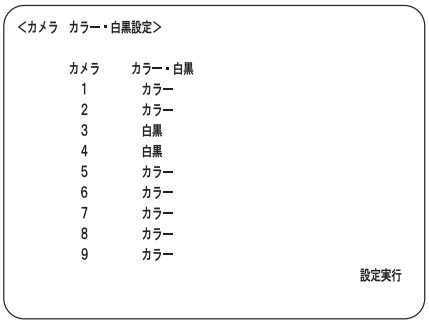
カメラをカラー・白黒に設定する

画面表示設定で、カラーカメラか白黒カメラかを接続したカメラに合わせて設定します。カメラ　カラー・白黒設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　画面表示設定画面（→36ページ）でカメラ　カラー・白黒設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　カメラごとにカラー・白黒を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。



設定項目		設定内容
カラー・白黒		接続したカメラがカラーカメラか白黒カメラかを選択します。
	カラー*	接続したカメラがカラーカメラのときに設定します。
	白黒	接続したカメラが白黒カメラのときに設定します。

＊：お買い上げ時の設定

2　手順1の操作ですべてのカメラの設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

画面表示設定画面が表示されます。

メモ

- 白黒カメラを接続した場合は、「白黒」に設定してください。「カラー」のままにすると、画像の一部に色がつくなど、正しく白黒表示されません。

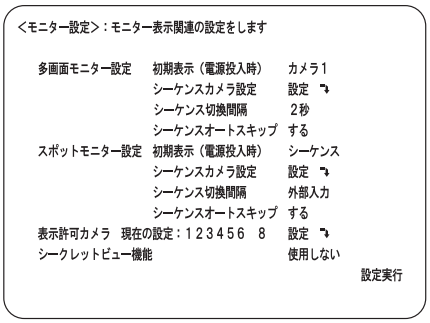
モニター設定

多画面モニター・スポットモニターの初期表示カメラ、シーケンスカメラ設定、表示許可カメラ、シークレットビュー機能などモニター表示関連の設定をします。モニター設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［モニター設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　モニター設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。
以下の設定項目が表示されます。



（1/2）

設定項目	設定内容	
多画面モニター設定	初期表示（電源投入時）	多画面モニターに最初に表示するカメラ番号または表示方法を設定します。［お買い上げ時の設定：4分割（1～4）］
	カメラ番号1～9	最初に表示する画像をカメラ1～9から選択します。
	4分割（1～4）	最初に4分割（1～4）画面を表示します。
	4分割（5～8）	最初に4分割（5～8）画面を表示します。
	4分割（9）	最初に4分割（9）画面を表示します。
	9分割（1～9）	最初に9分割画面を表示します。
	シーケンス	最初にシーケンス表示します。
	シーケンスカメラ設定	シーケンス動作（画像自動切り換え）の順序を設定します。（→41ページ）
	シーケンス切換間隔	シーケンスの切り換え間隔を設定します。［お買い上げ時の設定：2秒］
	2～30秒	設定した時間間隔で表示を切り換えます。
	外部入力	アラーム/コントロール端子からの入力に連動して切り換えます。
	シーケンスオートスキップ	シーケンス表示中に映像信号が無いカメラ画像をスキップするかどうかを設定します。［お買い上げ時の設定：する］
	する	カメラ画像をスキップします。
	しない	カメラ画像を黒画表示します。

設定項目	設定内容	
スポットモニター設定	初期表示（電源投入時）	スポットモニターに最初に表示するカメラ番号を表示します。 ［お買い上げ時の設定：カメラ1］
	カメラ番号1～9	最初に表示する画像をカメラ1～9から選択します。
	シーケンス	最初にシーケンス表示します。
	シーケンスカメラ設定	シーケンス動作（画像自動切り換え）の順序を設定します。（→42ページ）
	シーケンス切換間隔	シーケンスの切り換え間隔を設定します。 ［お買い上げ時の設定：2秒］
	2～30秒	設定した時間間隔で表示を切り換えます。
	外部入力	アラーム / コントロール端子からの入力に連動して切り換えます。
	シーケンスオートスキップ	シーケンス表示中に映像信号が無いカメラ画像をスキップするかどうかを設定します。 ［お買い上げ時の設定：する］
	する	カメラ画像をスキップします。
	しない	カメラ画像を黒画表示します。
表示許可カメラ	ライブ時表示許可カメラ設定画面を開きます。（→43ページ）	
シークレットビュー機能	多画面モニターで1画面表示しているカメラ画像をスポットモニターで黒画表示するかどうかを選択します。［お買い上げ時の設定：使用しない］	
使用する	カメラ画像をスポットモニターには黒画表示します。	
使用しない	カメラ画像をスポットモニターにも表示します。	

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

多画面モニターのシーケンス動作を設定する

多画面モニターにシーケンス表示する場合、表示カメラおよび表示形式の順番を設定します。最大9ステップまで設定できます。多画面モニターカメラ表示設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　モニター設定画面（→39ページ）で多画面モニター設定のシーケンスカメラ設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　多画面モニターカメラ表示設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<多画面モニターカメラ表示設定>

順番	表示カメラ
1	カメラ1
2	カメラ2
3	カメラ3
4	カメラ4
5	カメラ5
6	4分割（1～4）
7	4分割（5～8）
8	4分割（9）
9	9分割（1～9）

設定実行

設定項目	設定内容
カメラ番号1～9	カメラ1～9を表示します。
4分割（1～4）	4分割（1～4）画面を表示します。
4分割（5～8）	4分割（5～8）画面を表示します。
4分割（9）	4分割（9）画面を表示します。
9分割（1～9）	9分割（1～9）画面を表示します。
－－	そのステップは実行しません。

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

モニター設定画面が表示されます。

スポットモニターのシーケンス動作を設定する

スポットモニターにシーケンス表示する場合、表示するカメラの順番を設定します。最大9ステップまで設定できます。スポットモニターカメラ表示設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　モニター設定画面（→39ページ）でスポットモニター設定のシーケンスカメラ設定の［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　スポットモニターカメラ表示設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<スポットモニターカメラ表示設定>

順番	表示カメラ
1	カメラ1
2	カメラ2
3	カメラ3
4	カメラ4
5	カメラ5
6	カメラ6
7	カメラ7
8	カメラ8
9	カメラ9

設定実行

設定項目	設定内容
カメラ番号1～9	カメラ1～9を表示します。
－－	そのステップは実行しません。

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

モニター設定画面が表示されます。

メモ

- スポットモニターでのシーケンス表示は、1画面のシーケンス表示（スポットシーケンス表示）のみです。

ライブ時表示許可カメラを設定する

ライブ表示するときにカメラ画像表示しないカメラを設定することができます。ライブ時表示許可カメラ設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　モニター設定画面（→39ページ）で表示許可カメラの［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　ライブ時表示許可カメラ設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<ライブ時表示許可カメラ設定>

カメラ	ライブ表示
1	する
2	する
3	する
4	する
5	する
6	する
7	しない
8	する
9	しない

設定実行

設定項目		設定内容
ライブ表示		ライブ表示するときにカメラ画像表示を許可するかどうかを選択します。
	する*	ライブ表示するときにカメラ画像を表示します。
	しない	ライブ表示するときにカメラ画像を表示せず、黒画が表示されます。「しない」に設定しても録画はされます。

＊：お買い上げ時の設定

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

モニター設定画面が表示されます。

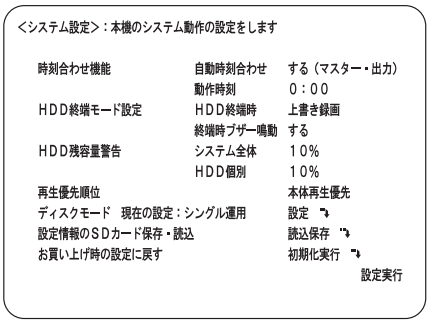
システム設定

時刻補正機能、HDD終端モード設定、HDD残容量警告、再生優先順位、ディスクモード、設定情報のSDカード保存・読込、お買い上げ時の設定に戻すなど、本機のシステム動作を設定します。システム設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［システム設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　システム設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。



（1/2）

設定項目	設定内容		
時刻合わせ機能	自動時刻合わせ		自動時刻合わせをするかどうかを選択します。 ［お買い上げ時の設定：する（スレーブ・入力）］
		する（マスター・出力）	他の機器の時刻を本機の時刻に合わせます。
		する（スレーブ・入力）	後面のアラーム/コントロール端子に信号が入力されると、本機の時刻を合わせます。
		しない	自動時刻合わせをしません。
	動作時刻		自動時刻合わせ出力をする時刻を0：00～23：00の間の1時間単位で設定します。 ［お買い上げ時の設定：0：00］
HDD終端 モード設定	HDD終端時		HDD録画で最終ポイント（終端）まで録画したときに、先頭ポイントに戻り上書き録画するか、録画停止するかを選択します。 ［お買い上げ時の設定：上書き録画］
		上書き録画	先頭ポイントに戻り上書き録画します。
		録画停止	録画を停止します。
	終端時ブザー鳴動		HDD録画で最終ポイント（終端）まで録画したときに、ブザーを鳴動させるかどうかを以下より選択します。 する / しない ［お買い上げ時の設定：する］

設定項目	設定内容	
HDD残容量警告*	システム全体	HDD全体の残容量が少なくなったときに何%で警告するか、または警告しないかを以下より選択します。 1～10% / 警告しない ［お買い上げ時の設定：1%］
	HDD個別	HDD個別の残容量が少なくなったときに何%で警告するか、または警告しないかを以下より選択します。 1～10% / 警告しない ［お買い上げ時の設定：警告しない］
再生優先順位	再生する画像の優先順位を以下から選択します。「後優先」は後から入力された動作を優先します。 本体再生優先 / ネットワーク再生優先 / FTPソフト優先 / 後優先 ［お買い上げ時の設定：本体再生優先］	
ディスクモード	HDDの運用モードを設定します。（→46ページ）	
設定情報のSDカード保存・読込	設定情報をminiSDカードに保存（→49ページ）、miniSDカードから読み込み（→48ページ）をします。	
お買い上げ時の設定に戻す	システム設定をお買い上げ時に戻します。（→47ページ）	

＊：HDD残容量警告は、HDD終端モード設定が「録画停止」のときのみ動作します。

メモ

- FTPを使った画像取得を優先する場合は、［再生優先順位］で「FTPソフト優先」を選択します。

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

HDDの運用を切り換える（ディスクモード）

本機は、録画映像を1つのHDDに書き込む「シングル運用」と、2つのHDDに同時に書き込む「デュアル運用」の2種類を搭載しています。

- シングル運用：HDDを有効に使い、デュアル運用に比べて約2倍長時間録画できます。ただし、HDDが故障した場合、故障したHDDに録画された映像を再生することができなくなります。
- デュアル運用：同じ映像を同時に2台のHDDに録画するため、シングル運用に比べて約半分の録画時間しか録画できませんが、一方のHDDが故障した場合でも、もう一方のHDDから再生できるため、記録の信頼性を向上することができます（再生時のHDDは自動で切り換わります）。

重要

- デュアル運用中に一方のHDDを交換した場合、交換した時点からのデュアル録画になります。それ以前の映像は交換したHDDには保存されません。
- ディスクモードを切り換えるとHDDをフォーマットする必要があります。必要な画像はすべてminiSDカードにコピーまたはネットワーク機能を使ってサーバーに転送してください。
- デュアル運用中に運用停止したHDDは、再度運用する際にフォーマットする必要があります。フォーマットすると、そのHDDに録画した画像はすべて消去されます。また、もう一方のHDDが故障すると、フォーマットする前に録画した画像がすべて消失しますので、デュアル運用のときは、保存目的以外でのHDDの取り外しはしないでください。

ディスクモードを変更する

HDDの運用モードをシングル運用にするか、デュアル運用にするか選択します。ディスクモード設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　システム設定画面（→44ページ）でディスクモードの［設定↓］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　ディスクモード設定画面でディスクモードを選択する

［お買い上げ時の設定：シングル運用］

<ディスクモード設定>

ディスクモード　　シングル運用

設定変更を実行すると設定メニューを終了します

設定変更実行　　設定変更しない

2　［◁］［▷］ボタンで［設定変更実行］か［設定変更しない］を選択して［決定］ボタンを押す

ディスクモードを変更した場合、確認画面が表示されます。

設定変更しないにすると、システム設定画面へ戻ります。

<確認>

ディスクモードを変更した場合、ハードディスクのフォーマットが必要です

フォーマットすると録画記録は消去されますがフォーマットしますか？

はい　　いいえ

3　HDDをフォーマットするときは、［はい］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

設定メニューが終了し、HDDのフォーマットが始まります。

［いいえ］にすると、フォーマットせずに設定メニューを終了します。

メモ

- 大切なデータは、コピーまたはダウンロードしてからHDDをフォーマットしてください。
- 本機のディスクモードとHDDをフォーマットしたときのディスクモードが異なると、HDDに書き込みができません。ディスクモード変更後はHDDを必ずフォーマットしてください。
- デュアル運用にする場合は、同じサイズのHDDをご使用ください。
- HDDは必ずフォーマットが正常終了したことを確認してからご使用ください。フォーマットエラーが発生したHDDをそのまま使用すると、誤動作することがあります。
- 本体の［フォーマット］ボタンを5秒以上押してフォーマットすることもできます。（→基本編）

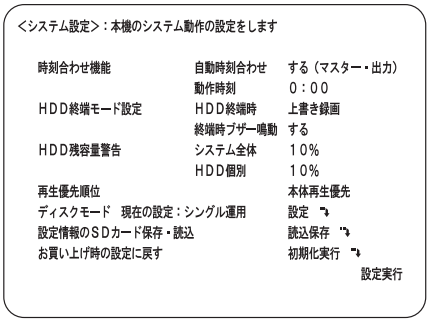
設定をお買い上げ時の設定に戻す

設定をお買い上げ時の設定に戻します。システム設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　　**システム設定画面（→44ページ）でお買い上げ時の設定に戻すの［初期化実行↓］選択 ≫ ［決定］ボタン**

1　システム設定画面の［お買い上げ時の設定に戻す］の［初期化実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

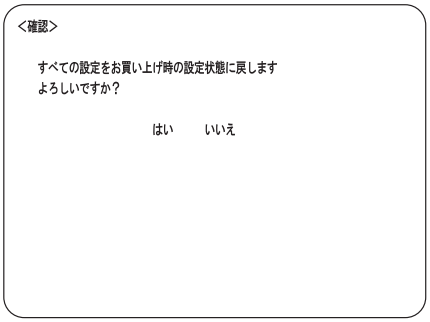
確認画面が表示されます。



2　すべての設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、［はい］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

お買い上げ時の設定に戻り、システム設定画面へ戻ります。

［いいえ］にすると、設定はそのままでシステム設定画面へ戻ります。



メモ

- システム設定をお買い上げ時の設定に戻す前に設定内容を保存する場合は、設定情報保存（→49ページ）を参照してください。また、保存した設定内容を読み込む場合は、読込画面（→48ページ）を参照してください。
- 現在日時・ネットワーク設定値（ユーザー設定、ホスト設定、FTPクライアント設定、メール設定、ブラウザー表示設定）およびディスクモードは初期化されません。

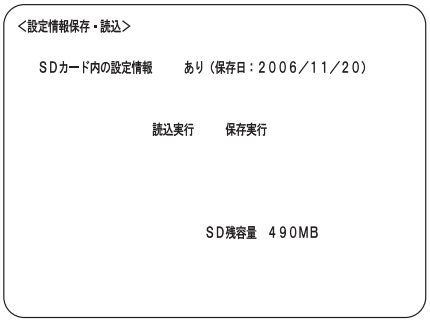
設定情報を読み込む

miniSDカードに保存されている設定情報を本機に読み込みます。読み込む際に、設定情報保存・読込画面を表示するとカード内の設定情報が表示されます。設定情報保存・読込画面から説明します。

設定画面の表示手順　　**システム設定画面（→44ページ）で設定情報のSDカード保存・読込の［読込保存↓］選択 ≫ ［決定］ボタン**

1　設定情報保存・読込画面の［読込実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

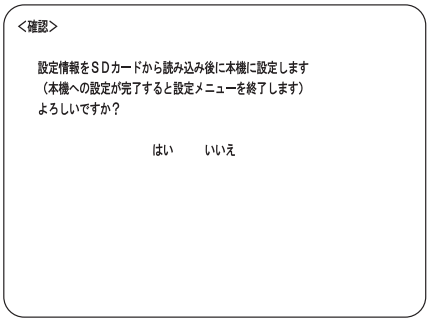
確認画面が表示されます。



2　設定情報をminiSDカードから読み込み、本機に設定するときは、［はい］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

miniSDカードから読み込んだ情報に設定され、ライブ画に戻ります。

［いいえ］にすると、設定はそのままで設定情報保存・読込画面へ戻ります。



メモ

- 設定情報の読み込みによって、本機のネットワークの設定が変更されると本機は自動で再起動します。
- ハードディスクレコーダーモード（HDRモード）で保存した設定情報をフレームスイッチャーモード（FSモード）で読み込まないでください。また、その逆の操作もしないでください。
- 現在日時、各種パスワード、ディスクモード、ネットワーク設定は、読み込まれません。

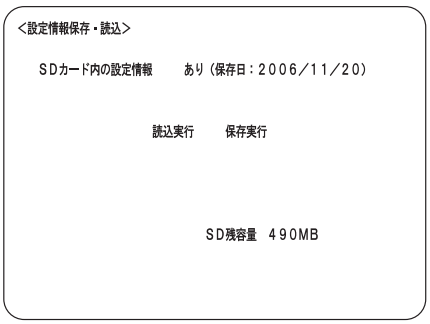
設定情報を保存する

現在の設定情報をminiSDカードに保存します。保存する際に、設定情報保存・読込画面を表示するとカード内の設定情報の有無が表示されます。設定情報保存・読込画面から説明します。

設定画面の表示手順　　システム設定画面（→44ページ）で設定情報のSDカード保存・読込の「読込保存」選択 ≫ ［決定］ボタン

1　設定情報保存・読込画面の［保存実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

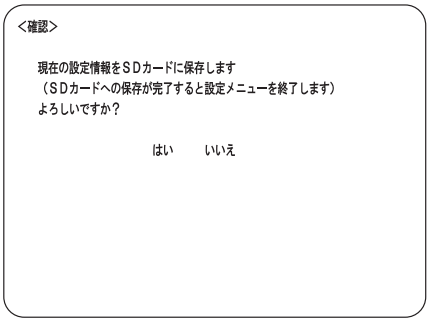
確認画面が表示されます。



2　miniSDカードへ設定情報を保存するときは［はい］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

現在の設定情報がminiSDカードへ保存され、ライブ画に戻ります。

［いいえ］にすると、設定は保存されずに設定情報保存・読込画面へ戻ります。



重要

- miniSDカードには、本機の設定情報が記録されています。
  お客様の責任のもと、保管管理してください。

メモ

- miniSDカードにすでに設定情報が保存されている場合は、保存実行すると上書きされます。
- 設定変更後に設定情報を保存する場合は、いったん設定メニューを閉じてから再度設定情報を保存してください。

セキュリティ設定

パスワード設定、操作キーロック機能、SDカードコピーロック機能、改ざんチェック機能など、本機のセキュリティを設定します。セキュリティ設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［セキュリティ設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　セキュリティ設定画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。

<セキュリティ設定>：本機セキュリティ関連の設定をします

パスワード設定	管理者用パスワード	設定する→ ＊＊＊＊＊
	オペレーター用パスワード	設定する→ ＊＊＊＊＊
操作キーロック機能	自動キーロック	する（無操作5分ロック）
	ロック中操作ブザー鳴動	する
SDカードコピーロック機能		使用しない
	SDカードコピー用パスワード	設定する→ ＊＊＊＊＊
改ざんチェック機能		使用する

設定実行

設定項目	設定内容	
パスワード設定	管理者およびオペレーターのパスワードを設定します。管理者は各種の設定ができ、オペレーターは設定メニュー以外の操作ができます。	
	管理者用パスワード	5けたの数字を入力します。［お買い上げ時の設定：12345］
	オペレーター用パスワード	5けたの数字を入力します。［お買い上げ時の設定：12345］
操作キーロック機能	本機のリモコンおよびパネル操作ができないように自動で操作ロックします。	
	自動キーロック	自動操作ロックを「しない」にするか、「する」（無操作5分ロック）にするか選択します。［お買い上げ時の設定：しない］
	ロック中操作ブザー鳴動	ロック中の操作に対してブザーを鳴動させるかどうかを選択します。［お買い上げ時の設定：する］
SDカードコピーロック機能	miniSDカードのコピーロック機能を使用するかどうかを設定します。［お買い上げ時の設定：使用しない］	
	SDカードコピー用パスワード	5けたの数字を入力します。［お買い上げ時の設定：12345］
改ざんチェック機能	録画する画像に改ざんチェック用のコードを埋め込むかどうかを設定します。［お買い上げ時の設定：使用しない］	

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

メモ

- 画像が改ざんされていないかどうか、確認が必要な場合は、販売店にご相談ください。

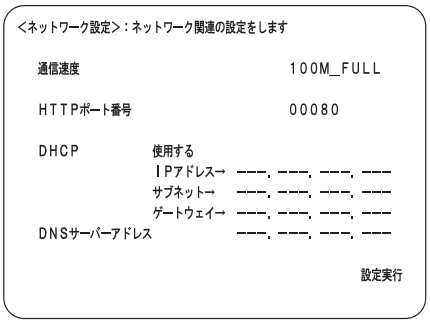
ネットワーク設定

通信速度、HTTPポート番号、DHCPなど、ネットワーク関連情報を設定します。ネットワーク設定画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［ネットワーク設定］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　ネットワーク画面の各項目を設定する

［△］［▽］ボタンで項目を切り換え、
［◁］［▷］ボタンで設定値を切り換えます。



設定項目	設定内容	
通信速度	ネットワークの通信速度を以下から選択します。 AUTO / 100M_FULL / 100M_HALF / 10M_FULL / 10M_HALF ［お買い上げ時の設定：AUTO］ 100M_FULL ：100Mbps（全二重） 100M_HALF ：100Mbps（半二重） 10M_FULL ：10Mbps（全二重） 10M_HALF ：10Mbps（半二重）	
HTTPポート番号	HTTPポート番号を以下から選択します。 00001～65535（well-knownポート以外） ［お買い上げ時の設定：00080］ ネットワーク管理者またはISPからの指定がない限り、お買い上げ時の設定のままお使いください。	
DHCP	DHCP機能を使用するかどうかを選択します。使用しない場合、以下のアドレスを設定する必要があります。 ［お買い上げ時の設定：使用しない］	
	IPアドレス	IPアドレスを設定します。 ［お買い上げ時の設定：192.168.0.10］
	サブネット	サブネットのアドレスを設定します。 ［お買い上げ時の設定：255.255.255.0］
	ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。 ［お買い上げ時の設定：192.168.0.1］
DNSサーバーアドレス	ブラウザーから設定された値を表示します。（設定できません。）	

2　設定が完了したら［設定実行］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面が表示されます。

各種情報の表示

システム情報、ログ情報、ディスク情報など、各種情報を表示します。また、アラーム履歴を一覧表示するアラームリストを消去することもできます。

システム情報

HDD総容量、運用ボタン押下回数、本機内部温度、ファームウェアバージョン、シリアル番号、MACアドレスなど、本機のシステム情報を表示します。システム情報画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［システム情報］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　詳細設定と各種情報画面の［システム情報］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

システム情報画面が表示されます。

<システム情報>

HDD総容量	xxxGB（シングル運用）
運用ボタン押下回数	HDD1　xxxxx回
	HDD2　xxxxx回
本機内部温度	現在温度　39．5℃
	最高温度　40．0℃
	（06/10/20　12:00）
ファームウェアバージョン	X．XX
シリアル番号	ABC00001
MACアドレス	01-23-24-AB-CD-EF

項目	表示内容	
HDD総容量	HDDの総容量およびディスクモードを表示します。	
運用ボタン押下回数	HDD1 / 2の運用ボタンを押した回数を表示します。	
本機内部温度	本機内部の温度を表示します。	
	現在温度	現在の本機内部温度を表示します。
	最高温度	本機内部温度の最高値および記録日時を表示します。
ファームウェアバージョン	ソフトウェアのバージョン情報を表示します。	
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。	
MACアドレス	本機のMACアドレスを表示します。	

2　［戻る］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面へ戻ります。

ディスク情報

HDD1およびHDD2のサイズ、プロテクトの有無、アワーメーター、録画データなど、本機のディスク情報を表示します。ディスク情報画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［ディスク情報］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　**詳細設定と各種情報画面の［ディスク情報］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す**

以下のディスク情報画面が表示されます。

<ディスク情報>

HDD1	サイズ	xxxGB（残容量 xxxGB）
	プロテクト	OFF
	アワーメーター	xxxx時間
	録画データ	07/01/01 00:00
		→07/12/01 23:59
HDD2	サイズ	xxxGB（残容量 xxxGB）
	プロテクト	OFF
	アワーメーター	xxxx時間
	録画データ	07/01/01 00:00
		→07/12/01 23:59

項目	表示内容	
HDD1	HDD1に関する以下の情報を表示します。	
	サイズ	HDD1のサイズおよび残容量を表示します。
	プロテクト	書き込み禁止プロテクトの有無を表示します。
	アワーメーター	HDD1の累積稼働時間を表示します。
	録画データ	HDD1内の録画データ先頭日時から録画データ最新日時を年月日時分で表示します。
HDD2	HDD2に関する以下の情報を表示します。	
	サイズ	HDD2のサイズおよび残容量を表示します。
	プロテクト	書き込み禁止プロテクトの有無を表示します。
	アワーメーター	HDD2の累積稼働時間を表示します。
	録画データ	HDD2内の録画データ先頭日時から録画データ最新日時を年月日時分で表示します。

2　**［戻る］ボタンを押す**

詳細設定と各種情報画面へ戻ります。

メモ

- ここで表示されるHDDの容量は、データを管理するために必要な容量を除いています。このため、HDD容量は少なく表示されます。

ログ情報

本機のログ情報（システムログ1、システムログ2）を表示します。ログ情報画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［ログ情報］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　詳細設定と各種情報画面の［ログ情報］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

ログ情報画面が表示されます。

システムログ1を見るときは、［システムログ1］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押します。（→55ページ）

システムログ2を見るときは、［システムログ2］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押します。（→56ページ）

2　［戻る］ボタンを押す

詳細設定と各種情報画面へ戻ります。

<ログ情報>
システムログ1
システムログ2

システムログ１を表示する

本機のシステムログ1情報を表示します。システムログ1は、録画を継続できなくなる可能性がある場合、ログ出力します。システムログ1画面から説明します。

設定画面の表示手順　　ログ情報画面（→54ページ）で［システムログ1］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　ログ情報画面の［システムログ1］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

システムログ1画面が表示されます。

<システムログ1>

NO	年月日	時分秒	要因	ライブ
009	07/10/10	10:55:15	電源オフ	

2　［戻る］ボタンを押す

ログ情報画面へ戻ります。

●システムログ1情報

表示コメント	意味
HDDn SMART警告	HDDnからSMARTコマンドによるエラーが検出されました。
温度異常	HDD内部の温度異常を検出しました。
HDDn 自動リンク外し	HDDnの接続が解除されました。
設定変更による再起動	本機に設定を反映させるため、本機を再起動しました。
FAN異常	FANに異常が発生しました。
HDD残容量なし	HDDの残容量がなくなりました。
電源オフ	電源が遮断されました。
残容量なしVMD録画失敗	VMDアラームが発生しましたが、HDDの残容量が無いため、録画できませんでした。
残容量なし端子録画失敗	端子アラームが発生しましたが、HDDの残容量が無いため、録画できませんでした。

システムログ2を表示する

本機のシステムログ2情報を表示します。システムログ2は、エラーなどの警告があった場合にログ出力します。
システムログ2画面から説明します。

設定画面の表示手順　　ログ情報画面（→54ページ）で［システムログ2］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　ログ情報画面の［システムログ2］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

システムログ2画面が表示されます。

<システムログ2>
NO　年月日　時分秒　要因　ライブ
020　07/10/10　18:59:21　カメラ3異常検知

2　［戻る］ボタンを押す

ログ情報画面へ戻ります。

●システムログ2情報

表示コメント	意味
カメラ異常検知	1秒未満のカメラ断線などが発生しました。
カメラ異常発生	接続カメラの異常またはケーブル断線を1秒以上検出しました。フレームスイッチャーを接続している場合の異常はカメラ1として表示されます。
［HDDn］フォーマット失敗	HDDnのフォーマットに失敗しました。
ディスクモード不一致	HDD1とHDD2に設定されている運用モードが一致しません。
HDDn書き込み失敗	HDDnの書き込みに失敗しました。
HDDn読み込み失敗	HDDnの読み込みに失敗しました。
HDDnアワーメーター	HDDnの累積稼働時間が18 000時間を越えました。
HDDn残容量ーnn%	HDDnの残容量が少なくなりました。
システム全体残容量ーnn%	システム全体の残容量が少なくなりました。
挿抜回数超過	HDDスロットの挿抜回数が規定回数を超えました。

アラームリスト全消去

アラーム履歴を蓄積したアラームリストをすべて消去します。詳細設定と各種情報画面から説明します。

設定画面の表示手順　［メニュー］ボタンを長押し ≫ 設定メニュー画面で［詳細設定と各種情報］選択 ≫ 詳細設定と各種情報画面で［アラームリスト全消去］選択 ≫ ［決定］ボタン

1　詳細設定と各種情報画面の［アラームリスト全消去］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

確認画面が表示されます。

<詳細設定と各種情報>
■基本設定
日時設定　タイマー録画設定　タイマー入/切（切）
マニュアル録画設定　アラーム録画設定
■オプション設定
外部入力録画設定　システム設定
アラーム動作設定　セキュリティ設定
画面表示設定　ネットワーク設定
モニター設定
■各種情報
システム情報　ログ情報
ディスク情報　アラームリスト全消去

▲▼：項目移動　◀▶：項目移動　決定：実行　戻る：前画面

2　すべてのアラームリストを削除するときは、［はい］にカーソルを合わせ［決定］ボタンを押す

すべてのアラームリストが削除され、詳細設定と各種情報画面へ戻ります。

［いいえ］にすると、アラームリストは削除されずに詳細設定と各種情報画面へ戻ります。

<確認>

アラームリストを全消去します
よろしいですか？

はい　いいえ

メモ

- アラームリストを全消去すると、アラームサーチによる再生もできなくなります。

HTML 操作編

ネットワークから最大９人まで同時に操作できます。

●カメラ画像の表示・録画・再生

本機単体で使用する場合と同等の操作ができます。

●画像の保存・送信

ウェブブラウザーに表示している画像をPCのハードディスクにJPEG形式で保存できます。FTPクライアントを設定すれば、指定したFTPサーバーに定期的に画像を送信できます。

●アラーム・障害通知機能

アラーム・障害が発生したとき、指定したメールアドレスにメールを送信して通知することができます。メールを送信する際、アラーム発生時の画層を添付して送信することもできます。

●ユーザー認証機能

利用者のレベルを３段階に分けて登録できます。

管理者（アクセスレベル１）：セットアップを含むすべての機能を使用できます。一人以上登録してください。

ライブ画像表示＆画像再生（アクセスレベル２）：カメラ画像表示、再生、検索ができます。録画、セットアップはできません。

ライブ画表示（アクセスレベル３）：カメラ画像の表示ができます。再生、録画、セットアップはできません。

●ホスト認証機能

登録されていないIPアドレスからは本機に接続できないように設定できます。

重要

- 使用する回線速度または回線状態によっては、画像が表示または更新されるまで時間がかかる場合があります。
- 再生優先順位（→97ページ）の設定内容により、ネットワークからの操作が解除されることがあります（BUSYが表示されます）。

メモ

- 保存または転送した画像を画像処理ソフトウェアで表示すると横長の画像が表示されることがあります。正常なサイズで確認したい場合は、高さが２倍になるよう画像解像度を変更してください。

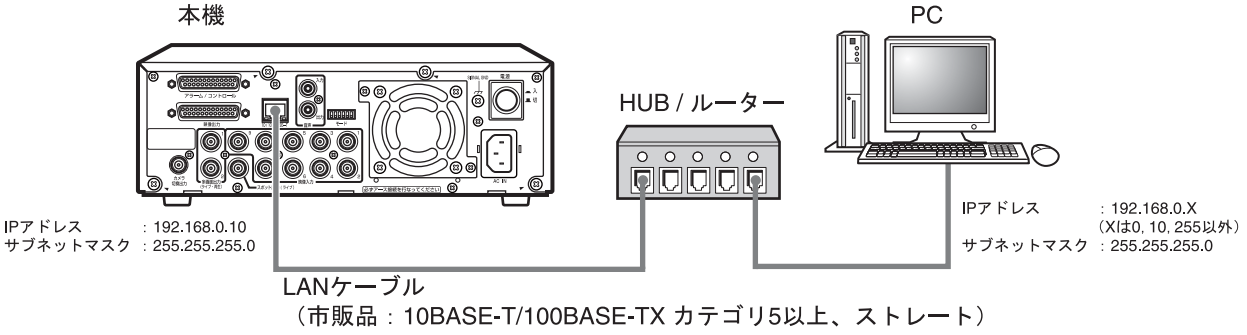
使用前の準備

PCの環境

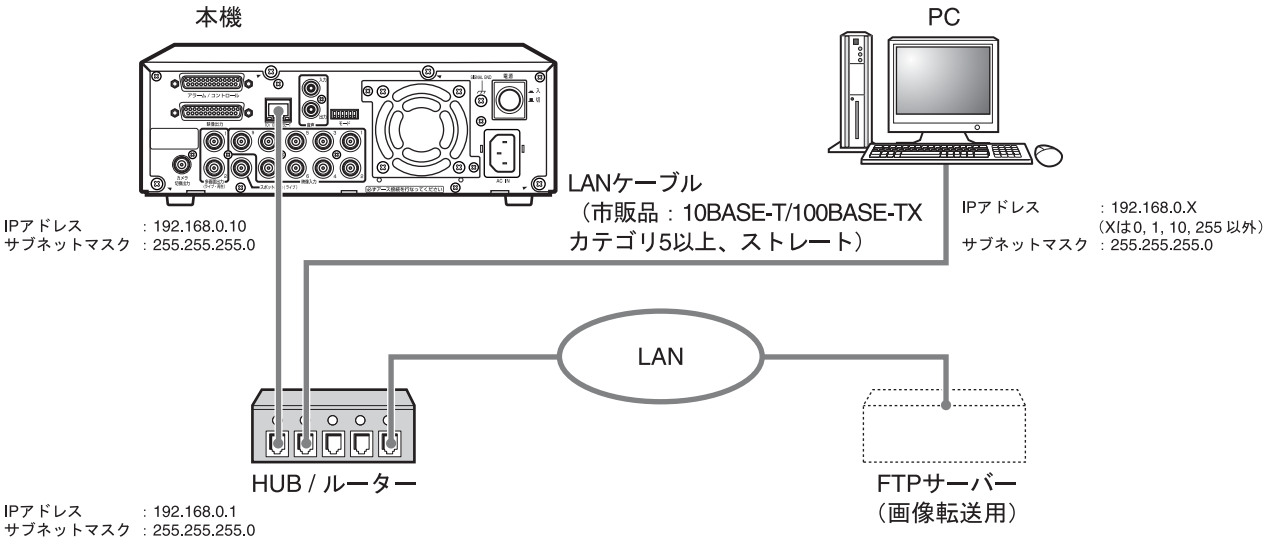
本機を操作するためのPC環境については「基本編　必要なPCの環境」を参照してください。

接続のしかた

本機を直接PCに接続する場合



既存のネットワークに本機を組み込む場合



ネットワーク環境の設定

PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不要です。接続完了後、ウェブブラウザーから本機の設定および操作ができます。

IPアドレス	：192.168.0.2～192.168.0.9、192.168.0.11～192.168.0.254
サブネットマスク	：255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	：192.168.0.1

※上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークを設定してください。

本機の設定

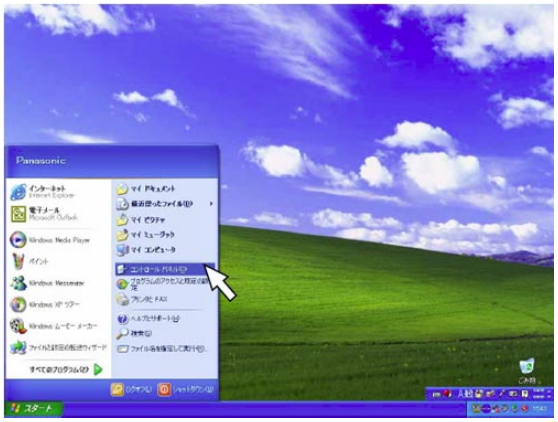
本機をPCのネットワーク環境に合わせる場合、ネットワーク設定画面で設定します。（→51ページ）

PCの設定

PCを本機の環境に合わせる場合の設定について説明します。次の操作手順はWindows XPが搭載されたPCに本機を直接つなげる場合を例に説明します。その他のOSをご使用の場合、ご使用になるOSの取扱説明書を参照してください。

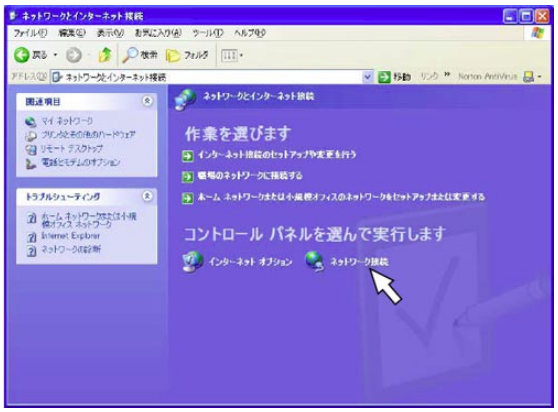
1. **PCを起動する**
   「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインします。

2. **スタート画面からコントロールパネルを選択する**

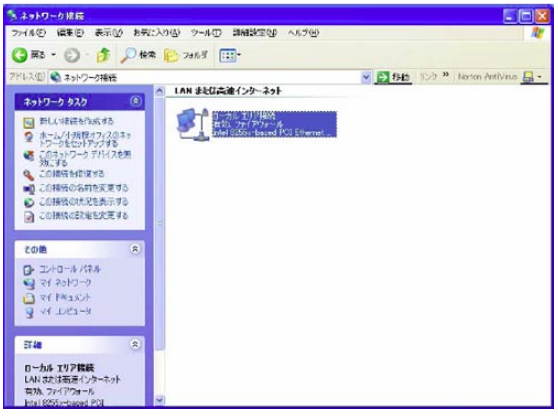


   コントロールパネルが表示されます。

3. **ネットワークとインターネット接続をクリックする**
   ネットワークとインターネット接続画面が表示されます。



4. **ネットワーク接続をクリックする**
   ネットワーク接続画面が表示されます。



5. ローカルエリア接続をダブルクリックする
ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。

6. ［プロパティ］ボタンをクリックする
ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

7. インターネットプロトコル（TCP/IP）をクリックし、[プロパティ]ボタンをクリックする
インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ画面が表示されます。

8. ［次のIPアドレスを使う］をクリックし、［IPアドレス］と［サブネットマスク］を以下のように入力する

・IPアドレス：192.168.0.9
・サブネットマスク：255.255.255.0

9. ［OK］ボタンをクリックして、画面を閉じる

10. ローカルエリア接続のプロパティ画面を表示し、接続を有効にする

11. 「HTML操作画面の表示方法」（→64ページ）を参照し、操作画面を表示する

12. 基本操作パネルから[設定メニュー]ボタンをクリックし、拡張設定タブをクリックして拡張設定メニューを表示する
必要に応じて拡張設定メニューの各項目を設定してください。
・ユーザー設定（→104ページ）
・ホスト設定（→106ページ）
・FTPクライアント設定（→107ページ）
・メール設定（→109ページ）
・ブラウザー表示設定（→111ページ）
これらの項目は、ウェブブラウザー上のみから設定できます。

重要

- 本機でセットアップ中（セットアップ画面表示中）、HTMLの設定メニューからは設定変更できません。
- 入力項目には、HTMLタグとして有効な文字列を入力しないでください。以降の正常な設定ができなくなる場合があります。万一、そのような場合には、設定内容を初期化してください。
- 本機にHDDを装着していない場合、HTML操作画面が表示できないことがあります。運用前に必ずHDDを装着してください。

メモ

- HTMLページを更新するたびに出る音が気になるときは、コントロールパネルから「サウンドとオーディオデバイス」を開き、以下のいずれかを設定してください。
  ・サウンドタブをクリックしプログラムイベントからエクスプローラーの「ナビゲーション開始」のサウンドを「(なし)」にする。
  ・音量タブをクリックし、デバイスの音量を最低（またはミュート）にする。

本機のネットワークセキュリティ

本機に装備されているセキュリティ機能

①ホスト認証・ユーザー認証によるアクセスの制限

ホスト認証・ユーザー認証の設定を「使用する」にすることで、本機にアクセスできるユーザーおよびホストを制限できます。

重要

- セキュリティ保護のため、“ADMIN”のパスワードは運用開始前に必ず変更してください。（→104ページ）
- 本機は、インターネットに接続しないでください。ネットワークに接続する場合は、インターネットに接続していないLANをご使用ください。

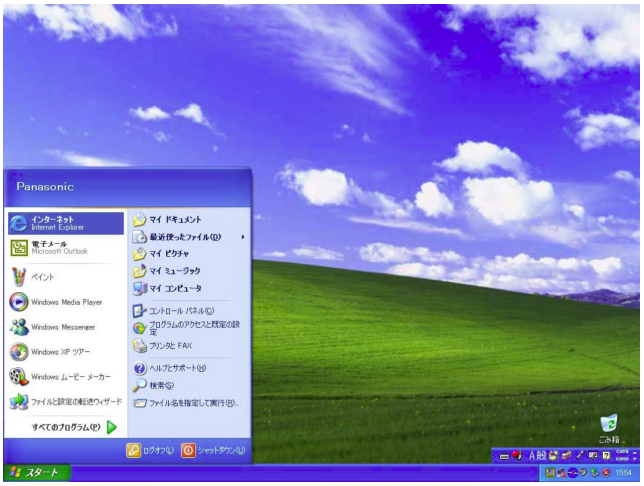
②使用しないサーバー機能の停止

FTPサーバー、SNMPサーバーを使用しない場合は、ネットワーク設定で「使用しない」に設定してください。不正アクセスを防止できます。（→102ページ）

画面の操作

HTML操作画面の表示方法

1. ウェブブラウザーを起動する



2. アドレス欄に本機のIPアドレス（192.168.0.10）を入力し、Enterキーを押す
ウェブブラウザーのホーム画面が表示されます。

重要

- 「このユーザーIDはすでに無効です。ブラウザーを再起動してください。」と表示されるときは、ネットワーク管理者に確認したIPアドレス（DDNS使用時はURL）以外の文字をすべて削除してください。

メモ

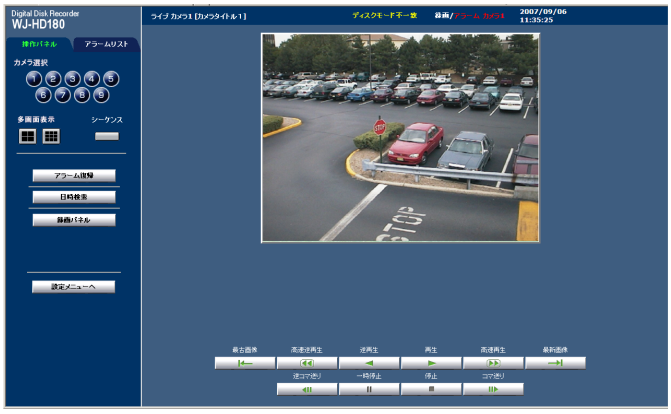
- お気に入りに追加することで簡単にトップページを表示することができます。（→103ページ）

3. ボタンをクリックして本機を操作する

メモ

- お使いのPCのOS環境によっては、操作ボタンの形状が画面と異なることがあります。

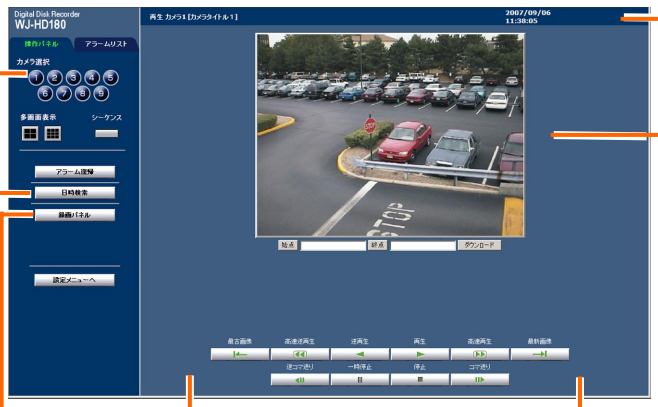
トップページ



HTML操作画面について

操作画面は、以下のように構成されています。ボタンをクリックして操作します。

1画面表示（起動時）



メニューエリア

操作パネルタブ（→67ページ）とアラームリストタブ（→68ページ）を切り換えます。設定メニューを表示します。

状態表示エリア

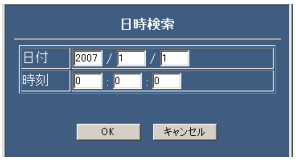
画像の配信時刻、動作状態、カメラの番号を表示します。

画像表示エリア

本機から配信された画像（カメラ画像または再生画像）を表示します。
画像内をクリックすると9画面表示になります。

日時検索画面

録画した画像を日時で検索します。



録画パネル

録画用ボタンを表示します。
約5秒で自動的に表示は消えます。

操作ボタンエリア

映像の再生を操作するためのレコーダー操作ボタン（→69ページ）です。

4画面表示

4画ボタンをクリックするたびに、4画A（1～4CH）、4画B（5～8CH）、4画C（9CH）の画面で表示します。

9画面表示

画像をクリックすると、クリックした画像を1画面で表示します。

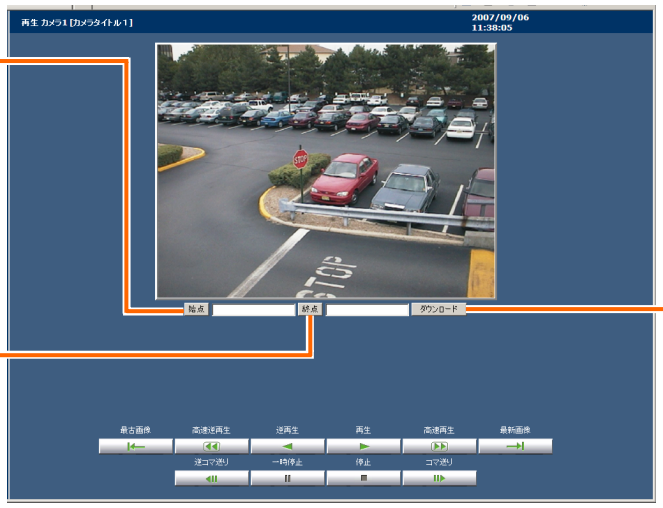
再生中画面（1画面表示のときだけ、始点・終点・ダウンロードボタンを選択できます。）

始点

クリックすると、現在表示している画像の日時を表示します。直接入力することもできます。

終点

ダウンロードしたい画像まで再生しクリックすると、表示されている画像の日時が表示されます。直接入力することもできます。一度にダウンロードできる録画データの時間は、最大30分です。



ダウンロード

クリックすると、始点から終点までの画像とビューワー（HTML）を実行ファイル形式でPCにダウンロードします。

画面詳細

操作パネルタブ

操作パネルでは、カメラ選択、多画面表示、シーケンスなどを操作できます。アラームの復帰、再生画像の日時検索、録画パネルの表示、設定メニューの表示など基本的な操作を選択できます。

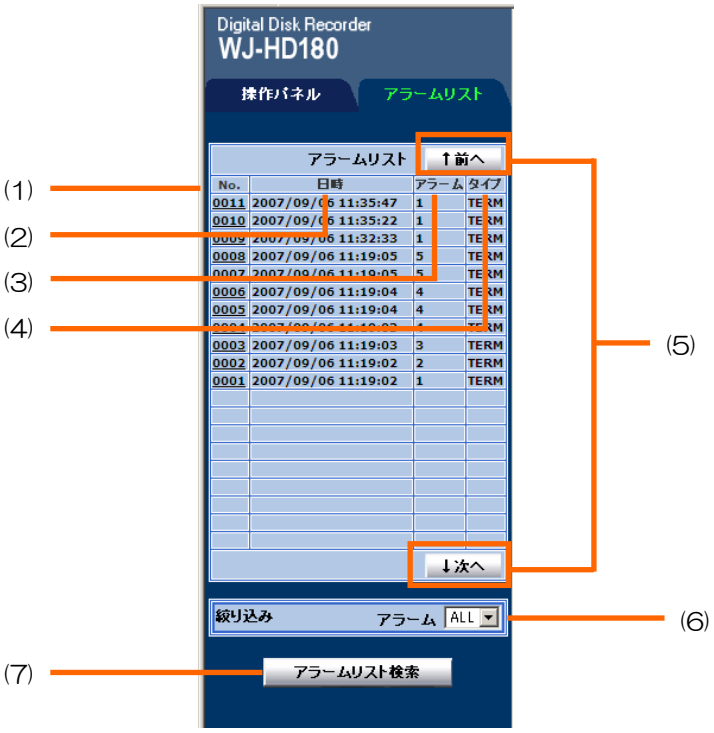
項番	項目	内容
(1)	操作パネルタブ	操作パネルを表示します。
(2)	アラームリストタブ	アラームリストを表示します。(→68ページ)
(3)	カメラ選択ボタン［1］～［9］	選択したカメラの画像を表示します。カメラが接続されていない番号を選択すると、ブルー画像が表示されます。
(4)	［多画面表示］ボタン	4 / 9台のカメラの画像を同時に表示します。カメラが接続されていない番号の画像はブルー画像が表示されます。
(5)	［シーケンス］ボタン	カメラを自動的に切り換えて表示します。 メモ ● ブラウザー表示設定ページのライブシーケンス設定で「シーケンスの使用」を「使用する」に設定する必要があります。(→111ページ) ● シーケンス中にクリックすると、シーケンス表示の切り換えを一時停止します。
(6)	［アラーム復帰］ボタン	アラーム動作を解除します。リモコンまたは本体前面パネルの［アラーム復帰］ボタンと同じ動作をします。(→操作編)
(7)	［日時検索］ボタン	日時検索画面を表示します。(→65ページ)
(8)	［録画パネル］ボタン	［録画］ボタンと［録画停止］ボタンを表示します。(→65ページ)
(9)	［設定メニューへ］ボタン	設定メニューの本体設定タブを表示します。(→72ページ)

メモ

- 日時検索中は、多画面モニターに表示される現在日時が更新されないことがあります。日時検索が終了すると現在日時が正常に表示されます。

アラームリストタブ

アラームの履歴を最新アラームから順番に一覧表示します。
特定のカメラ番号のアラームを絞り込みしたり、日時とカメラ番号を指定してアラーム映像を検索できます。
アラームの発生日時、CAM（カメラ番号）、タイプ（アラーム種別）を一覧表示します。

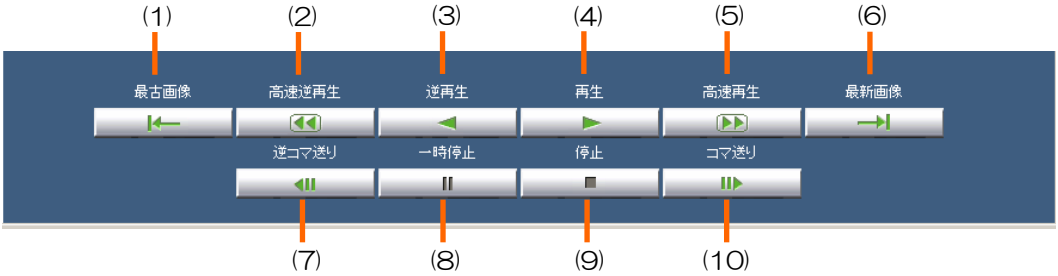


アラームリスト検索画面

項番	項目		内容
(1)	No.		アラーム番号を表示します。No.をクリックすると、該当するアラームの録画画像を再生します。
(2)	日時		アラームの発生日時を表示します。
(3)	アラーム		アラームが発生したカメラ番号または本体後面のアラーム端子番号を表示します。
(4)	タイプ		アラーム種別を表示します。
		TERM	アラームコントロール端子にアラームが入力されると、表示します。
		VMD	動き自動検出機能（VMD）を検出すると表示します。
(5)	［↑前へ］ / ［↓次へ］ボタン		表示しているアラームリストの前後のページを表示します。
(6)	絞り込み		アラーム録画画像をカメラ番号または本体後面のアラーム端子番号で絞り込みます。ALLを選択するとすべてのアラームリストを一覧表示します。
(7)	［アラームリスト検索］ボタン		アラームリストの日時検索画面を表示します。日時を入力し、［OK］ボタンをクリックすると、一番近い日時のページが表示されます。カメラ番号を指定すると指定したカメラ番号のリストのみ表示されます。

レコーダー操作ボタン

録画した画像を画像表示エリアで再生するためのボタンです。再生・高速再生・停止・早送り・コマ送りなど、再生操作に便利なボタンが用意されています。



項番	項目	内容
(1)	最古画像	録画した画像の最古の画像を表示し、一時停止します。再生中に操作できます。
(2)	高速逆再生	高速で逆再生します。クリックするたびに再生速度の切り換えができます。再生速度は状態表示エリアで確認できます。再生中に操作できます。
(3)	逆再生	逆再生します。再生中に操作できます。
(4)	再生	再生します。高速再生中、高速逆再生中にクリックすると、通常の再生速度で再生します。
(5)	高速再生	高速で再生します。クリックするたびに再生速度の切り換えができます。再生速度は状態表示エリアで確認できます。再生中に操作できます。
(6)	最新画像	録画した画像の最新の画像を表示し、一時停止します。再生中に操作できます。
(7)	逆コマ送り	1コマ前の画像を表示し、一時停止します。一時停止中に操作できます。
(8)	一時停止	再生を一時停止します。一時停止中に再びクリックすると再生を開始します。
(9)	停止	再生を停止します。
(10)	コマ送り	1コマ先の画像を表示し、一時停止します。一時停止中に操作できます。

状態表示エリア

画像表示エリアの上にカメラの状態、カメラ番号、再生倍率、エラーメッセージ、録画/アラーム発生状態、日時などを表示します。

（1/2）

項番	項目		内容
(1)	リモート操作状態/映像入力		画像を表示しているカメラが接続されている映像入力の番号（カメラn。「n」は映像入力番号を表わしています）と動作状態を表示します。動作状態には以下の情報が表示されます。
		ライブ	選択したカメラの画像を表示しています。
		再生	再生中です。
		逆再生	逆再生中です。
		≪Xn ≫Xn	高速再生または高速逆再生中の速度倍率を表示します。 「n」は5、10、15、30、50、100、200の倍率を表示します。
		一時停止	一時停止中です。
		ライブシーケンス	カメラ画像シーケンス中
		ライブシーケンス- 一時停止	カメラ画像シーケンス一時停止中
		本体再生中	再生優先順位が本機側操作に設定されているため、本機側で再生中は、ウェブブラウザーで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

項番	項目		内容
(1)		他ユーザー再生中または HTTPダウンロード中	他のPCで再生中または画像をダウンロードしています。他のPCで再生中または画像をダウンロード中は、ウェブブラウザーで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。
		HTTPダウンロード中	ウェブブラウザーから録画画像をダウンロード中です。
		HTTPダウンロード失敗	ウェブブラウザーから録画画像ダウンロード中にエラーが発生しました。停止ボタンをクリックした後で再度カメラを選択するか、または再生操作してください。
		FTPダウンロード中	FTPから録画画像をダウンロード中です。
(2)	カメラタイトル		画像表示エリアに表示しているカメラタイトルを表示します。アラーム画像を再生中のときは、タイトルの後ろに「AL」が表示されます。
(3)	異常表示		異常が発生している場合、以下のメッセージを表示します。 n：HDDの番号（1または2）
		HDD 残容量なし	HDDの残容量がありません。
		温度異常	本機の内部温度が異常です。
		FAN異常	本機のFAN動作が異常です。
		HDDn 規定挿抜回数超過	本機のHDDn挿抜の規定回数を超過しています。
		ディスクモード不一致	本機とHDDのディスクモードが違います。
		HDDn 自動リンク外し	HDDnの異常を検出した、またはHDDnが［運用］ボタンを押さずに引き抜かれたため、該当するHDDを自動で切り離しました。
		HDDn 残容量ー**%	HDDnの残容量が設定した値を下回りました。
		システム全体残容量ー**%	システム全体の残容量が設定した値を下回りました。
(4)	録画状態/アラーム発生状態		カメラの状態を表示します。
		録画	録画中です。
		アラーム カメラn	アラーム発生中です。「n」はアラーム発生チャンネル番号を表しています。
		カメラ異常 カメラn	カメラ異常が発生しました。「n」はアラーム発生チャンネル番号を表しています。
(5)	日時		カメラ画像を表示しているときは、現在日時を表示します。再生中は、録画日時を表示します。

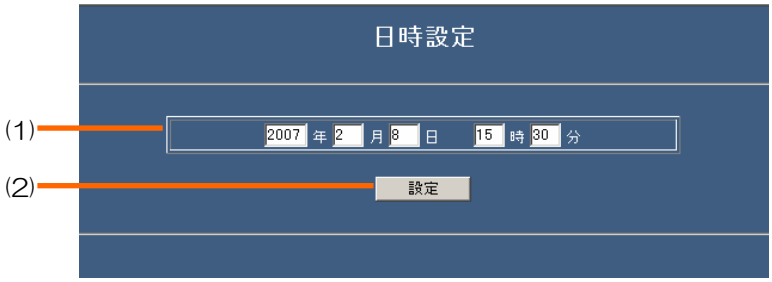
基本設定メニュー

基本設定メニューは、操作パネルから［設定メニューへ］ボタンをクリックして表示します。本機のセットアップメニューと同じ項目をHTML上で設定できます。基本設定メニューの各ボタンをクリックすると、メニューエリアの右側に設定ページが表示されます。

項番	項目	内容
(1)	［日時設定］ボタン	日時設定ページを開きます。（→73ページ）
(2)	［マニュアル録画設定］ボタン	マニュアル録画設定ページを開きます。（→74ページ）
(3)	［タイマー録画設定］ボタン	タイマー録画設定ページを開きます。（→76ページ）
(4)	［アラーム録画設定］ボタン	アラーム録画設定ページを開きます。（→81ページ）

日時設定ページ

現在の日時を設定します。



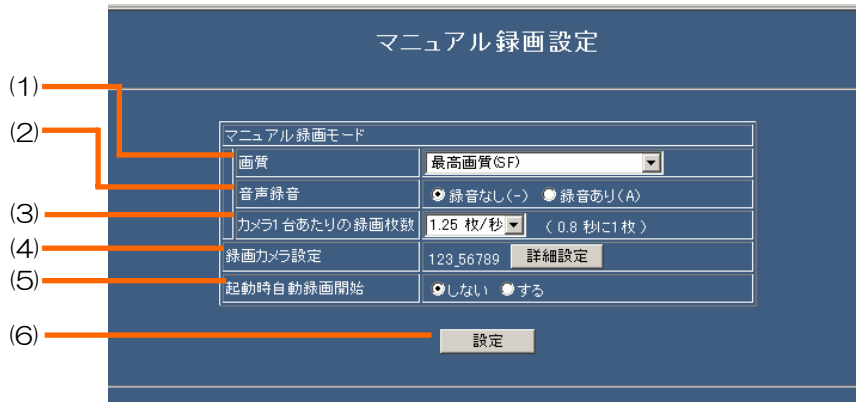
項番	項目	内容
(1)	日時	現在の年月日時分を入力します。
(2)	［設定］ボタン	入力した日時は、［設定］ボタンをクリックし、確認ダイアログで［OK］をクリックすると、設定されます。設定した内容を登録します。

メモ

- 本機の設定メニューを表示している間は、ブラウザーから日時変更はできません。

マニュアル録画設定ページ

マニュアル録画の録画条件を設定します。録画モード、録画枚数、録画カメラ、起動時自動録画開始などマニュアル録画の条件を設定します。

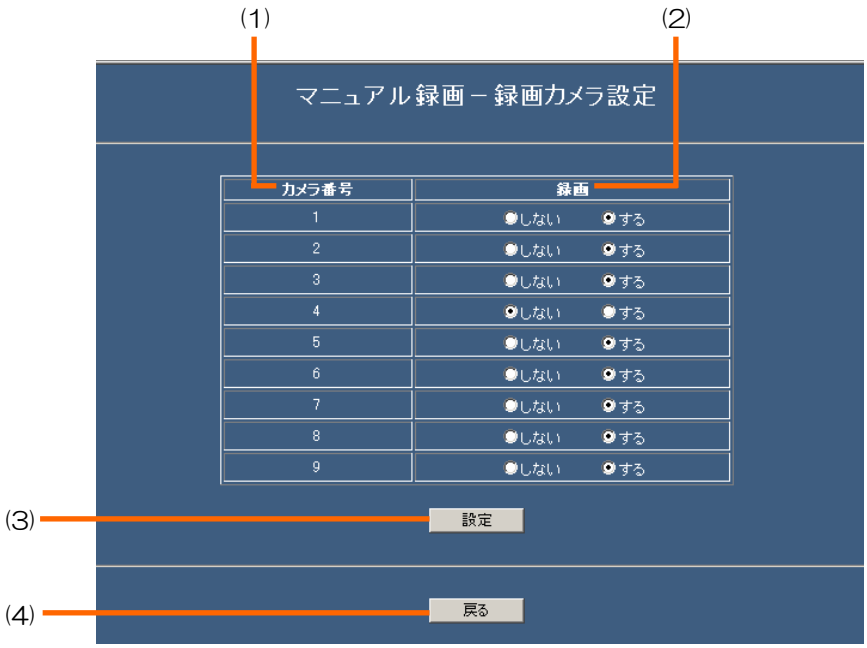


項番	項目		内容
(1)	画質		録画の画質を以下から選択します。 最高画質（SF）/ 高画質（FQ）* / 標準画質（NQ）/ 低画質（EX）
(2)	音声録音		音声録音をするかどうかを設定します。
		録音なし（ー）*	音声を録音しません。
		録音あり（A）	音声を録音します。
(3)	カメラ1台あたりの録画枚数		カメラ台数によって選択肢が変わります。 録画カメラがないときは、--（ -- 秒に1枚 ）と表示され変更できません。
(4)	録画カメラ設定		録画するカメラの詳細を設定します。
		［詳細設定］ボタン	録画カメラ設定ページを開きます。（→75ページ）
(5)	起動時自動録画開始		本機の起動時に自動録画を開始するかどうかを設定します。
		しない*	起動時に自動でマニュアル録画を開始しません。
		する	起動時に自動でマニュアル録画を開始します。
(6)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。

＊：お買い上げ時の設定

録画カメラ設定ページ

マニュアル録画のときに録画するカメラを設定します。

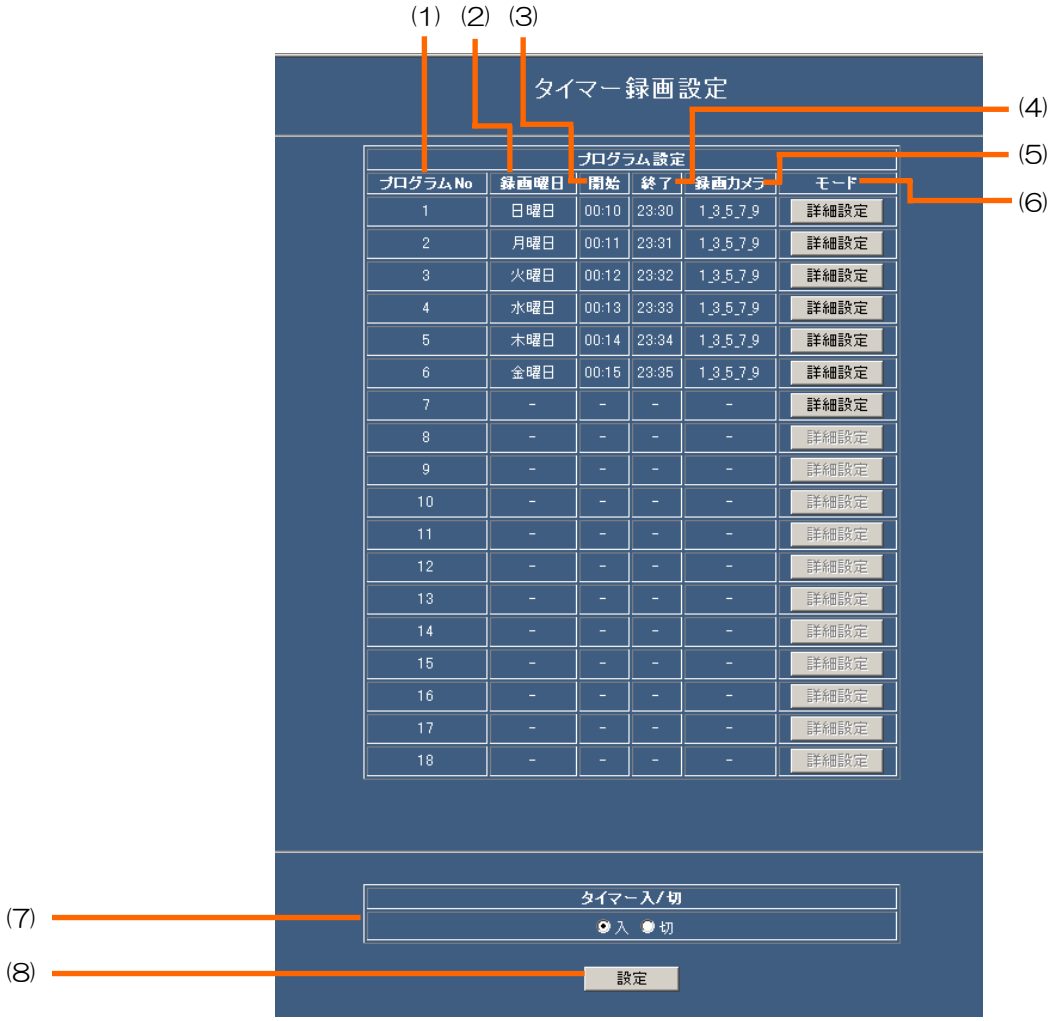


項番	項目		内容
(1)	カメラ番号		カメラ番号を表示します。
(2)	録画		マニュアル録画するかどうかを設定します。
		しない	マニュアル録画しません。
		する*	マニュアル録画します。
(3)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン		マニュアル録画設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

タイマー録画設定ページ

タイマー録画を定義するプログラムを個別に設定します。一週間を基準にタイマー設定します。設定した日時が重なると、［録画曜日］が「特定の曜日」、「月～金」、「月～土」、「毎日」の優先順でタイマー録画します。



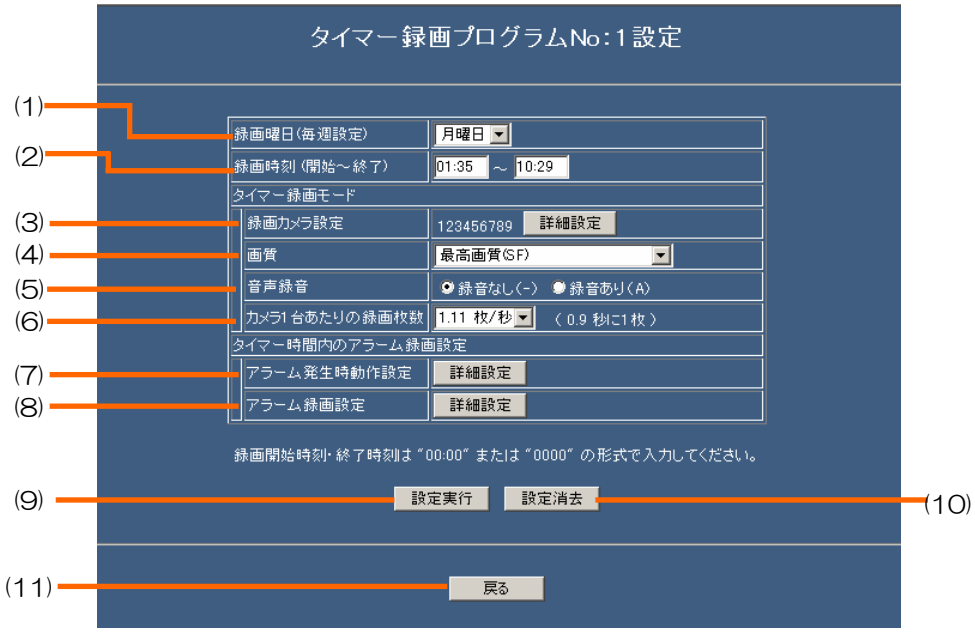
（1/2）

項番	項目		内容
(1)	プログラムNo		タイマープログラムのプログラム番号を表示します。
(2)	録画曜日		設定されたタイマー録画する曜日を表示します。 曜日が赤く表示されているプログラムは他と時間帯が重なっています。
(3)	開始		設定されたタイマー録画の開始時間を表示します。
(4)	終了		設定されたタイマー録画の終了時間を表示します。
(5)	録画カメラ		設定されたタイマー録画するカメラ番号を表示します。
(6)	モード		タイマー録画するカメラの録画モードを設定します。
		［詳細設定］ボタン	タイマー録画プログラム設定ページを表示します。（→78ページ）

項番	項目		内容
(7)	タイマー入/切		タイマー録画のプログラム待機状態を解除／設定するとき、またはタイマー録画を止めるときに設定します。
		タイマー入/切（入）	プログラム待機状態またはタイマー録画実行中。 タイマーランプが点灯または点滅します。
		タイマー入/切（切）	プログラム待機状態解除中。 タイマー録画中に「切」にすると録画を停止します。 タイマーランプが消灯します。
(8)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。

タイマー録画プログラム設定ページ

録画曜日、開始/終了時間、録画モード、録画カメラ、アラーム動作、アラーム録画などタイマー録画の条件を設定します。



（1/2）

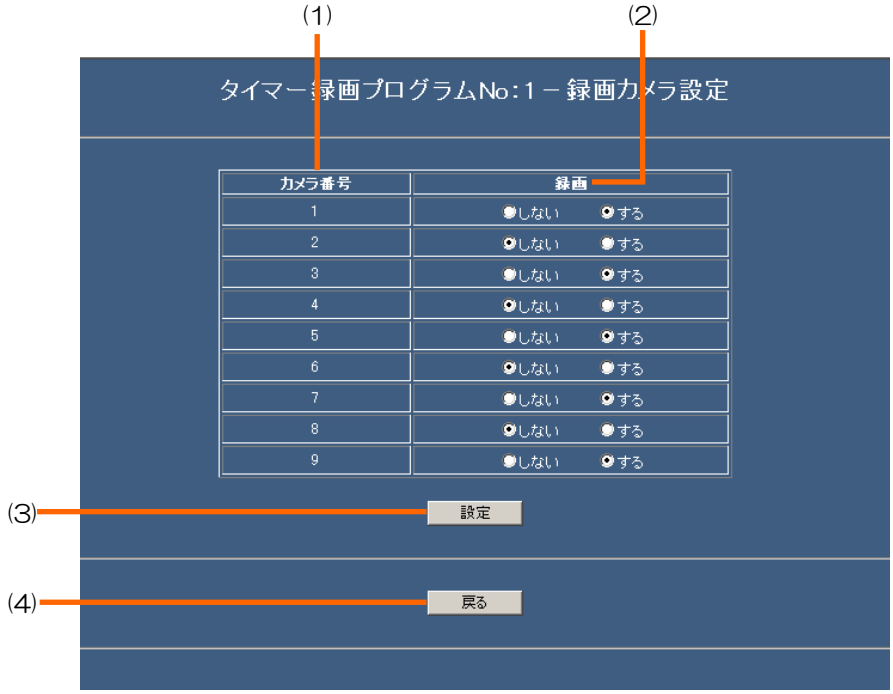
項番	項目	内容
(1)	録画曜日（毎週設定）	タイマー録画する曜日を以下から選択します。 毎日 / 月～土 / 月～金 / 月曜日 / 火曜日 / 水曜日 / 木曜日 / 金曜日 / 土曜日 / 日曜日
(2)	録画時刻（開始～終了）	タイマー録画をする時間を設定します。
	開始	タイマー録画の開始時間を24時間形式で入力します。
	終了	タイマー録画の終了時間を24時間形式で入力します。
(3)	録画カメラ設定	タイマー録画のときに録画するカメラを設定します。
	［詳細設定］ボタン	タイマー録画プログラム録画カメラ設定ページを表示します。（→79ページ）
(4)	画質	録画の画質を以下から選択します。 最高画質（SF）/ 高画質（FQ）* / 標準画質（NQ）/ 低画質（EX）
(5)	音声録音	音声録音をするかどうかを設定します。
	録音なし（－）*	音声を録音しません。
	録音あり（A）	音声を録音します。
(6)	カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ台数によって選択肢が変わります。 録画カメラがないときは、-- （ -- 秒に1枚 ）と表示され変更できません。
(7)	アラーム発生時動作設定	アラームが発生したときの録画動作を設定します。
	［詳細設定］ボタン	タイマー録画プログラムアラーム発生時動作設定ページを表示します。（→80ページ）
(8)	アラーム録画設定	アラームが発生したときに録画する場合、録画モード、録画レート、アラーム録画カメラ、プレアラーム録画時間、ポストアラーム録画時間などのアラーム録画の条件を設定します。
	［詳細設定］ボタン	タイマー録画プログラムアラーム録画設定ページを表示します。（→80ページ）
(9)	［設定実行］ボタン	設定した内容を登録します。

項番	項目	内容
(10)	［設定消去］ボタン	選択されたプログラムを消去します。
(11)	［戻る］ボタン	タイマー録画設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

タイマー録画プログラム録画カメラ設定ページ

タイマー録画のときに録画するカメラを設定します。

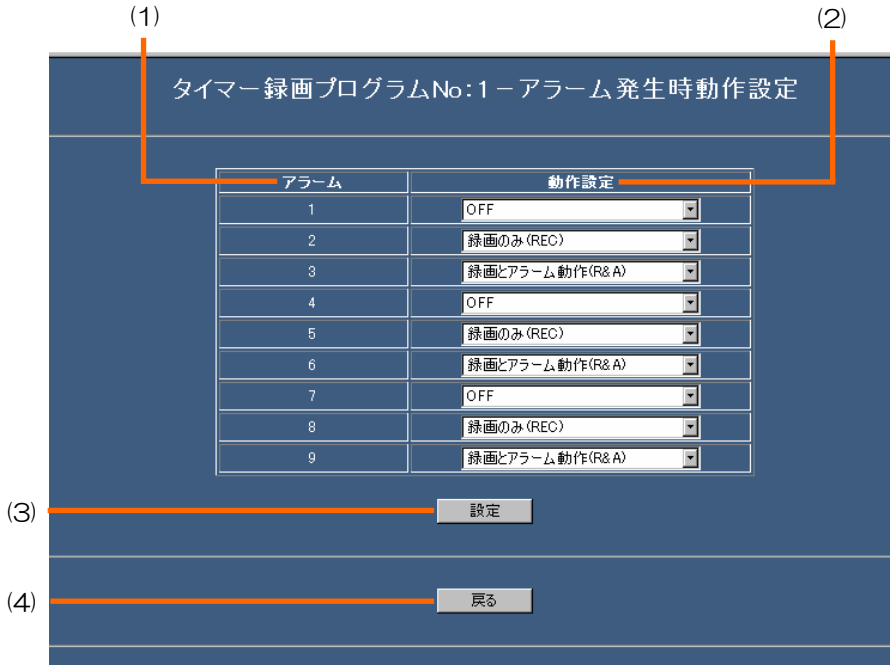


項番	項目		内容
(1)	カメラ番号		カメラ番号を表示します。
(2)	録画		タイマー録画するかどうかを設定します。
		しない	タイマー録画しません。
		する＊	タイマー録画します。
(3)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン		タイマー録画プログラム設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

タイマー録画プログラムアラーム発生時動作設定

タイマー録画プログラム時間内にアラームが発生したときの録画動作を設定します。



項番	項目	内容
(1)	アラーム	カメラ番号またはアラームが発生した後面アラーム端子番号を表示します。
(2)	動作設定	アラーム発生時の動作を以下から選択します。 OFF / 録画とアラーム動作（R&A）＊ / 録画のみ（REC）
(3)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン	タイマー録画プログラム設定ページに戻ります。

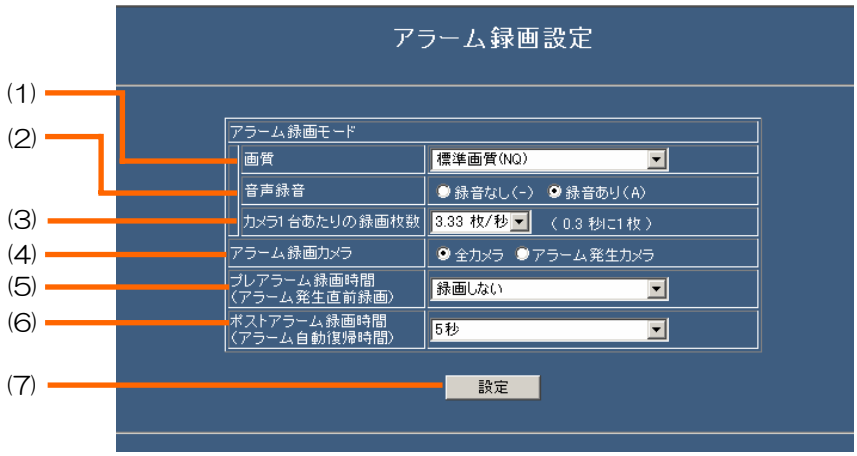
＊：お買い上げ時の設定

タイマー録画プログラムアラーム録画設定

タイマー録画プログラム時間内にアラームが発生したときに録画する場合の録画モード、アラーム録画カメラ、プレアラーム録画時間、ポストアラーム録画時間などのアラーム録画の条件を設定します。設定内容はタイマー時間外のアラーム録画設定と同じですので、詳しくは81ページを参照してください。

アラーム録画設定ページ

タイマー録画時間外にアラームが発生したときに録画する場合、録画モード、アラーム録画カメラ、プレアラーム録画時間、ポストアラーム録画時間などのアラーム録画の条件を設定します。



項番	項目	内容
(1)	画質	アラーム発生時に録画する画質を以下から選択します。 最高画質（SF）/ 高画質（FQ）* / 標準画質（NQ）/ 低画質（EX）
(2)	音声録音	アラームが発生したときに音声録音をするかどうかを設定します。
	録音なし（－）*	音声を録音しません。
	録音あり（A）	音声を録音します。
(3)	カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ台数によって選択肢が変わります。 録画カメラがないときは、--（ -- 秒に1枚 ）と表示され変更できません。
(4)	アラーム録画カメラ	アラーム発生時に録画するカメラを設定します。
	全カメラ*	すべてのカメラの画像を録画します。
	アラーム発生カメラ	アラームが発生したカメラの画像を録画します。
(5)	プレアラーム録画時間 （アラーム発生直前録画）	アラームが発生したときにさかのぼり録画する時間を以下から選択します。 録画しない* / 1～ 5秒
(6)	ポストアラーム録画時間 （アラーム自動復帰時間）	アラームが発生したときに録画を開始して、録画を停止するまでの時間を以下から選択します。 5秒 / 10秒* / 20秒 / 30秒 / 1分 / 1.5分 / 2分 / 3分 / 6分 / センサー連動 / アラーム復帰連動 センサー連動：アラーム信号が入力されている間、録画します。 （最低10秒間録画します。） アラーム復帰連動：アラーム復帰ボタンを押すまで、録画します。
(7)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。

＊：お買い上げ時の設定

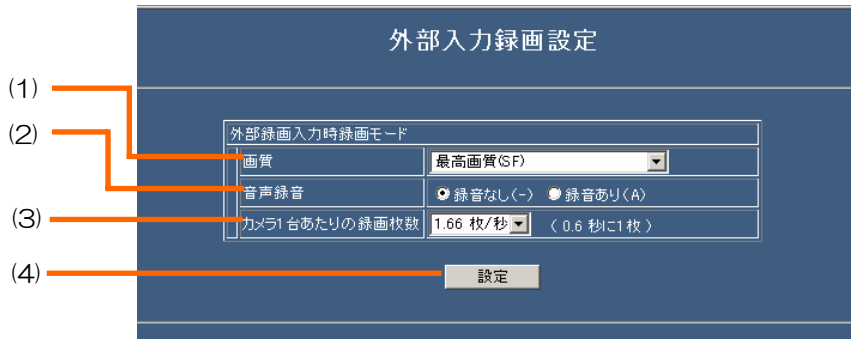
オプション設定メニュー

オプション設定メニューは、操作パネルから［設定メニューへ］ボタンをクリックして表示します。本機のセットアップメニューと同じ項目をHTML上で設定できます。オプション設定メニューの各ボタンをクリックすると、メニューエリアの右側に設定ページが表示されます。

項番	項目	内容
(1)	［外部入力録画設定］ボタン	外部入力録画設定ページを開きます。（→83ページ）
(2)	［アラーム動作設定］ボタン	アラーム動作設定ページを開きます。（→84ページ）
(3)	［画面表示設定］ボタン	画面表示設定ページを開きます。（→88ページ）
(4)	［モニター設定］ボタン	モニター設定ページを開きます。（→91ページ）
(5)	［システム設定］ボタン	システム設定ページを開きます。（→96ページ）
(6)	［セキュリティ設定］ボタン	セキュリティ設定ページを開きます。（→98ページ）
(7)	［ネットワーク設定］ボタン	ネットワーク設定ページを開きます。（→100ページ）

外部入力録画設定ページ

外部入力録画とは、マニュアル録画またはタイマー録画中に背面端子からの外部録画入力信号を入力したときに、録画モードを切り換えて録画することをいいます。ここでは外部入力録画の録画モードと録画枚数を設定する方法を説明します。



項番	項目	内容
(1)	画質	外部入力録画時の録画の画質を以下から選択します。 最高画質（SF）/ 高画質（FQ）* / 標準画質（NQ）/ 低画質（EX）
(2)	音声録音	外部入力録画時の音声を録音するかどうかを設定します。
	録音なし（－）*	音声を録音しません。
	録音あり（A）	音声を録音します。
(3)	カメラ1台あたりの録画枚数	カメラ台数によって選択肢が変わります。 録画カメラがないときは、--（ -- 秒に1枚 ）と表示され変更できません。
(4)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。

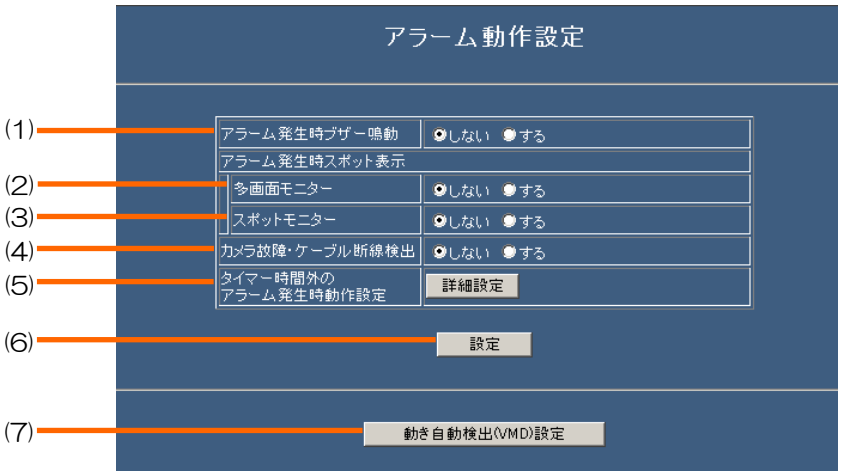
＊：お買い上げ時の設定

メモ

- 表示されるカメラ1台あたりの録画枚数の選択肢は、マニュアル録画設定（→74ページ）およびタイマー録画設定（→76ページ）で設定されている録画カメラの最大数によって異なります。
  外部入力時に録画される実際の録画枚数とは異なる場合があります。

アラーム動作設定ページ

アラームブザー、スポット表示、カメラ故障・ケーブル断線検出、アラーム録画するカメラ番号など、アラーム発生時の動作を設定します。

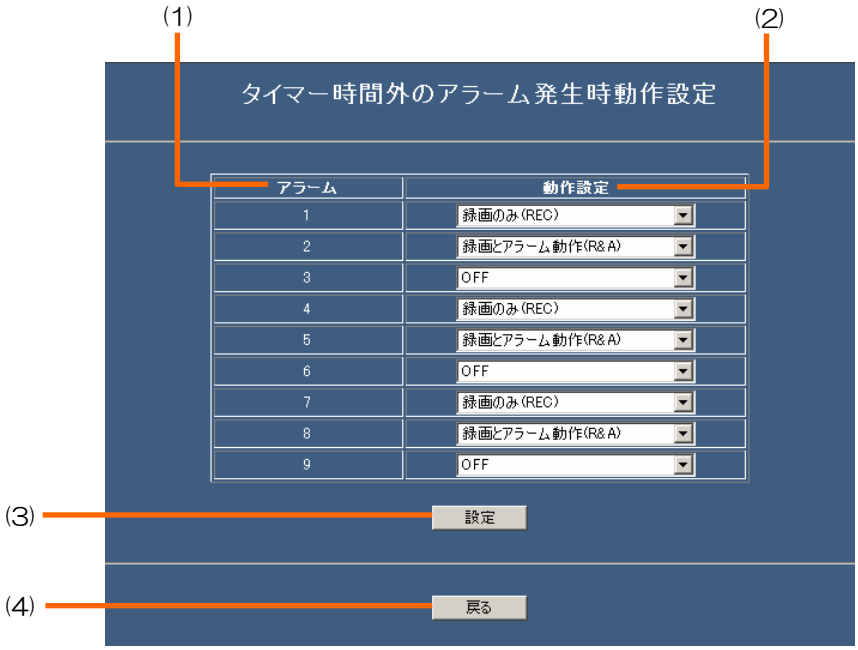


項番	項目	内容
(1)	アラーム発生時ブザー鳴動	アラーム発生時にブザーを鳴らすかどうかを設定します。
	しない	ブザーを鳴らしません。
	する*	ブザーを鳴らします。
(2)	多画面モニター	多画面モニターのアラーム発生時のスポット表示を設定します。
	しない	アラームが発生しても、現在表示しているカメラの画像を表示し続けます。
	する*	アラームが発生したカメラの画像を1画面で表示します。
(3)	スポットモニター	スポットモニターのアラーム発生時のスポット表示を設定します。
	しない	アラームが発生しても、現在表示しているカメラの画像を表示し続けます。
	する*	アラームが発生したカメラの画像を1画面で表示します。
(4)	カメラ故障・ケーブル断線検出	カメラ故障またはケーブル断線などにより、カメラからの映像が途切れたことを検出するかどうかを設定します。
	しない	映像が途切れたことを検出しません。
	する*	映像が途切れたときアラーム動作をします。
(5)	アラーム発生時動作設定	アラーム発生時のカメラ動作を設定します。
	［詳細設定］ボタン	アラーム発生時動作設定ページを表示します。（→85ページ）
(6)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。
(7)	［動き自動検出（VMD）設定］ボタン	動き自動検出（VMD）設定ページを表示します。（→86ページ）

＊：お買い上げ時の設定

アラーム発生時動作設定ページ

アラームが発生したときのアラーム動作、および録画するかしないかをカメラごとに設定します。

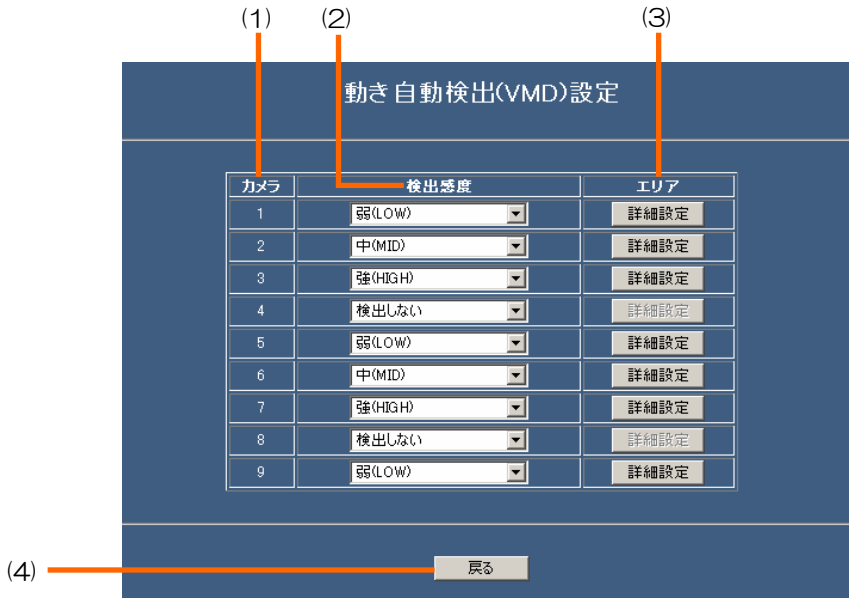


項番	項目	内容
(1)	アラーム	カメラ番号またはアラームが発生した後面アラーム端子番号を表示します。
(2)	動作設定	録画モードを以下から選択します。 OFF / 録画とアラーム動作（R&A）＊ / 録画のみ（REC）
(3)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン	アラーム動作設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

動き自動検出（VMD）設定ページ

動き検出の感度と領域をカメラごとに設定します。

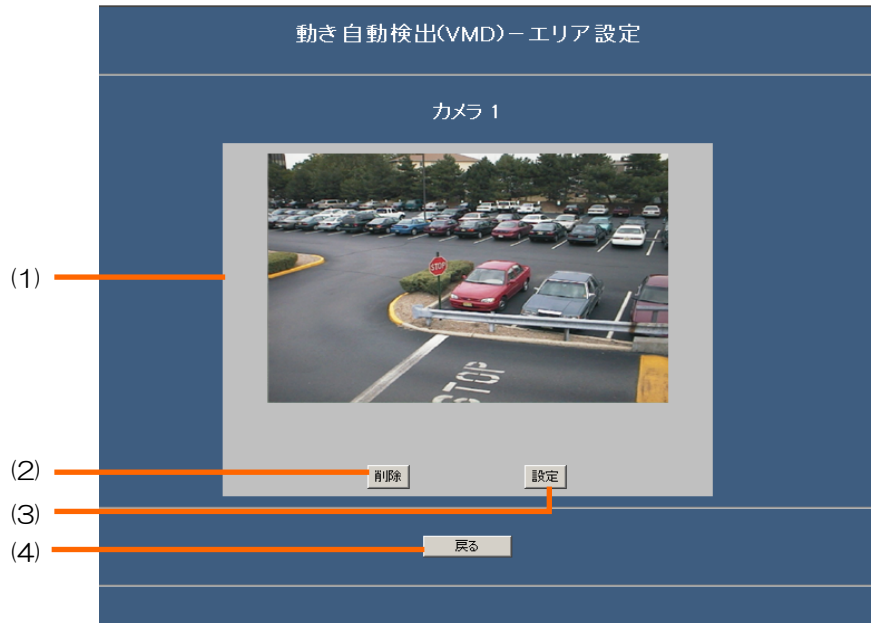


項番	項目	内容
(1)	カメラ	カメラ番号を表示します。
(2)	検出感度	動き検出の感度を以下から選択します。 検出しない* / 弱（LOW） / 中（MID） / 強（HIGH）
(3)	エリア	動き自動検出（VMD）エリアを設定します。
	［詳細設定］ボタン	動き自動検出（VMD）エリア設定ページを表示します。（→87ページ）
(4)	［戻る］ボタン	アラーム動作設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

動き自動検出（VMD）エリア設定ページ

動き検出エリアを設定します。エリアの設定は、始点から終点までの対角線上をドラッグします。



項番	項目	内容
(1)	設定エリア	始点から終点までの対角線上をドラッグし、動き自動検出（VMD）エリアを設定します。合計4か所まで設定できます。
(2)	［削除］ボタン	選択したエリアを削除します。削除するエリアをクリックして選択してから［削除］ボタンを押してください。
(3)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン	動き検出設定ページに戻ります。

メモ

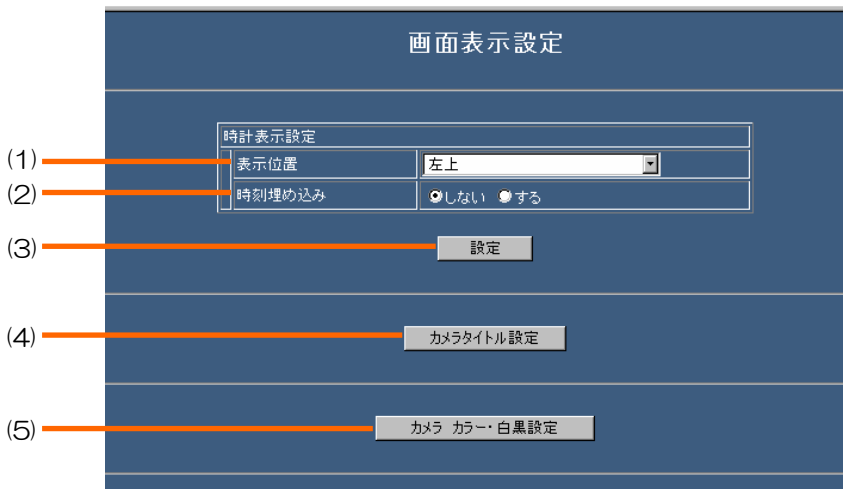
- 動き自動検出（VMD）エリア設定ページで設定したVMDエリアは目安です。実際に使用する場合は、多画面モニターの設定メニュー（→33ページ）で設定してください。
- 本機の動き検出機能は、輝度の変化によって動きを検出しています。このため、設定したエリア内で動きがあっても、輝度の変化が少ない場合、動きを検出できないことがあります。
- コンビネーションカメラなどの回転台付カメラを接続したチャンネルに対しては、動き検出機能の［検出感度］を「検出しない」にしてください。それ以外にするとカメラが旋回するたびにアラーム録画されます。
- ［時刻埋め込み］を「する」に設定している場合、時刻表示エリア付近は輝度の変化を検知しません。時刻表示エリア付近の領域を設定する場合は、画面表示設定ページの［時刻埋め込み］を「しない」に設定してください。

重要

- 設定できない場合、以下のサイトからJavaソフトウェアをダウンロードしてください。(2007年8月現在)
  http://java.com/ja/index.jsp
- ネットワーク環境により、VMDエリア設定画面を表示する際に認証画面が表示されることがあります。その場合は、本機に設定したユーザー名、パスワード（→104ページ）を入力してください。

画面表示設定ページ

画像表示エリアに表示する時計の表示位置、および時計表示を録画画像として埋め込むかどうかを設定します。

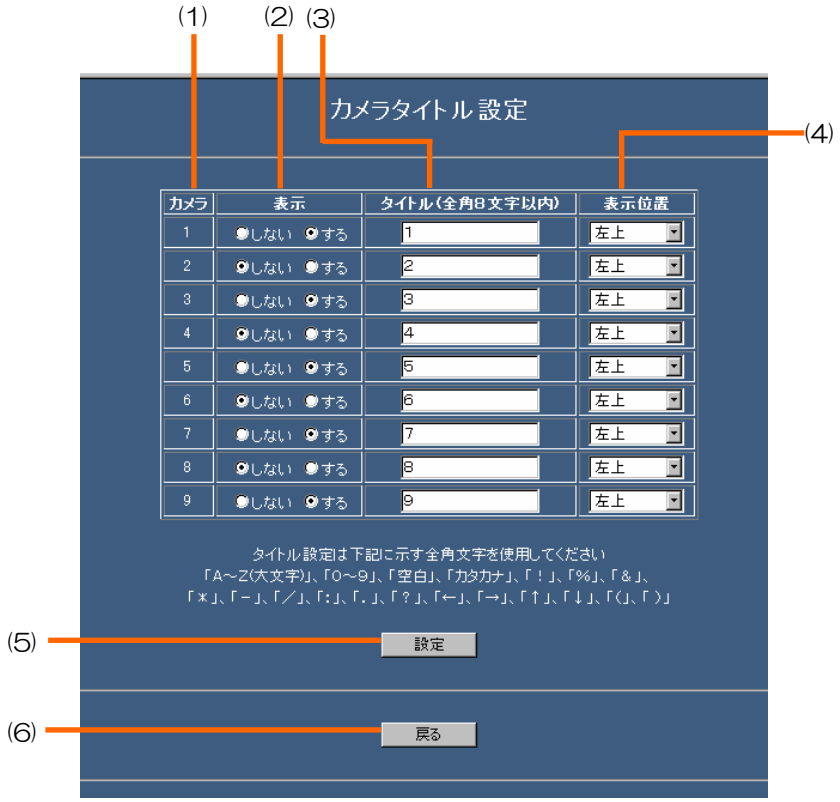


項番	項目		内容
(1)	表示位置		時刻表示位置を以下から選択します。 左上 / 右上 / 左下 / 右下*
(2)	時刻埋め込み		時計表示も合わせて録画するかどうかを設定します。
		しない*	録画画像へ時計表示を埋め込みません。
		する	録画画像へ時計表示を埋め込みます。
(3)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。
(4)	［カメラタイトル設定］ボタン		カメラタイトル設定ページを表示します。（→89ページ）
(5)	カメラ カラー・白黒設定		カラーカメラか白黒カメラかをカメラに合わせて設定します。（→90ページ）

＊：お買い上げ時の設定

カメラタイトル設定ページ

カメラごとにカメラタイトルおよびカメラタイトルのモニターへの表示位置を設定します。

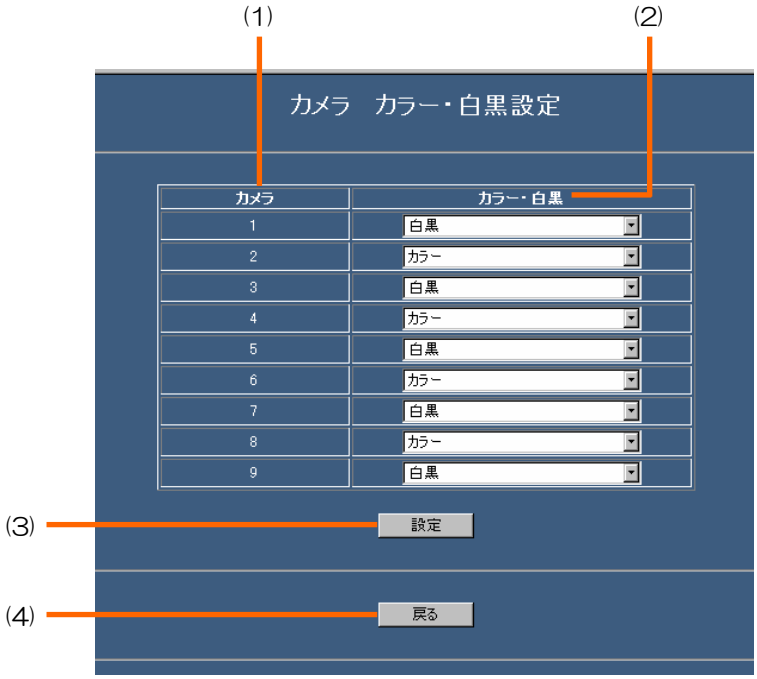


項番	項目		内容
(1)	カメラ		カメラ番号を表示します。
(2)	表示		カメラタイトルをモニターに表示するかどうかを設定します。
		しない	カメラタイトルをモニターに表示しません。タイトルを入力してもモニターには表示されません。
		する*	入力したカメラタイトルをモニターに表示します。
(3)	タイトル（全角8文字以内）		タイトルを下記の全角文字で入力します。 使用可能な文字　A～Z（大文字）、0～9、空白、カタカナ、！%&＊－／：．?← → ↑ ↓ （ ）
(4)	表示位置		表示位置を以下から選択します。 左上* / 右上 / 左下 / 右下
(5)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。
(6)	［戻る］ボタン		画面表示設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

カメラ　カラー・白黒設定ページ

カメラごとにカラーカメラか白黒カメラかを接続したカメラに合わせて設定します。



項番	項目		内容
(1)	カメラ		カメラ番号を表示します。
(2)	カラー・白黒		接続したカメラがカラーカメラか白黒カメラかを選択します。
		カラー*	接続したカメラがカラーカメラのときに設定します。
		白黒	接続したカメラが白黒カメラのときに設定します。
(3)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン		画面表示設定ページに戻ります。

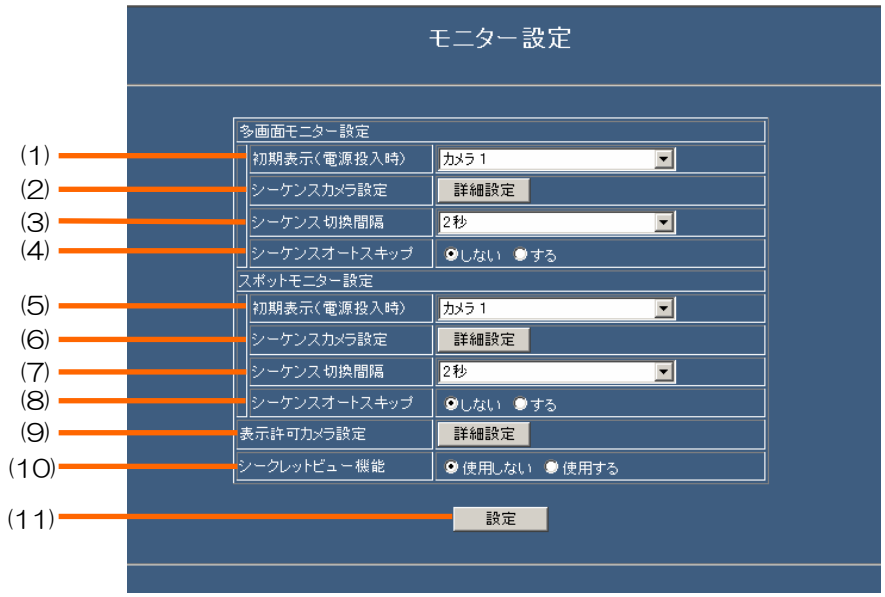
＊：お買い上げ時の設定

メモ

- 白黒カメラを接続した場合は、「白黒」に設定してください。「カラー」のままにすると、画像の一部に色がつくなど、正しく白黒表示されません。

モニター設定ページ

初期表示カメラ、シーケンスなどの多画面モニター、スポットモニターの表示モードを設定します。また、表示許可カメラ、およびシークレットビューを設定します。



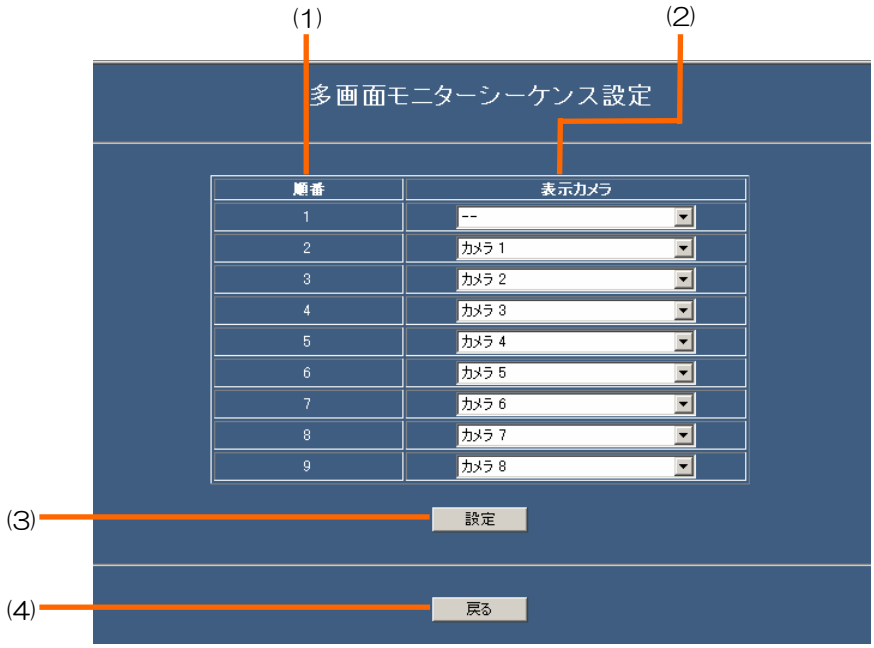
項番	項目	内容
(1)	初期表示	本機に電源を入れたときに多画面モニターに表示するカメラを以下から選択します。 カメラ1 / カメラ2 / カメラ3 / カメラ4 / カメラ5 / カメラ6 / カメラ7 / カメラ8 / カメラ9 / 4分割（1~4）* / 4分割（5~8） / 4分割（9） / 9分割（1~9） / シーケンス
(2)	シーケンスカメラ設定	多画面モニターに表示する多画面モニターシーケンスを設定します。
	［詳細設定］ボタン	多画面モニターシーケンス設定ページを表示します。（→93ページ）
(3)	シーケンス切換間隔	画面の切り換え時間を以下から選択します。 2秒* / 3秒 / 4秒 / 5秒 / 6秒 / 7秒 / 8秒 / 9秒 / 10秒 / 11秒 /12秒 / 13秒 / 14秒 / 15秒 / 16秒 / 17秒 / 18秒 / 19秒 / 20秒 / 21秒 / 22秒 / 23秒 / 24秒 / 25秒 / 26秒 / 27秒 / 28秒 / 29秒 / 30秒 / 外部入力
(4)	シーケンスオートスキップ	シーケンス表示中に映像信号がないカメラ画像をスキップするかどうかを設定します。
	しない	カメラ画像を黒画面で表示します。
	する*	カメラ画像を自動的にスキップします。
(5)	初期表示	本機に電源を入れたときにスポットモニターに表示するカメラを以下から選択します。 カメラ1* / カメラ2 / カメラ3 / カメラ4 / カメラ5 / カメラ6 / カメラ7 / カメラ8 / カメラ9 / シーケンス
(6)	シーケンスカメラ設定	スポットモニターに表示するスポットモニターシーケンスを設定します。
	［詳細設定］ボタン	スポットモニターシーケンス設定ページを表示します。（→94ページ）

項番	項目		内容
(7)	シーケンス切換間隔		画面の切り換え時間を以下から選択します。 2秒* / 3秒 / 4秒 / 5秒 / 6秒 / 7秒 / 8秒 / 9秒 / 10秒 / 11秒 /12秒 / 13秒 / 14秒 / 15秒 / 16秒 / 17秒 / 18秒 / 19秒 / 20秒 / 21秒 / 22秒 / 23秒 / 24秒 / 25秒 / 26秒 / 27秒 / 28秒 / 29秒 / 30秒 / 外部入力
(8)	シーケンスオートスキップ		シーケンス表示中に映像信号がないカメラ画像をスキップするかどうかを設定します。
		しない	カメラ画像を黒画面で表示します。
		する*	カメラ画像を自動的にスキップします。
(9)	表示許可カメラ設定		ライブ画像表示を許可するかどうかを設定します。
		［詳細設定］ボタン	ライブ時表示許可カメラ設定ページを表示します。（→95ページ）
(10)	シークレットビュー機能		多画面モニターで1画表示しているカメラ画像をスポットモニターで黒画表示します。
		使用しない*	シークレットビュー機能を使用しません。
		使用する	シークレットビュー機能を使用します。
(11)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。

＊：お買い上げ時の設定

多画面モニターシーケンス設定ページ

多画面モニターでシーケンス表示するときのカメラの切り換え順序を設定します。

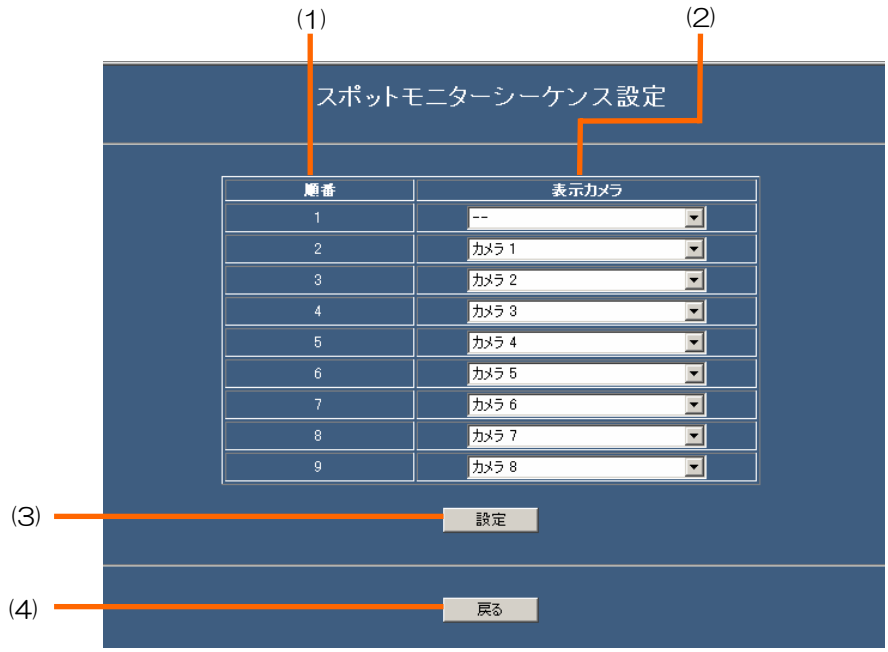


項番	項目	内容
(1)	順番	シーケンス表示する順番を表示します。
(2)	表示カメラ	該当ステップで表示するカメラ番号を以下から選択します。 -- / カメラ1* / カメラ2* / カメラ3* / カメラ4* / カメラ5* / カメラ6* / カメラ7* / カメラ8* / カメラ9* / 4分割（1~4）/ 4分割（5~8）/ 4分割（9）/ 9分割（1~9） ［--］を選択すると、そのステップは実行しません。
(3)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン	モニター設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

スポットモニターシーケンス設定ページ

スポットモニターでシーケンス表示するときのカメラの切り換え順序を設定します。

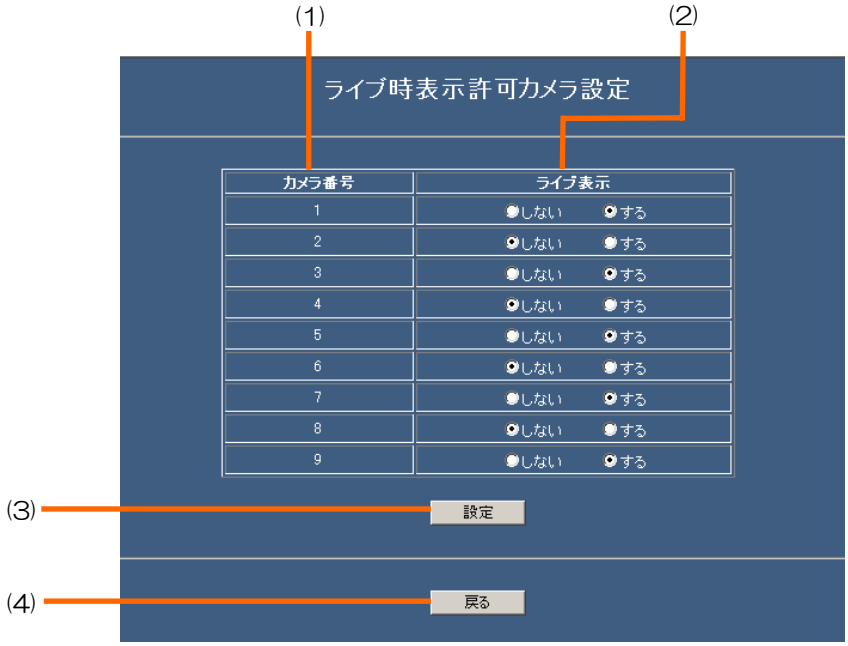


項番	項目	内容
(1)	順番	シーケンス表示する順番を表示します。
(2)	表示カメラ	該当ステップで表示するカメラ番号を以下から選択します。 -- / カメラ1* / カメラ2* / カメラ3* / カメラ4* / カメラ5* / カメラ6* / カメラ7* / カメラ8* / カメラ9* ［--］を選択すると、そのステップは実行しません。
(3)	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン	モニター設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

ライブ時表示許可カメラ設定ページ

ライブ画像表示を許可するかどうかを設定します。

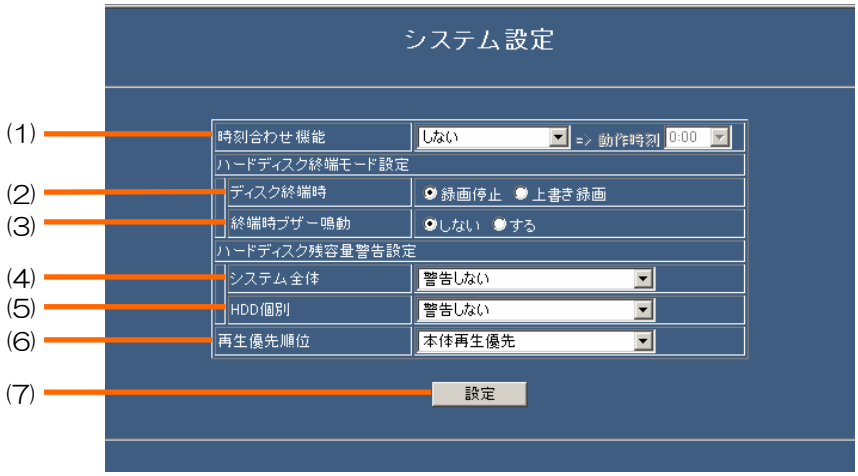


項番	項目		内容
(1)	カメラ番号		カメラ番号を表示します。
(2)	ライブ表示		多画面モニターおよびスポットモニターにライブ画像表示するかどうかを選択します。 「しない」を選択したカメラの画像は本機に接続されたモニターに表示しません。
		しない	多画面モニターおよびスポットモニターにライブ画像表示しません。
		する*	多画面モニターおよびスポットモニターにライブ画像表示します。
(3)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。
(4)	［戻る］ボタン		モニター設定ページに戻ります。

＊：お買い上げ時の設定

システム設定ページ

時刻合わせ機能、ハードディスク終端モード、ハードディスク残容量警告設定、再生優先順位など、基本的な動作に関して設定します。



（1/2）

項番	項目		内容
(1)	時刻合わせ機能		時刻合わせ機能の設定を以下から選択します。 しない　：時刻合わせ機能を使用しない する（マスター・出力）　：本機で他の機器の時刻を合わせる する（スレーブ・入力）*　：本機に接続されている親時計で時刻を合わせる 時刻が0～15分、および45～59分の場合に合わせます。 分 / 補正後 / 備考 0～15分 / 0分 / 時刻を補正する（戻る） 16～44分 / ― / 時刻を補正しない 45～59分 / 0分 / 時刻を補正する（進む：日が変わる場合は、日付および年も更新）
		動作時刻	自動時刻合わせを出力する時刻を以下から選択します。 0:00 / 1:00 / 2:00 / 3:00 / 4:00 / 5:00 / 6:00 / 7:00 / 8:00 / 9:00 /10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00 / 17:00 / 18:00 / 19:00 / 20:00 / 21:00 / 22:00 / 23:00
(2)	ディスク終端時		内蔵のHDDの容量を使い切ったときに録画をするかどうかを設定します。
		録画停止	録画を停止します。
		上書き録画*	録画された画像を上書きして録画します。
(3)	ディスク終端時ブザー鳴動		内蔵のHDDの容量を使い切ったときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。
		しない	ブザーを鳴らしません。
		する*	ブザーを鳴らします。「ディスク終端時」の設定が「録画停止」の場合に有効です。

項番	項目	内容
⑷	システム全体	HDD全体の残容量が選択した値以下になった場合の動作を設定します。 警告しない　：設定値以下でも警告しません。 1%*　：設定値以下になると警告します。 3%　：設定値以下になると警告します。 5%　：設定値以下になると警告します。 10%　：設定値以下になると警告します。
⑸	HDD個別	HDD個別の残容量が選択した値以下になった場合の動作を設定します。 警告しない*　：設定値以下でも警告しません。 1%　：設定値以下になると警告します。 3%　：設定値以下になると警告します。 5%　：設定値以下になると警告します。 10%　：設定値以下になると警告します。
⑹	再生優先順位	優先順位を以下から選択します。 本体再生優先* / ネットワーク再生優先 / FTPソフト優先 / 後優先
⑺	［設定］ボタン	設定した内容を登録します。

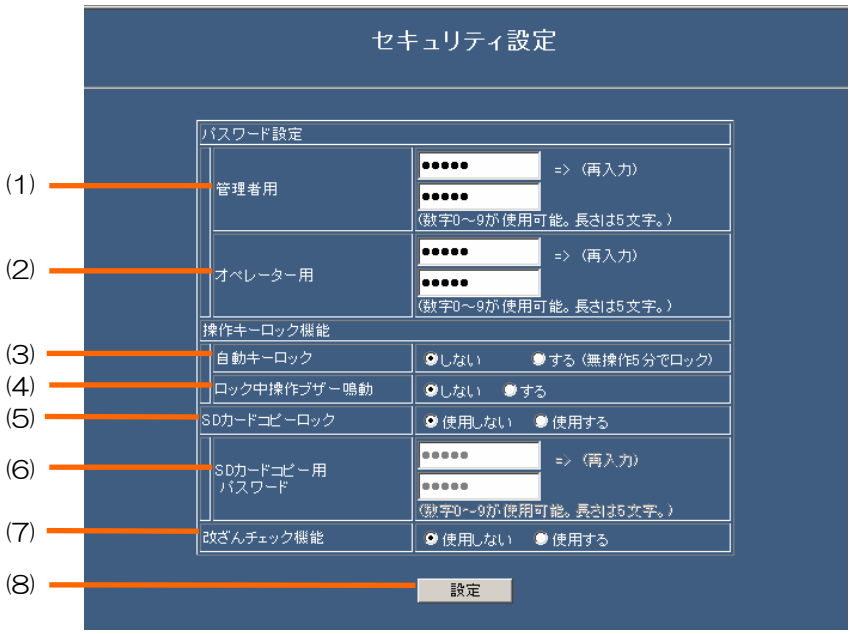
＊：お買い上げ時の設定

メモ

- 以下の操作は多画面モニターの設定メニューから操作してください。
  - ・ディスクモードの変更（→46ページ）
  - ・設定情報のSDカード保存読込（→48～49ページ）
  - ・お買い上げ時の設定に戻す（→47ページ）

セキュリティ設定ページ

パスワード設定、操作キーロック、SDカードコピーロック、改ざんチェック機能など、本機のセキュリティに関する情報を設定します。



(1/2)

項番	項目	内容
(1)	管理者用	管理者用パスワードを0~9までの半角数字5けたで入力します。誤入力確認のため、（再入力）欄に同じパスワードを再入力します。
(2)	オペレーター用	オペレーター用パスワードを0~9までの半角数字5けたで入力します。誤入力確認のため、（再入力）欄に同じパスワードを再入力します。
(3)	自動キーロック	自動操作ロックを「しない」にするか、「する」（無操作5分ロック）にするか選択します。
	しない*	自動キーロックを無効にします。
	する（無操作５分でロック）	本機のリモコンおよびパネル操作ができないように自動で操作ロックするときは、「する」にします。「する」にすると、電源を入れ直したとき、またはロック解除後ボタン操作を5分以上しなかったとき自動的にロックされ、パスワードを入力するまで操作できません。
(4)	ロック中操作ブザー鳴動	ロック中の操作に対して、ブザーを鳴動させるかどうかを選択します。
	しない	ロック中の操作に対して、ブザーを鳴動しません。
	する*	ロック中の操作に対して、ブザーを鳴動します。
(5)	SDカードコピーロック	SDカードへ録画画像をコピーできないようにするかどうかを設定します。ロック設定するときは「使用する」にし、カードコピー用パスワードを設定します。
	使用しない*	SDカードへ録画画像をコピーできないようにします。また、コピーメニュー表示時にパスワード入力画面を表示しません。
	使用する	SDカードへ録画画像をコピーできます。また、コピーメニュー表示時にパスワード入力画面を表示します。

項番	項目		内容
⑹	SDカードコピー用パスワード		SDカードコピー用パスワードを0～9までの半角数字5けたで入力します。誤入力確認のため、再入力欄に同じパスワードを再入力します。
⑺	改ざんチェック機能		録画する画像に改ざんチェック用のコードを埋め込むかどうかを設定します。
		使用しない*	録画する画像に改ざんチェック用のコードを埋め込みません。
		使用する	録画する画像に改ざんチェック用のコードを埋め込みます。「使用する」にすると、ネットワーク配信速度が若干遅くなります。
⑻	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。

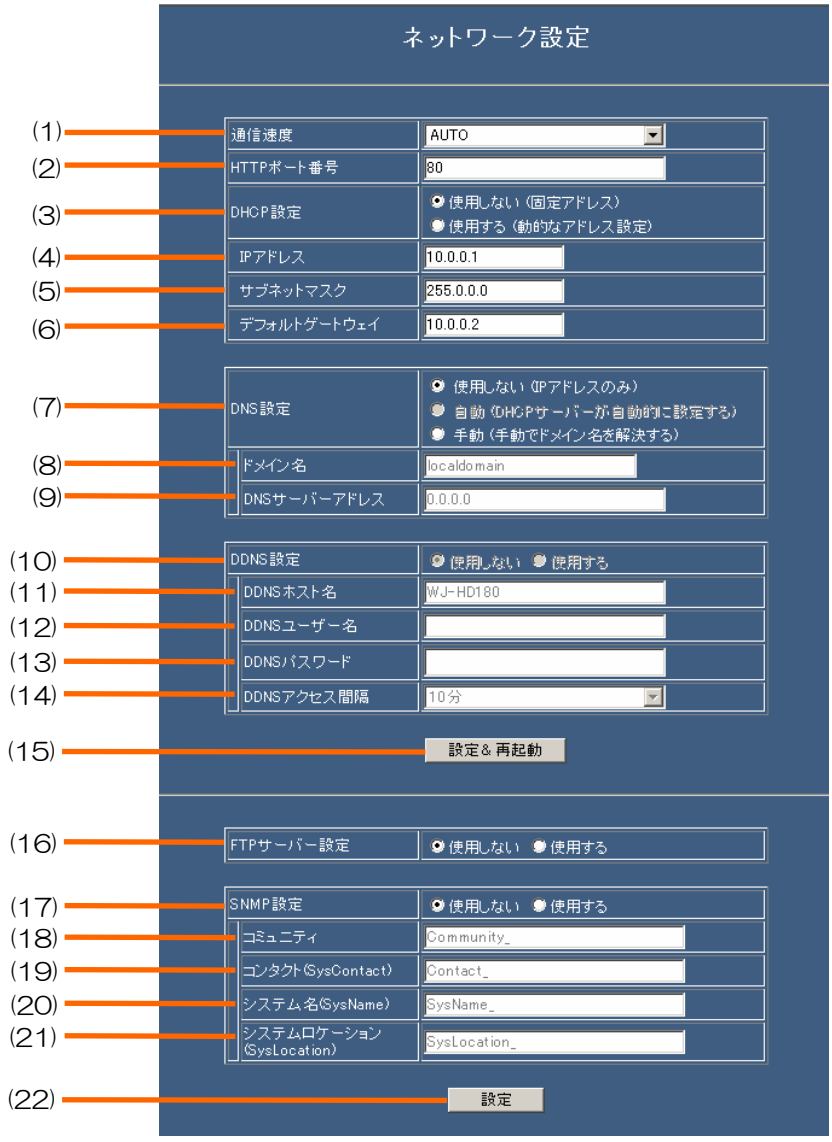
＊：お買い上げ時の設定

メモ

- 画像が改ざんされていないかどうか、確認が必要な場合は、販売店にご相談ください。

ネットワーク設定ページ

本機をLANなどのネットワークに接続するための環境を設定します。設定するときは、接続するネットワークの管理者に設定内容を確認してください。



（1/3）

項番	項目	内容
(1)	通信速度	通信速度を以下から選択します。通常は「AUTO」に設定してください。 AUTO* / 100M_FULL / 100M_HALF / 10M_FULL / 10M_HALF
(2)	HTTPポート番号	本機に接続するためのHTTPポートの番号を入力します。ネットワーク管理者またはISPからの指定がない限り、80のままお使いください。

項番	項目		内容
(3)	DHCP設定		IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを取得する方法を設定します。
		使用しない（固定アドレス）*	IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスを直接入力します。
		使用する（動的なアドレス設定）	IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスをDHCPサーバーから取得します。
(4)	IPアドレス		DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、IPアドレスを入力します。本機は、0～255までの10進数を「.（ドット）」で4つに区切って入力します。
(5)	サブネットマスク		DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、サブネットマスクを入力します。
(6)	デフォルトゲートウェイ		DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、デフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。
(7)	DNS設定		DNSを使用して、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにするかどうかを設定します。
		使用しない（IPアドレスのみ）*	DNSを使用しません。
		自動（DHCPサーバーが自動的に設定する）	DNSを使用して、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにします。 DHCPサーバーを使用する場合のみ（DHCP設定：使用する）、「自動」を選択できます（ドメイン名とDNSサーバーアドレスはDHCPサーバーから取得します）。
		手動（手動でドメイン名を解決する）	DNSを使用して、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにします。 DHCPサーバーを使用しない場合（DHCP設定：使用しない）、「手動」を選択し、ドメイン名とDNSサーバーアドレスを入力してください。
(8)	ドメイン名		本機をネットワークに参加させる際に使用するドメイン名を入力します。入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字（大文字、小文字区別なし） ・記号（ハイフン（-）、ピリオド（.） DNS設定を「手動（手動でドメイン名を解説する）にしたときのみ、入力可能となります。
(9)	DNSサーバーアドレス		使用するDNSサーバーのIPアドレスを入力します。 DNS設定を「手動（手動でドメイン名を解説する）にしたときのみ、入力可能となります。
(10)	DDNS設定		DDNS（Dynamic Domain Name Server）を使用するかどうかを設定します。 この設定は、DNS設定を「自動（DHCPサーバーが自動的に設定する）」または「手動（手動でドメイン名を解決する）」に設定したとき「使用する」を選択できます。
		使用しない*	DDNS（Dynamic Domain Name Server）を使用しません。
		使用する	DDNS（Dynamic Domain Name Server）を使用します。
(11)	DDNSホスト名		DDNSに登録したホスト名を入力します。当社が提供しているDDNSサービスをご使用になる場合、本機にアクセスする際のURLは、以下のようになります。 http：//（DDNSホスト名）.nmdns.net DDNSホスト名の入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字（大文字、小文字区別なし） ・記号 ハイフン（-）、ピリオド（.）

（3/3）

項番	項目	内容
(12)	DDNSユーザー名	DDNSに登録されているユーザー名を入力します。入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字（大文字、小文字区別なし） ・記号（!#$%’（ ）=|`{}<>?_^[]/@*,. : ;+-¥）
(13)	DDNSパスワード	DDNSユーザー名に入力したユーザー名のパスワードを入力します。入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字（大文字、小文字区別なし） ・記号（!#$%’（ ）=|`{}<>?_^[]/@*,. : ;+-¥）
(14)	DDNSアクセス間隔	DNSを更新する間隔を以下から選択します。 10分 / 30分 / 1時間 / 6時間 / 24時間
(15)	［設定&再起動］ボタン	(1)～(14)のいずれかの項目を変更した場合、設定内容を登録し再起動します。 このボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の［設定］ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。
(16)	FTPサーバー設定	FTPサーバー機能を使用するかどうかを設定します。
	使用しない*	FTPサーバー機能を使用しません。
	使用する	FTPサーバー機能を使用します。
(17)	SNMP設定	SNMP機能を使用するかどうかを設定します。
	使用しない*	SNMP機能を使用しません。
	使用する	SNMP機能を使用します。
(18)	コミュニティ	SNMP認証に使用する名前を英数字で入力します。入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字32文字（大文字、小文字区別あり） ・記号（!#$%’（ ）=|`{}<>?_^[]/@*,. : ;+-¥）
(19)	コンタクト （SysContact）	本機管理者の連絡先（メールアドレスなど）を入力します。入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字255文字（大文字、小文字区別あり） ・記号（!#$%’（ ）=|`{}<>?_^[]/@*,. : ;+-¥）
(20)	システム名 （SysName）	本機をSNMPシステムで管理するための名前を英数字で入力します（例：No1）。 入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字255文字（大文字、小文字区別あり） ・記号（!#$%’（ ）=|`{}<>?_^[]/@*,. : ;+-¥）
(21)	システムロケーション （SysLocation）	本機の設置場所を英数字で入力します（例：2F）。入力規則は以下のとおりです。 ・半角英数字255文字（大文字、小文字区別あり） ・記号（!#$%’（ ）=|`{}<>?_^[]/@*,. : ;+-¥）
(22)	［設定］ボタン	(16)～(21) のいずれかの項目を変更した場合、設定内容を登録します。

＊：お買い上げ時の設定

重要

- FTPサーバー、SNMPサーバーを使用しないときは、必ず、機能を「使用しない」に設定してください。

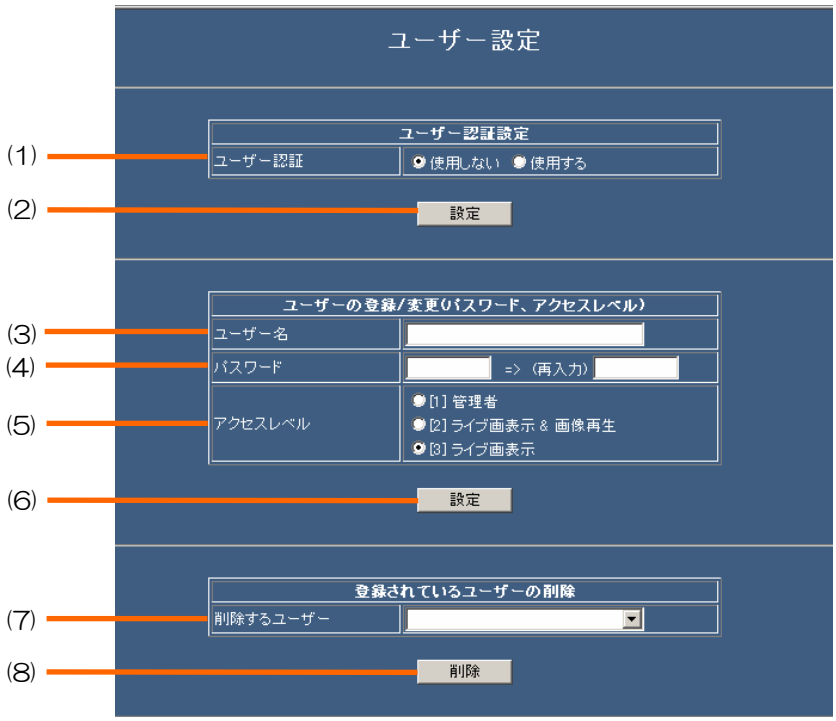
拡張設定メニュー

拡張設定メニューは、ネットワークを利用した固有の機能を設定できます。拡張設定メニューの各ボタンをクリックすると、メニューの右フレームに設定ページが表示されます。

項番	項目	内容
(1)	[ユーザー設定] ボタン	ユーザー設定ページを開きます。(→104ページ)
(2)	[ホスト設定] ボタン	ホスト設定ページを開きます。(→106ページ)
(3)	[FTPクライアント設定] ボタン	FTPクライアント設定ページを開きます。(→107ページ)
(4)	[メール設定] ボタン	メール設定ページを開きます。(→109ページ)
(5)	[ブラウザー表示設定] ボタン	ブラウザー表示設定ページを開きます。(→111ページ)
(6)	[お気に入りに追加] ボタン	ウェブブラウザーの「お気に入り」に追加します。

ユーザー設定ページ

ユーザー認証するかどうか、およびユーザー情報を登録/変更/削除します。



重要

- セキュリティ保護のため、ユーザー認証を「使用する」に設定し、ユーザーを登録することをおすすめします。
- セキュリティ保護のため、お買い上げ時に登録されている「ADMIN」のパスワードは必ず変更してください。

メモ

- ユーザー認証を「使用する」にすると、PCからアクセスするときユーザー認証画面が表示されます。登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。正しければトップページが表示されます。

(1/2)

項番	項目		内容
(1)	ユーザー認証		ユーザー認証するかどうかを設定します。 お買い上げ時、以下のユーザー名とパスワードが管理者として登録されています。 ユーザー名：ADMIN パスワード：12345
		使用しない	ユーザー認証を使用しません。
		使用する*	ユーザー認証を使用します。
(2)	［設定］ボタン		設定した内容を登録します。

項番	項目		内容
⑶	ユーザー名		認証に使用するユーザー名を16文字までの半角英数字で入力します。ユーザー名は16個登録できます。すでに登録されているユーザー名を入力すると、パスワード、アクセルレベルの変更ができます。 入力可能文字数：1～16文字
⑷	パスワード		パスワードを16文字までの半角英数字で入力します。（再入力）欄に同じ文字を入力します（誤入力防止のため）。 入力可能文字数：１～16文字
⑸	アクセスレベル		アクセスレベルを選択します。
		[1]管理者	HTML操作ですべての操作ができます。必ず1人は登録してください。
		[2]ライブ画表示＆画像再生	HTML操作でカメラ選択したり、録画画像を再生したりします。
		[3]ライブ画表示	HTML操作でカメラ画像を表示できます。
⑹	［設定］ボタン		「ユーザーの登録/更新（パスワード、アクセスレベル）」の設定内容を登録します。
⑺	削除するユーザー		削除するユーザー名を選択してユーザーを削除します。
⑻	［削除］ボタン		［削除］ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されるので、削除するときは［OK］ボタンをクリックします。削除を中止するときは［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

＊：お買い上げ時の設定

ホスト設定ページ

ホスト認証するかどうか、およびアクセスを許可するホストを登録/削除します。

メモ

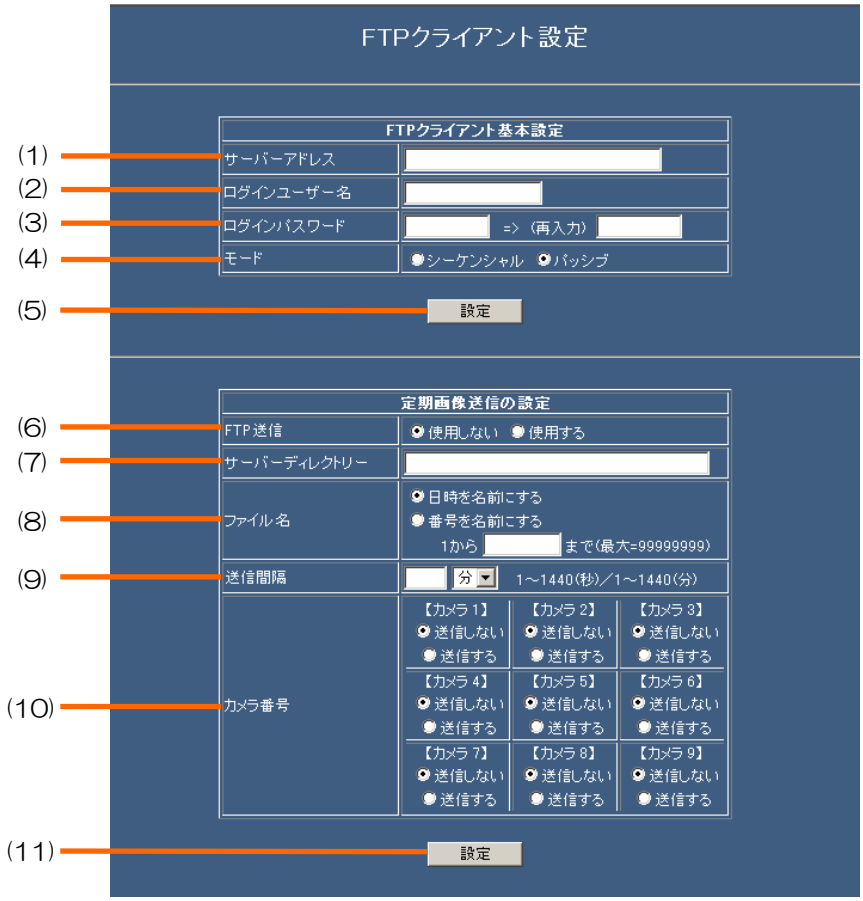
- ホスト認証を使用すると、登録されているIPアドレスのPCからのみネットワーク操作を許可することができます（簡易ファイアーウォールとして使用できます）。ユーザー認証と組み合わせて使用すれば、ネットワークセキュリティを強化できます。

項番	項目		内容
(1)	ホスト認証		PCのウェブブラウザーで本機を操作するとき、PCのIPアドレスで認証するかどうかを設定します。
		使用しない*	ホスト認証しません。
		使用する	ホスト認証します。
(2)	［設定］ボタン		ホスト認証の設定内容を登録します。
(3)	ホストアドレス		本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。IPアドレスは9つまで登録できます。IPアドレスを入力する場合、0～255までの10進数を「.（ドット）」で4つに区切って入力します。
(4)	［設定］ボタン		ホストアドレスに設定した内容を登録します。
(5)	削除するホストアドレス		本機に登録されているホストを削除します。削除するホストアドレスを選択します。
(6)	［削除］ボタン		［削除］ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除するときは［OK］ボタンをクリックします。削除を中止するときは［キャンセル］をクリックします。

＊：お買い上げ時の設定

FTP クライアント設定ページ

本機に接続されたカメラの画像を定期的に、指定したFTPサーバーに転送するよう設定します。



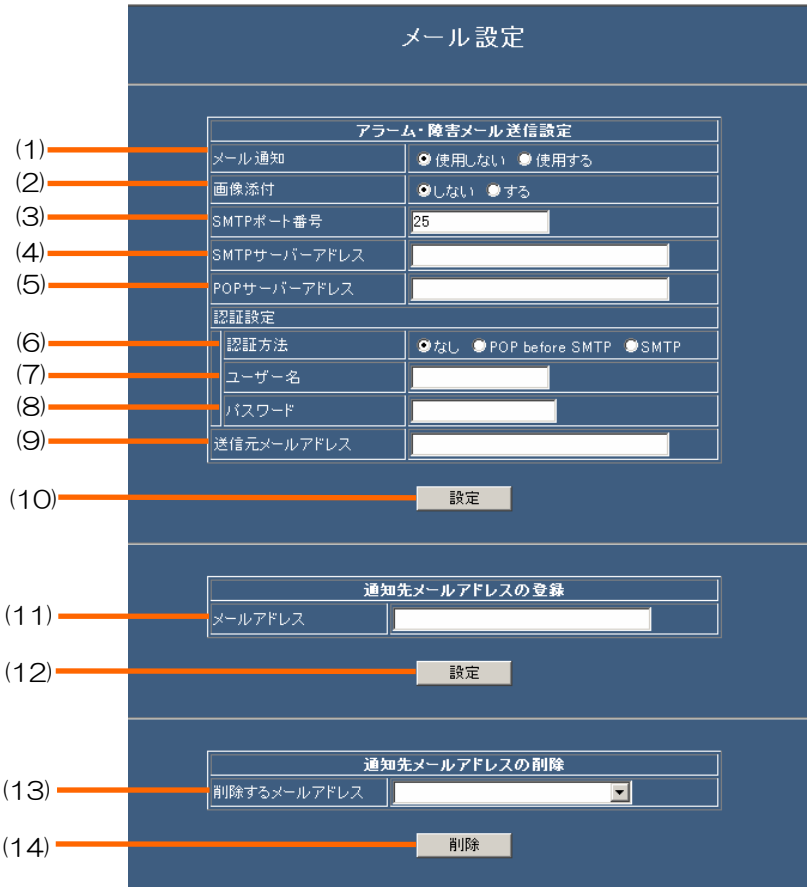
項番	項目	内容
(1)	サーバーアドレス	画像送信先となるFTPサーバーのIPアドレスまたはFTPサーバー名を入力します。FTPサーバー名は、DNS設定を「手動」または「自動」にしたときに使用できます。
(2)	ログインユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
(3)	ログインパスワード	FTPサーバーにアクセスするためのパスワードを選択します。
(4)	モード	FTPサーバーに画像を送信するときの通信モードを選択します。「シーケンシャル」で送信できないときは「パッシブ」に変更してください。
	シーケンシャル*	FTP の通信モードをシーケンシャルモードに設定します。
	パッシブ	FTP の通信モードをパッシブモードに設定します。
(5)	［設定］ボタン	FTPクライアント基本設定の内容を登録します。
(6)	FTP送信	録画画像を定期的に送信するかどうかを設定します。
	使用しない*	録画画像を定期的に送信しません。
	使用する	録画画像を定期的に送信します。
(7)	サーバーディレクトリー	送信先のサーバーディレクトリーを入力します。大文字・小文字を間違えずに入力してください。

項番	項目		内容
⑻	ファイル名		画像送信時のファイル名の規則を選択します。 **重要** • 「番号を名前にする」を選択した場合、送信枚数が設定された最大値を超えると、ファイル名が再度1から割り付けられます。このとき古い画像は上書きされてしまいます。
		日時を名前にする*	画像送信時のファイル名を日時にします。
		番号を名前にする	画像送信時のファイル名を番号にします。。
⑼	送信間隔		録画画像を定期送信する間隔を入力します。単位は「秒」または「分」を選択できます。
⑽	カメラ番号		録画画像を定期送信するカメラを選択します。
		送信する	録画画像が設定した送信間隔でFTPサーバーへ送信されます。
		送信しない*	録画画像を定期送信しません。
⑾	［設定］ボタン		定期画像送信の設定の内容を登録します。

＊：お買い上げ時の設定

メール設定ページ

送信先のメールアドレスなどを設定します。メール通知を使用すると、アラームや障害発生時にメールを送信してお知らせすることができます。メールの送信先は、4アドレス登録できます。



（1/2）

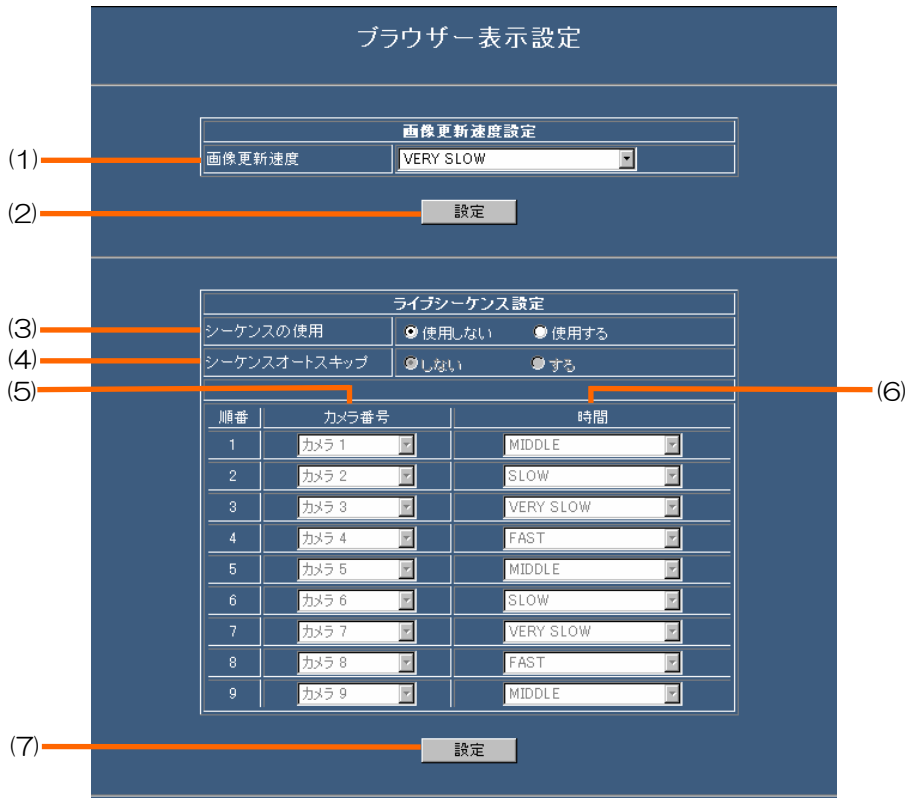
項番	項目		内容
(1)	メール通知		メールでアラームおよび障害の発生を通知するかどうかを設定します。
		使用しない*	アラームおよび障害の発生をメール通知しません。
		使用する	アラームおよび障害の発生をメール通知します。
(2)	画像添付		アラームの画像をメールに添付するかどうかを設定します。
		しない*	アラームの画像をメールに添付しません。
		する	アラームの画像をメールに添付します。
(3)	SMTPポート番号		メールを送信するSMTPポート番号を入力します。 お買い上げ時：25
(4)	SMTPサーバーアドレス		メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。 SMTPサーバー名は、DNS設定を「手動」または「自動」にしたときに使用できます。
(5)	POPサーバーアドレス		SMTP認証で「POP before」を選択した場合、POP3サーバーのIPアドレスまたはPOP3サーバー名を入力します。POP3サーバー名は、DNS設定を「手動」または、「自動」にしたときに使用できます。

項番	項目		内容
(6)	認証方法		メール送信時に認証するかどうかを設定します。
		なし*	認証しません。
		POP before SMTP	電子メールを送信する前に、メールを受信するPOP認証します。
		SMTP	SMTPで認証します。
(7)	ユーザー名		送信元のアカウントのユーザー名を入力します。
(8)	パスワード		送信元のアカウントのパスワードを入力します。
(9)	送信元メールアドレス		送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者の From（差出人）欄に表示されます。
(10)	［設定］ボタン		アラーム・障害メール送信設定の設定内容を登録します。
(11)	メールアドレス		送信先のメールアドレスを入力します。
(12)	［設定］ボタン		複数メールアドレスをまとめて登録することはできません。1メールアドレスごとに［設定］ボタンをクリックしてください。
(13)	削除するメールアドレス		削除するメールアドレスを選択します。
(14)	［削除］ボタン		［削除］ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除するときは［OK］ボタンをクリックします。削除を中止するときは［キャンセル］をクリックします。

＊：お買い上げ時の設定

ブラウザー表示設定ページ

本機からPCのウェブブラウザーに画像を配信するときの画像更新速度と、ウェブブラウザーでカメラを自動的に切り換えて表示するとき（ライブシーケンス）の切り換え順序、切り換え時間を設定します。



（1/2）

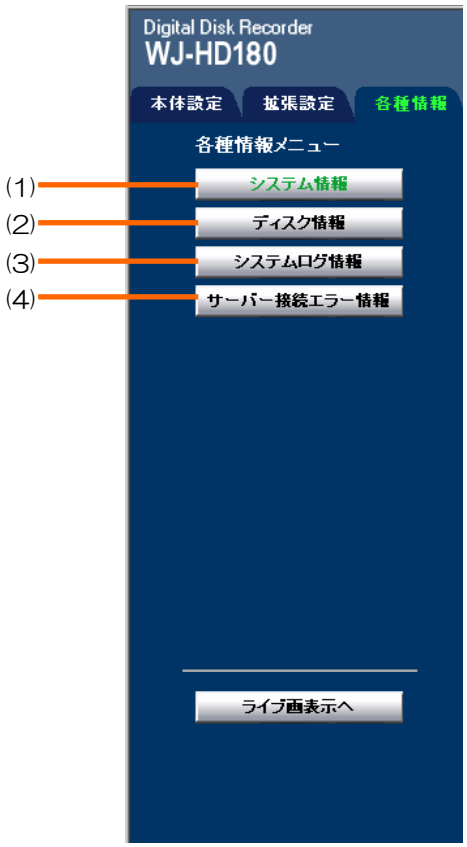
項番	項目		内容
(1)	画像更新速度		画像更新速度を以下から選択します。 FAST / MIDDLE / SLOW / VERY SLOW **重要** • 通信回線の状況によっては、配信画像が途中までしか表示されないことがあります。このような現象が発生するときは、現在設定されている更新速度より、遅い画像更新速度に変更してください。
		FAST	約0.5秒を目安に画像を更新します。
		MIDDLE*	約1秒を目安に画像を更新します。
		SLOW	約2秒を目安に画像を更新します。
		VERY SLOW	約5秒を目安に画像を更新します。
(2)	［設定］ボタン		画像更新速度設定の設定内容を登録します。
(3)	シーケンスの使用		ウェブブラウザー上でライブシーケンス表示するかどうかを設定します。
		使用しない	ウェブブラウザー上でライブシーケンス表示しません。
		使用する*	ウェブブラウザー上でライブシーケンス表示します。

項番	項目		内容
⑷	オートスキップ		シーケンス表示中に映像信号がないカメラ画像をスキップするかどうかを設定します。
		しない	カメラ画像を青画で表示します。
		する*	カメラ画像をスキップします。
⑸	カメラ番号		［シーケンスの使用］が「使用する」の場合、順番に表示するカメラ番号を以下から選択します。 -- / カメラ1 / カメラ2 / カメラ3 / カメラ4 / カメラ5 / カメラ6 / カメラ7 / カメラ8 / カメラ9 「--」を選択したステップは実行しません。
⑹	時間		［シーケンスの使用］が「使用する」の場合、表示時間を以下から選択します。 FAST* / MIDDLE / SLOW / VERY SLOW ［画像更新速度］に「VERY SLOW」を選択した場合、表示時間は「SLOW」または「VERY SLOW」を選択してください。 ［画像更新速度］に「VERY SLOW」を選択した場合、表示時間に「FAST」または「MIDDLE」を選択すると、画像が完全に表示される前に次の画像が表示されることがあります。
⑺	［設定］ボタン		ライブシーケンス設定の設定内容を登録します。

＊：お買い上げ時の設定

各種情報メニュー

システム情報、ディスク情報、システムログ情報、サーバー接続エラー情報などの設定画面を開きます。



項番	項目	内容
(1)	［システム情報］ボタン	システム情報ページを開きます。（→114ページ）
(2)	［ディスク情報］ボタン	ディスク情報ページを開きます。（→115ページ）
(3)	［システムログ情報］ボタン	システムログ情報ページを開きます。（→116ページ）
(4)	［サーバー接続エラー情報］ボタン	サーバー接続エラー情報ページを開きます。（→117ページ）

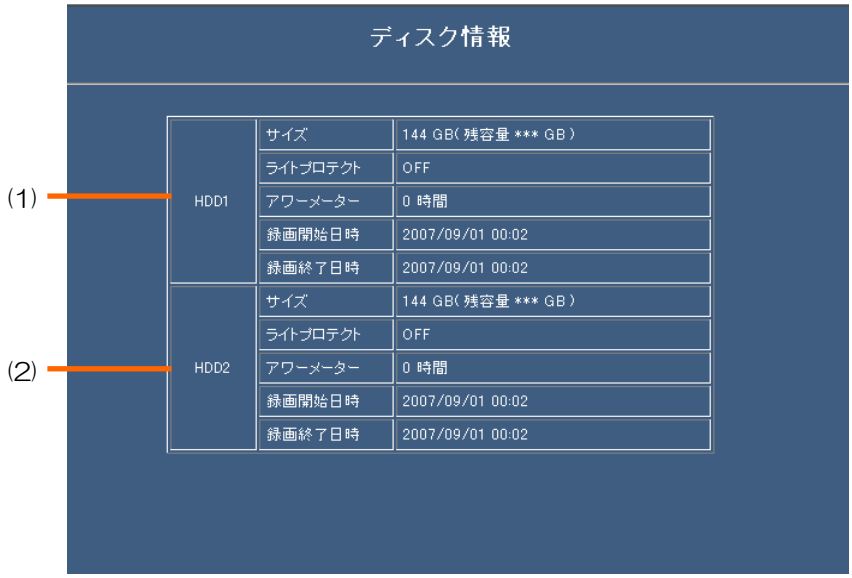
システム情報ページ

HDDの総容量、設定されているネットワークアドレスなどを確認できます。

項番	項目		内容
(1)	HDD総容量		HDDの総容量および運用モードを表示します。
(2)	運用ボタン押下回数		HDDの運用ボタンを押した回数を表示します。
		HDD1	HDD1の運用ボタンを押した回数を表示します。
		HDD2	HDD2の運用ボタンを押した回数を表示します。
(3)	本機内部温度		本機内部の温度を表示します。
		現在温度	現在の本機内部温度を表示します。
		最高温度	本機内部温度の最高値および記録日時を表示します。
(4)	ファームウェアバージョン		ソフトウェアのバージョン番号を表示します。
(5)	シリアル番号		本機のシリアル番号を表示します。
(6)	MACアドレス		本機のMACアドレスを表示します。
(7)	IPアドレス		本機のIPアドレスを表示します。
(8)	サブネットマスク		本機のサブネットマスクを表示します。
(9)	デフォルトゲートウェイ		本機のデフォルトゲートウェイを表示します。
(10)	ドメイン名		本機のドメイン名を表示します。
(11)	DNSサーバーアドレス		本機のDNSサーバーアドレスを表示します。

ディスク情報ページ

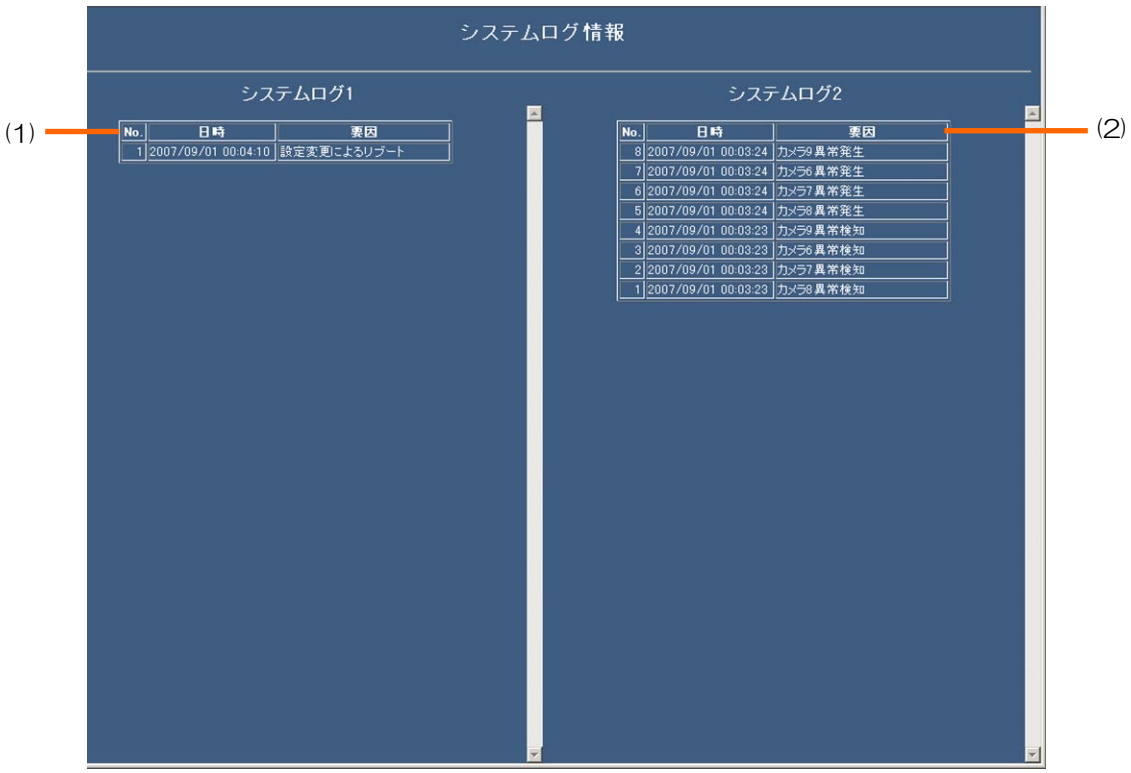
HDDの容量、ライトプロテクト、累積稼働時間、録画開始 / 終了日時を確認できます。



項番	項目		内容
(1)	HDD1		HDD1に関する以下の情報を表示します。
		容量	HDD1のサイズおよび残容量を表示します。
		ライトプロテクト	書き込み禁止プロテクトの有無を表示します。
		アワーメーター	HDD1の通電時間を表示します。
		録画開始日時	HDD1内の録画開始日時を年月日時分で表示します。
		録画終了日時	HDD1内の録画終了日時を年月日時分で表示します。
(2)	HDD2		HDD2に関する以下の情報を表示します。
		容量	HDD2のサイズおよび残容量を表示します。
		ライトプロテクト	書き込み禁止プロテクトの有無を表示します。
		アワーメーター	HDD2の通電時間を表示します。
		録画開始日時	HDD2内の録画開始日時を年月日時分で表示します。
		録画終了日時	HDD2内の録画終了日時を年月日時分で表示します。

システムログ情報ページ

本機使用中に発生した障害情報を確認できます。システムログ1では100件、システムログ2では500件まで確認できます。最大件数を超えた場合、古いログから順に上書きされます。



項番	項目		内容
(1)	システムログ1		録画を継続できなくなる可能性がある場合、ログ出力します。
		No.	システムログ1のシリアル番号を表示します。
		日時	ログ出力した日時を表示します。
		要因	ログ出力した要因を表示します。 詳しいログ要因については、ログ情報（→55ページ）を参照してください。
(2)	システムログ2		エラーなどの警告があった場合、ログ出力します。
		No.	システムログ2のシリアル番号を表示します。
		日時	ログ出力した日時を表示します。
		要因	ログ出力した要因を表示します。 詳しいログ要因については、ログ情報（→56ページ）を参照してください。

サーバー接続エラー情報ページ

FTP、SMTP、DDNSの各サーバー接続で発生した障害の情報を100件まで確認できます。最大件数を超えた場合、古いログから順に上書きされます。

項番	項目	内容
(1)	No.	サーバー接続エラー情報のシリアル番号を表示します。
(2)	発生日時	FTP、SMTP、DDNSの各サーバー接続で障害が発生した日時を表示します。
(3)	エラー内容	FTP、SMTP、DDNSの各サーバー接続で発生した障害の情報を表示します。 詳しいエラー内容については、サーバー接続エラー情報（→126ページ）を参照してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないとき、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
マトリクススイッチャーまたはシステム機器の設定画面が録画できない	● ノンインターレース信号で表示される設定画面は録画できません（マトリクススイッチャーの設定画面はノンインターレース信号です）。	―
アラームリスト画面から検索して再生すると、カメラ画像表示（ライブ画）に戻ってくる	● 時刻合わせまたは時刻を変更した際に、アラームデータの時刻順序が前後した場合は、一度で検索できない場合があります。再度、アラームリスト検索することで見たい画像を再生できます。 ● 選択したアラーム画像が上書きなどで消去された場合は再生できません。	―
再生速度が遅い 一定時間に画像が更新されない 音が途切れる	● 録画画像の状態または録音の有無によっては、画像の更新が遅くなることがあります。また、録画レートによっては、一定間隔で画像を更新できないことがあります。 ● ネットワークアクセス中、音が途切れることがあります。また、一定間隔で画像を更新できないときも音が途切れることがあります。 ● 上記は、本機の仕様によるもので故障ではありません。更新間隔は、低画質で録画すると改善することがあります。	―
日時検索から再生すると表示されない画像がある	● 本機の仕様であり、故障ではありません。検索時間を数秒前に設定してください。または、録画枚数を多くすると改善することがあります。	―
クイックコピーを実行したら、時計が数秒間止まった	● 本機の仕様であり、故障ではありません。内部の時計は正しく進んでいますので、録画には影響ありません。	―
コピーした画像を表示したら、縦が1/2につぶれた画像が表示された	● 本機の仕様であり、故障ではありません。同時にコピーされた画像表示用HTMLファイル（index.html）を使用するか、縦を2倍に拡大することで正しく表示されます。	―
ダウンロードした画像を表示したら、縦が1/2につぶれた画像が表示された	● コピーのときと同様、本機の仕様です。故障ではありません。同時にダウンロードされた画像表示用HTMLファイル（index.html）を使用するか、縦を2倍に拡大することで正しく表示されます。	―

HTML操作・ダウンロード画像

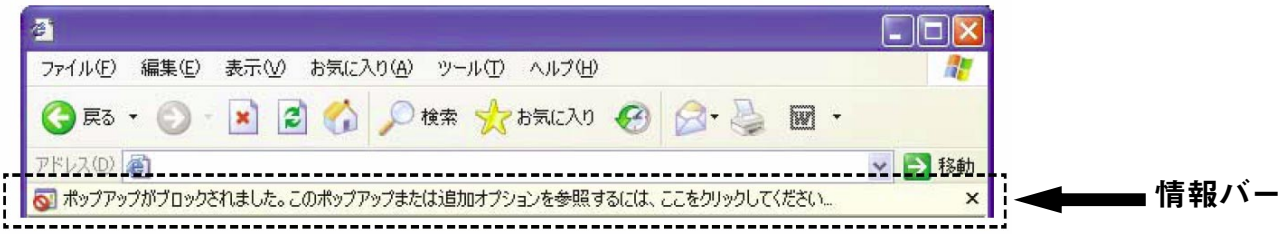
症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ブラウザーからアクセスできない	● ネットワークポートに10BASE-Tまたは100BASE-TXケーブルが接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。	―
	● ネットワークポートの接続表示ランプが点灯していますか？点灯していない場合は、LANに接続されていないか、接続先のネットワークが正常に動作していません。 接続表示ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はシステムの管理者にご確認ください。	―
	● 有効なIPアドレスが設定されていますか？ システムの管理者にご確認ください。	60ページ～
	● 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 › ping “本機のIPアドレス” を実行し、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。Replyが返ってこない場合は、IPアドレス、サブネットマスクの設定を確認してください。	―
	● 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ システムの管理者にご確認ください。	60ページ～
	● 設定したIPアドレスと設置先のネットワーク / サブネットマスクが矛盾していませんか？ ● 同一サブネット内に本機とクライアント（PC）が接続されている場合、本機とクライアント（PC）のIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？ ● ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」設定にすることをおすすめします。	60ページ～
BUSYが表示されて操作できない	● 本機で再生をしていませんか？ ● 外部メディアにコピー中ではありませんか？ ● 他のユーザーがウェブブラウザーで再生していませんか？ ● 本機でFTP/HTTPで画像をダウンロードしていませんか？ ● 本機でHDDの取り付け、取り外しをしていませんか？ 停止キーを押してライブ画に戻ると症状を改善できます。	―
画像更新速度が遅い、レスポンスが遅い	● ネットワークが混雑している場合、複数の人（最大9人）が同時にアクセスしている場合などに左記の症状が発生します。 ネットワーク環境を改善するか、同時にアクセスする人数を減らすことで改善できます。	―

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
保存した画像が縦に縮んで表示される	● ダウンロードした再生画像またはFTPで送信したJPEG画像を表示すると縦1/2サイズで表示されることがあります。録画時、フィールド単位で録画しているためで故障ではありません。	―
配信された画像にノイズが入る	● 配信画像によっては、カメラ画像または再生画像の右下が欠けることがあります。	―
FTPの定期送信で、画像のファイル名（番号）に抜けがある	● **送信先サーバーが停止していませんでしたか？** 定期送信中に、送信先サーバーが停止しているとファイル名が抜ける場合があります。	―
ブラウザー画面に表示されるボタンがずれて表示される	● **Windowsのフォント設定を初期設定から変更している場合に、ブラウザーの表示が異常になることがあります。** フォント設定は初期設定のままご使用ください。	―
ブラウザー画面に表示される内容がすべて表示されない	● **F5キーを押すことで再表示を行います。**	―
画像が更新されない	● **ネットワークの混み具合などにより、画像の表示が止まる場合があります。** キーボードの［F5］ボタンを押して、画像を再取得してください。	―
認証ウィンドウを終了できない	● **正しいユーザー名、パスワードを入力していますか？** ユーザー名、パスワードを確認してください。	104ページ
ライブ画像の更新が不安定 ブラウザーの接続が切断される ネットワークのパフォーマンスが出ない ダウンロードした画像が正しく表示されない 画像が正しく表示・録画・再生されない	● **ネットワーク回線および本機のネットワーク性能限界以上の運用がされている可能性があります。** 画像更新速度を遅くするなど、ネットワーク性能に関係する設定値を小さくしてください。	―
	● **本機とHUBのネットワーク通信速度が一致していない可能性があります（100MBASE-Tx Fullと100MBASE-Tx Halfなど）。HUBによってはネットワーク通信速度が一致しなくなることがあります。** HUBの通信速度状態および本機のネットワーク通信の速度が一致するように設定してください。 （すべてのレコーダー・PCおよびHUBの通信速度を「100M_FULL」に設定することを推奨します。）	―

その他

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
アラームリストからアラームサーチができない	● 再生したい日時より前の時刻で検索後、再生してください。 ● システム設定画面のHDD終端モード設定が「HDD終端時：上書き録画」に設定されていませんか？「HDD終端時：上書き録画」に設定されている場合、上書きされた画像は検索できません。 ● アラームサーチボタンを操作して検索できるのは、アラームリストに記録されている画像のみです（最大9 999件、9 999件を超えた場合、古い履歴から順に上書きされます）。	―
アラームメールに画像が添付されていない	● 本機での録画とメール送信のタイミングにより、アラームメールに画像が添付されない場合があります。故障ではありません。	―

お使いのPCのOS環境によっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、
それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下を及ぼすことはありません。
現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



症　状	原　因　・　対　策
「情報バーにお気づきですか？　ポップアップウィンドウや安全でない可能性のあるファイルのダウンロードがInternet Explorerでブロックされると、情報バーで警告します。Webページが正しく表示されない場合、ブラウザー上の部分に表示される情報バーをご覧ください。」とポップアップウィンドウに表示される（設定により表示されない場合もあります）。	● ［OK］ボタンをクリックしてください。
「セキュリティ保護のため、コンピュータにアクセスできるアクティブコンテンツは表示されないよう、Internet Explorerで制限されています。オプションを表示するには、ここをクリックしてください…」と情報バーに表示される。	● 情報バーをクリックし、「ブロックされているコンテンツを許可(A)...」を選択してください。
「スクリプトやActive Xコントロールなどのアクティブコンテンツは役に立ちますが、コンピュータに問題を起こすものもあります。このファイルでアクティブコンテンツを実行しますか？」とセキュリティの警告画面が表示される。	● ［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。
ダウンロードしたファイルを実行しようとすると、下記メッセージのセキュリティの警告画面が表示される。 「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」	● ［実行(R)］ボタンをクリックしてください。

ダウンロード画像について

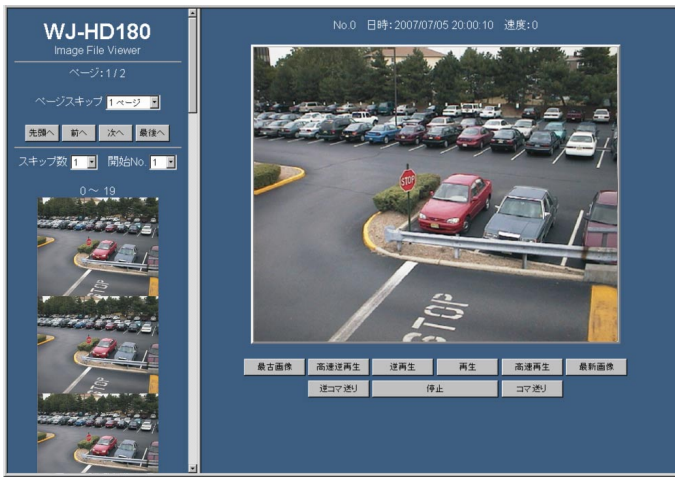
ウェブブラウザーから本機にアクセスし、再生画像をダウンロードすると、画像データとビューワー（HTML）が1つの実行ファイル（拡張子exe）としてダウンロードされます。画像を確認するときは、以下の手順で操作してください。

1　ダウンロードした実行ファイルを任意のフォルダーに移動し、ダブルクリックする

実行ファイルは自己解凍形式の圧縮ファイルです。実行ファイルをダブルクリックすると、同じフォルダーに実行ファイルと同じ名前のフォルダーが作成されます。そのフォルダー内に画像ファイル（拡張子jpg）と画像表示用HTMLファイル（index.html）が作成されます。
解凍された画像ファイルは、画像表示用HTML（index.html）で確認してください。

2　index.htmlをウェブブラウザーで表示する

右の画面が表示されます。



●左側サムネイルエリアのボタン

ページスキップ	サムネイル画像の改ページ数を選択します。
先頭へ	先頭ページに戻ります。
前へ	前のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。
次へ	前のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。
最後へ	最終ページを表示します。
以下はフレームスイッチャーからの画像を再生するときに使用します。	
スキップ数	カメラ台数-1を選択します。
開始No	再生するカメラを任意に切り換えることができます。

●右側ビューワーエリアのボタン

No.	表示している画像のフレームの番号です。	再生	再生を開始します。
日時	画像の録画時刻を表示します。	高速再生	クリックするたびに再生速度を変えて再生ができます。
速度	再生速度（-6～6）を表示します。	最新画像	最終（最新）画像を表示し、停止します。
最古画像	一番古い画像を表示し、停止します。	逆コマ送り	1フレーム戻り、停止します。
高速逆再生	クリックするたびに再生速度を変えて逆再生ができます。	停止	停止します。
逆再生	逆再生を開始します。	コマ送り	1フレーム進み、停止します。

メール通知の内容

アラームメール通知の内容

メール設定ページでメール通知を設定した場合、指定したアドレスに以下のメールを送信します。
［画像添付］を「する」に設定すると、画像表示用HTMLファイルと画像ファイル（拡張子jpg）を添付します。

WJ-HD180（送信元IPアドレス）　でアラームが発生しました。

日時　　：年／月／日　時：分：秒
アラーム要因　：カメラn（nはカメラ番号または、後面のアラーム端子番号）
URL　　：http：//送信元IPアドレス：ポート番号
（DDNS使用時はURL）

メモ

- ポート番号が80以外の場合は、URLの末尾にポート番号が付加されて表示されます。

障害メール通知の内容

メール設定ページで［メール通知］を「使用する」に設定した場合、指定したアドレスに以下のメールを送信します。

WJ-HD180（送信元IPアドレス）　状態通知

日時　　：年／月／日　時：分：秒
状態　　：要因（下記参照）
URL　　：http：//送信元IPアドレス：ポート番号
（DDNS使用時はURL）

メモ

- ポート番号が80以外の場合は、URLの末尾にポート番号が付加されて表示されます。

■状態要因　（1/2）

要因	意味
温度異常	本機の内部温度が異常です。
システム全体残容量警告ー**%	システム全体の残容量警告（システム設定メニュー）で設定した値以下になると、メールを送信します。 ※以後、1%減るたびにメールを送信します。 ※1%未満の場合、1%としてメールを送信します。
HDD残容量なし	HDDの残容量がないため、録画できません。
HDD残容量なしのため VMDアラーム録画失敗	VMDアラームが発生しましたが、システム全体のHDD残容量がないため録画できません。
HDD残容量なしのため 端子アラーム録画失敗	端子アラームが発生しましたが、システム全体のHDD残容量がないため録画できません。

要因	意味
HDDn自動リンク外し	HDDn（nはディスク番号）の異常を検出したため、またはHDDnが運用ボタンを押さずに引き抜かれたため、該当するHDDを自動で切り離しました。
カメラ異常-カメラn	カメラn（nはカメラ番号）に接続されているカメラまたはフレームスイッチャーからの映像が途切れました。
FAN異常	ファンに異常が発生しました。
HDD挿抜回数超過	HDDの挿抜回数が規定値を超えました。
HDDアワーメーター警告	HDDの累積稼働時間が18 000時間を超えました。
HDDn残容量警告ー**%	HDDn（nはディスク番号）の残容量がHDD個別の残容量警告（システム設定メニュー）で設定した値以下になりました。
HDDnSMART警告	HDDn（nはディスク番号）にSMARTエラーが発生しました。

重要

- カメラ異常発生時の障害メールは「カメラ故障・ケーブル断線検出」が［検出する］に設定されているときのみ、メールを送信します。

サーバー接続エラー情報

SMTPに関する障害情報

分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	POP3認証エラー	● POP3での認証時のユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	● POP3サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。IPアドレスの設定を再確認してください。 ● POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	● SMTP認証時のユーザー名、パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	● DNSサーバーの指定かMailサーバーアドレスが間違っている可能性があります。設定を再確認してください。 ● DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	● SMTPサーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。IPアドレスの設定を再確認してください。 ● SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	MAIL FROMコマンドエラー	● 送信者メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	RCPT TOコマンドエラー	● 送信先メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	● メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関する障害情報

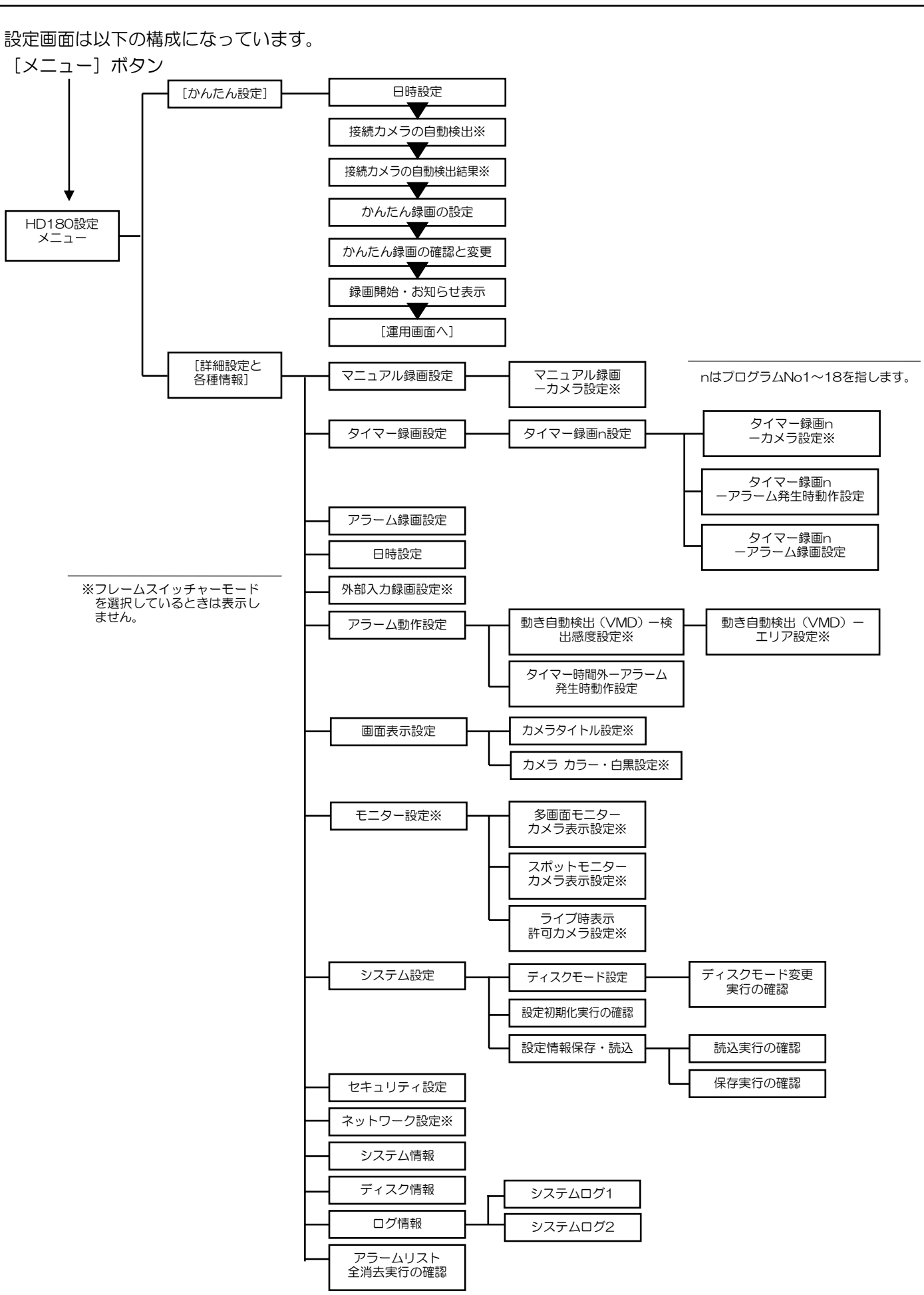
分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	● FTPサーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。設定を再確認してください。 ● DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	FTPサーバー見つからず	● FTPサーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。IPアドレスの設定を再確認してください。 ● FTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	転送エラー	● ファイル転送が失敗した可能性があります。ネットワーク接続状況を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	● FTP転送でエラーが発生しています。FTPクライアント設定を再確認してください。
	ログアウト失敗	● FTPサーバーとの接続でエラーが発生しています。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ディレクトリー変更に失敗	● ファイルのディレクトリー設定が間違っている可能性があります。FTPクライアント設定を再確認してください。
	ユーザー名パスワードエラー	● ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。FTPクライアント設定を再確認してください。
内部エラー	その他のコマンドエラー	● サーバーとの接続でコマンドエラーが発生しています。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	その他のエラー	● FTP機能で問題が発生しています。FTPクライアント設定を再確認してください。

DDNSに関する障害情報

分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
DNSサーバーエラー	DNSからDDNSサーバーアドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	DDNSサーバー応答なし	• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 • DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ユーザー名パスワードエラー	• ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	• DDNS設定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	• DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

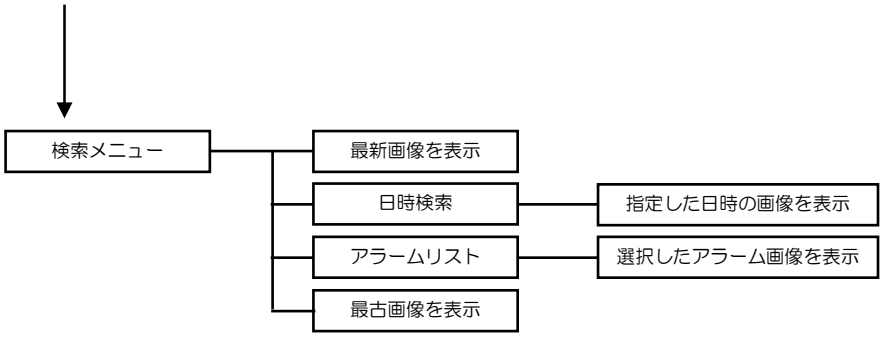
設定画面構成

設定画面は以下の構成になっています。

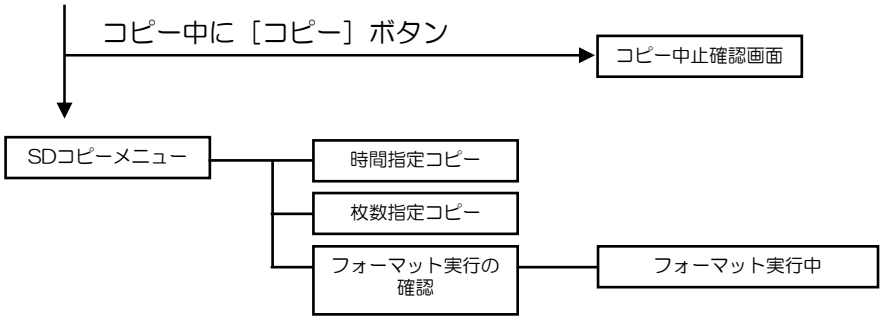


●運用画面

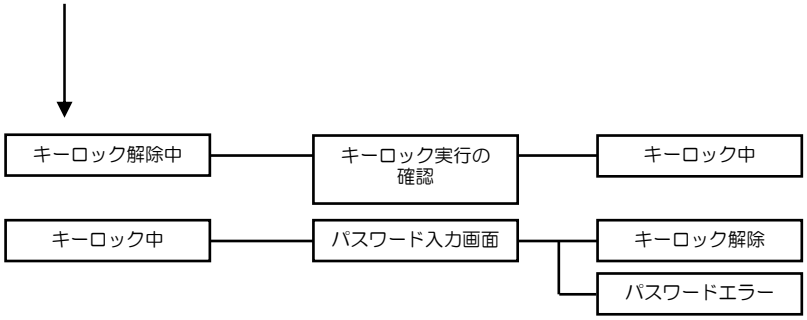
［検索］ボタン



［コピー］ボタン

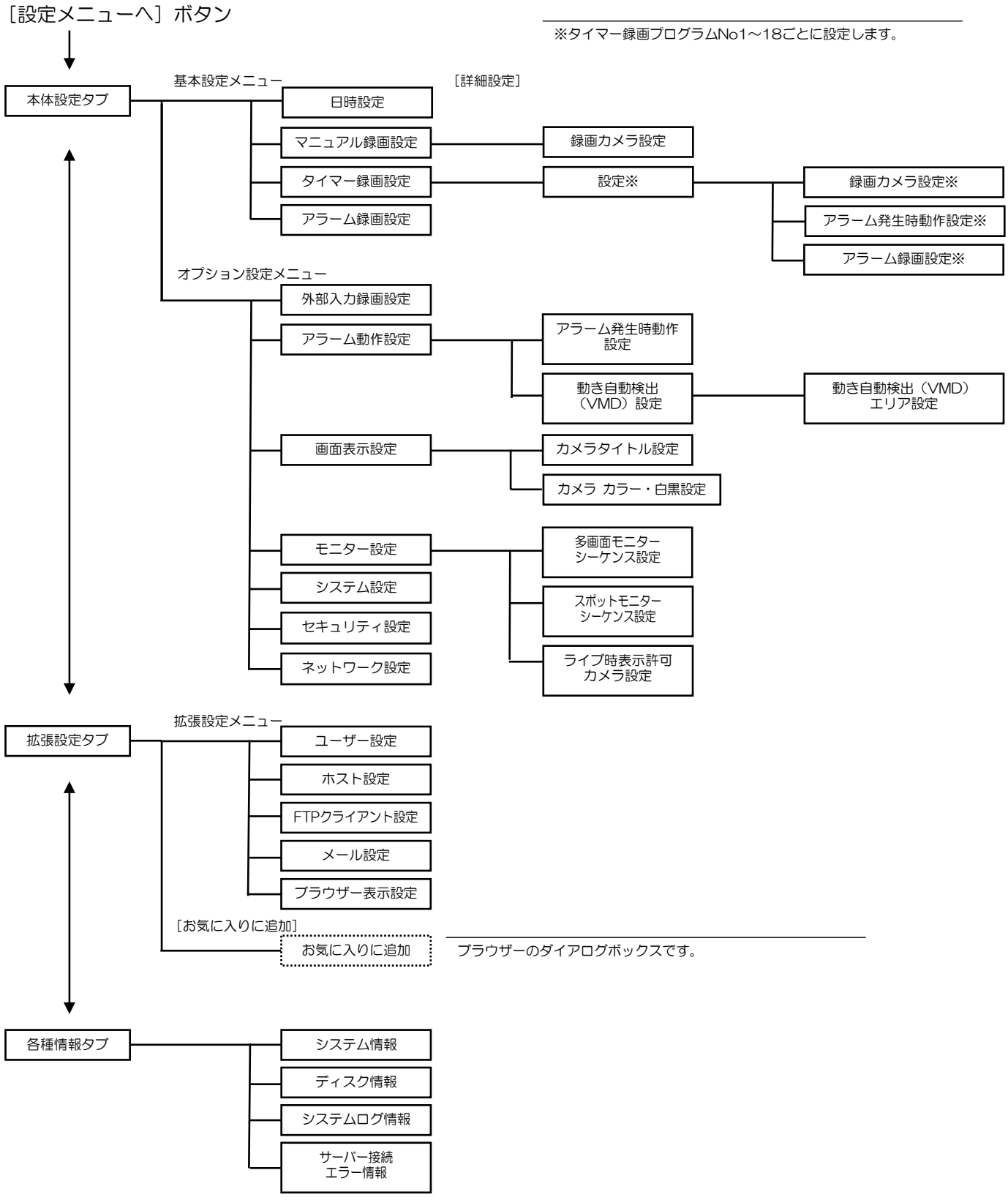


［操作ロック］ボタン



HTML設定画面構成

HTML設定画面の構成は以下のとおりです。



用語集

［アルファベット・数字］

DDNS（Dynamic DNS）
DNSサーバー情報を自動的に書き換え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）
PCがネットワークに接続する際に必要な情報をサーバーから自動的に取得するためのプロトコルです。

DNS（Domain Name System）
ネットワーク環境上で使用するIPアドレスは、覚えにくく実用的ではありません。このため、PCにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけ、それをIPアドレスに変換して通信します。このドメイン名とIPアドレスを対応させるしくみです。

FTP（File Transfer Protocol）
ネットワークでファイルを転送するときに使われる代表的なプロトコルです。

HDD
ハードディスク（大容量記憶装置の1つ）のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

IPアドレス（Internet Protocol Address）
インターネットおよびイントラネットなどのIPネットワークに接続したPCおよび通信機器1台1台に割り振られた識別番号のことです。特にインターネット上ではこの数値に重複が無いように割り振っておく必要があります。

JPEG（Joint Photographic Experts Group）
静止画データの圧縮方式の１つです。
連続的にJPEG画像を送信する動画方式は、MotionJPEGと表現する場合があります。

LAN（Local Area Network）
同じ建物の中およびフロア内、キャンパスなど比較的狭い地域にあるPCおよびプリンターなどを接続し、データをやり取りするネットワークのことです。

MACアドレス（Media Access Control address）
ネットワーク機器に割り付けられる固有の物理アドレスです。これを元に機器間のデータを送受信します。

miniSDカード（Mini Secure Digital memory card）
小型・軽量で、大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部メモリーカードです。

POP(3)（Post Office Protocol Version 3）
インターネットおよびイントラネット上で、電子メールを保存しているサーバーからメールを受信するためのプロトコルです。

SDカードコピーロック
miniSDカードに画像データをコピーする際に、パスワード入力を求めて不特定の人間がコピーするのを予防します。操作ロック機能とは別の機能です。

SMART機能
HDDの障害の早期発見・故障の予測を目的としてHDDに搭載されている自己診断機能です。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
インターネットおよびイントラネットで電子メールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でメールをやり取りしたり、クライアントがサーバーにメールを送信したりするときに使われます。

SMTPサーバー（SMTP server）
現在最も普及しているメール送信プロトコルであるSMTPに対応しているサーバーです。

SMTP認証（Simple Mail Transfer Protocol Authentication）
メール送信に使うプロトコルであるSMTPにユーザー認証機能を追加した仕様です。SMTPサーバーと本機との間でユーザーアカウントとパスワードを認証します。このため、SMTPサーバーがSMTP認証対応していなければなりません。

SNMP（Simple Network Management Protocol）
ルーターおよびPC、カメラ、ディスクレコーダーなど、ネットワークに接続した通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。

TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

インターネットおよびイントラネットで標準的に使われるプロトコルです。

URL（Uniform Resource Locator）

インターネット上にある文書および画像などの情報資源のある場所を指し示す記述方式で、インターネットにおける情報の「住所」にあたります。

［ア］

アラーム録画

アラーム発生時、専用の録画モードで録画することです。タイマー録画中とそれ以外の録画とでそれぞれ異なる録画モードでアラーム画像を録画できます。アラーム録画は、動き検出機能（VMD）による録画を含みます。

アワーメーター

HDD別の累積稼働時間を計測します。累積稼働時間18 000時間がHDD交換の目安になります。

インターネット（internet）

全世界のネットワークを相互に接続した巨大なパソコンネットワークです。インターネットに参加するには、インターネットサービスプロバイダーと呼ばれる業者と契約する必要があります。

ウェブブラウザー（web browser）

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。Microsoft社のInternet Explorer(R)などがあります。

動き自動検出機能（VMD）

カメラ画像内に設定したエリアの動きを検出してアラーム動作する機能です。

［カ］

画質

本機はカメラ画像を録画するとき、フィールドごとにJPEG（Joint Photographic Experts Group）ファイルに変換します。JPEGファイルとは静止画像の画像圧縮技術の1つで、圧縮率が高いほどファイル容量が小さくなりますが、画質は粗くなります。本機は圧縮率を最高画質（SF）、高画質（FQ）、通常画質（NQ）、低画質（EX）で表しており、録画方法ごとに選択できます

外部入力録画

本機は外部機器（スイッチ）をアラーム/コントロール端子に接続し、スイッチをONにしている間、録画中の録画モードを変えて録画できます。外部機器から録画中の録画モードを変えて録画することを外部入力録画と呼びます。

ゲートウェイ（gateway）

組織内のLANなどのネットワークから外部のネットワークのPCへアクセスするために使用する窓口となるネットワーク機器のことです。

［サ］

サブネット（subnet）

大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワークです。大企業などではネットワーク管理および回線の分配を効率よくするために、ネットワークをいくつかの小さな単位に分割して管理する場合があります。このような場合に、管理単位となる小さなネットワークをサブネットといいます。

サブネットマスク（subnet mask）

サブネット内のIPアドレスのうち何ビットをネットワーク識別用のネットワークアドレスに使用するかを定義する32ビットの数値です。ネットワークアドレス以外の部分が、サブネット内のPCを識別するホストアドレスと呼ばれます。

シーケンス

カメラの画像を決められた順番で自動的に切り換えて表示することです。

シングル運用

1台のHDDにカメラ画像を録画する際のディスクモードのことです。1台および2台のHDDに画像データを連続して録画します。

スポット

1台のモニターに、カメラ1台の画像を表示することです。スポットで表示するためのモニターをスポットモニターと呼びます。スポットモニターは、スポット出力（BNC）に接続されています。

操作ロック機能

本体パネルのキー、リモコンキーを操作する際に、パスワード入力を求めます。

［タ］

タイマー録画
録画開始時刻と録画終了時刻を設定し、設定した時間範囲で録画する方法です。

多画面
1台のモニターに複数のカメラ画像を同時に表示することです。多画面で表示するためのモニターを多画面モニターと呼びます。多画面モニターは多画面出力（BNC）に接続されています。

多画面モニター
ライブ画像、再生画像を1画/4画/9画で表示します。また、設定メニューおよびカメラタイトル、現在・録画時刻、状態、アラーム、エラーなどの文字情報も表示します。

端子アラーム
本体後面パネルのアラーム/コントロール端子に入力されるアラーム信号です。アラーム検知によりアラーム録画、およびアラーム動作を処理します。

デュアル運用
2台のHDDに同じ画像を二重に録画する際のディスクモードのことです。シングル運用の半分の録画時間になりますが、片方のHDDが壊れてももう一台のHDDより再生できるため、録画データの保守性が高まります。

［ナ・ハ］

ネットワーク
本機後面パネルの10BASE-T/100BASE-TXコネクターで接続される、LANまたはインターネットなどの総称です。

ファイアーウォール（firewall）
インターネットなどの外部のネットワークを利用する際のセキュリティの１つで、組織内のネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステムおよびそのようなシステムが組みこまれたPCです。

プライベート（IP）アドレス（private address）
主に組織内のLANなど、ネットワークに接続したときに割り振られたIPアドレスです。プライベート（IP）アドレスは申請をしなくても組織内で自由に割り振ることができます。ただし、プライベート（IP）アドレスだけではインターネット通信ができないため、グローバル（IP）アドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

プレアラーム録画時間
アラーム発生時、過去にさかのぼり録画する時間です。本機では、1～5秒を設定できます。

フレームスイッチャー
タイムラプスVTR機能を持つスイッチャーのことで、最大16台のカメラ映像を順番に表示できます。本機への映像入力は、1CHのみの固定になります。

ブロードバンドルーター（broadband router）
ADSLおよび光ファイバーなど高速な回線でインターネットに接続する際に使うルーターです。

プロトコル（protocol）
さまざまな情報を種類の異なる複数のPCなどでデータを交換する際の通信規約（約束事）の集合です。インターネットでは「TCP/IP」などのプロトコルがあります。

ポート番号（port number）
インターネット上の通信（TCP、UDPなど）で、複数の相手と同時に接続するために、IPアドレスの下に設けられたサブ（補助）アドレスです。

ポストアラーム録画時間
アラーム発生時、アラーム動作設定およびアラーム録画設定に従って録画を継続または停止します。

［マ・ヤ・ラ］

マニュアル録画
録画ボタンを押して録画を開始する方法です。電源を「入」にすると自動でマニュアル録画を開始することもできます。（起動時自動録画開始）

録画モード
HDDにカメラ画像を録画する際のモード（画質、1秒あたりの録画枚数、録音設定）のことです。

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル　パナハ　ヨイワ
0120-878-410　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	WJ-HD180
	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

3TR005353GDB
A0911-1033
Printed in China

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2011